

**【資料 1 - 3】**

**令和7年度**

**第6次長期総合計画前期基本計画**

**分野別施策評価シート**



# 目次

---

## 第1章 安全・安心

---

### 第1節 市民生活の基盤となる生活安全への対応

- (1) 消防体制の強化……………1
- (2) 災害に強い防災体制の整備……………3
- (3) 交通安全・防犯対策の推進……………5

---

## 第2章 保健・医療・福祉

---

### 第1節 持続可能な保健・医療体制の推進

- (1) 健康づくりの推進……………7
- (2) 疾病・感染症予防の推進……………9
- (3) 地域医療体制の充実……………11

### 第2節 子育てしやすい環境づくり

- (1) 子育て支援の推進……………13
- (2) 乳幼児の保育・教育体制の充実……………15
- (3) 学童保育・子どもの遊び場の充実……………17

### 第3節 安心な福祉社会の形成

- (1) 地域福祉活動の支援……………19
- (2) 介護予防対策・地域包括ケアシステムの推進……………21
- (3) 高齢者福祉サービスの充実……………23
- (4) 障害者(児)福祉サービスの充実……………25
- (5) 安心を支える制度の運用……………27

---

## 第3章 産業振興・就労

---

### 第1節 活力ある農林業の振興

- (1) 安全・安心な農畜産物の生産……………29
- (2) 地域農業の推進……………31
- (3) 農業生産基盤の充実……………33
- (4) 森林資源の有効活用……………35

### 第2節 商工業の活性化

- (1) 商店街活性化の支援……………37

(2) 企業立地の振興	39
(3) 安定した雇用の確保	41
第3節 豊かな地域観光資源の活用	
(1) 地域観光資源のネットワーク化	43
(2) 道の駅かくだの活用	45

---

## 第4章 まちづくり

---

第1節 市民力を活かしたまちづくり	
(1) 住民自治による地域づくり	47
(2) 男女共同参画推進	49
第2節 関係人口拡大の推進	
(1) 継続的なつながりの確保	51

---

## 第5章 教育・文化・スポーツ

---

第1節 未来を生き抜くための教育環境づくり	
(1) 学力・心・体の育成	53
(2) 時代の要請に応える教育環境の整備	55
第2節 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進	
(1) 生涯学習の充実	57
(2) 歴史・文化資源の保存活用	59
(3) 文化芸術活動の推進	61
(4) スポーツによるまちづくり	63

---

## 第6章 都市基盤・生活環境

---

第1節 良好な都市基盤の整備	
(1) 安全・安心な道路網の整備	65
(2) 公共交通システムの存続・利便性向上	67
(3) 河川環境の有効活用	69
第2節 快適な住環境の整備	
(1) 快適な居住環境づくり	71
(2) 憩いの場である公園・緑地の整備	73
(3) 上下水道の整備	75

### 第3節 生活環境の向上

- (1) 脱炭素社会の形成 ..... 77
- (2) 循環型社会の形成 ..... 79
- (3) 環境衛生の向上 ..... 81
- (4) 安心して暮らせる生活環境の整備 ..... 83

---

## 第7章 行財政経営

---

### 第1節 市民に開かれた行政を目指して

- (1) 広報活動による情報発信 ..... 85
- (2) 広聴活動の推進 ..... 87

### 第2節 持続可能な行財政経営

- (1) 効率的な行政経営を目指して ..... 89
- (2) DXによる新しい行政の確立 ..... 91

- 分野別施策に掲げる「KPI」達成状況一覧表 ..... 93

### 【KPI（重要業績評価指標）の達成率】

令和6年度の評価における達成率は、前期基本計画の最終年度（令和8年度）で定める目標値までの進捗割合を示しています。

なお、達成率の計算方法については、下記のとおりです。

「実績値が高いほど好ましい指標」 =  $\text{実績値} / \text{目標値}$

「実績値が低いほど好ましい指標」 =  $\text{目標値} / \text{実績値}$

「指標名に【累計】と記載されている指標」 =  $(\text{実績値} - \text{現状値}) / (\text{目標値} - \text{現状値})$

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度					令和6年度					章	1	節	1	項	1
第6次長期総合計画における体系	第1章	安全・安心								施策担当部署	防災安全課				
	第1節	市民生活の基盤となる生活安全への対応													
	第1項	消防体制の強化								評価担当部署	防災安全課				
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●消防団は、高齢化、団員数の減少、サラリーマンの加入割合の増加等の問題を抱えているため、団員の育成と確保に努め、消防体制の強化を図ります。</li> <li>●消防施設強化促進法及び消防力の整備指針の規定に基づき、本市の実情に応じて消防施設の強化を図ります。</li> </ul>														
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●消防団員の確保に努めるとともに、処遇の改善や事業所に対する協力要請に取り組みます。</li> <li>●小型動力ポンプ付積載車、消火栓、耐震性貯水槽等の施設の適切な維持・整備を促進します。</li> </ul>														
横断的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行政区長等と連携し、消防団員の確保に努めます。</li> <li>●角田消防署や角田市婦人防火クラブ連合会等と連携し、火災予防に努めます。</li> </ul>														
KPI(重要業績評価指標)の達成状況															
1	指 標 名								達成率		R8年度 (前期)目標値		R13年度 (後期)目標値		
	消防団員の充足率								89.2 %		100.0 %		100.0 %		
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/								
98.0 %	89.8 %	84.3 %	89.2 %	%	%										
2													/		
3													/		
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果															
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b>          令和6年4月からの消防団等退団者を対象とした機能別消防団員制度の導入を行い、団員の確保(充足率)に務めた。</p> <p><b>【施策の成果】</b>          団員募集については、団員からの声掛けや広報のほか独自のポスターを作成し募集に努めた。また、消防団等退団者を対象とした機能別消防団員制度の導入したことで、団員の確保(充足率)に繋がった。          団員数535名/定員600名=89.2%(令和7年3月31日現在)          令和6年度 入団者数55名(基本団員12名、機能別消防団員43名)・退団者数26名</p> <p>※令和6年4月1日現在 団員数548名(基本団員510名・機能別団員38名)/定員600名=91.3%          ※令和7年4月1日現在 団員数543名(基本団員498名・機能別団員45名)/定員600名=90.5%</p>															

R5 施策評価	やや遅れている	R6施策評価 (内部)	概ね順調	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
団員の確保については、団員からの声掛けや、団員モデルによる独自のポスターを作成し、団員確保に努めた。また、消防団等退団者を対象とした機能別消防団員制度の導入したことで、団員の確保に繋がった。小型動力ポンプ付積載車、消火栓、防火水槽等の消防施設の適切な維持管理に務めた。					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
団員の確保については、少子高齢化に伴い、年々減少し非常に厳しい状況にある。しかしながら、災害の多発化、激甚化する中で、消防団員の確保は大きな課題である。					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図るため、今後も、団員確保に向けて、団員による声掛け、団員モデルによる独自ポスター作成による募集やイベントでの周知のほか、消防団等退団者を対象とした機能別消防団員の制度内容の周知等を図ると共に団員の確保に務める。					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	消防体制確立事業	防災安全課	69,479	<b>事業概要</b> 各種訓練、消防演習及び非常時の出場等に対する報酬の支給による消防体制の確立と消防組織の充実強化を図ると共に被服等を貸与するなど、消防団員の円滑な活動及び団員の確保を図る。 <b>事業実績</b> 消防団員に対して被服等を貸与するなど、消防演習及び非常時の出場等に対し、適切に報酬を支給し、消防団員の円滑な活動に努めた。	
2	小型動力ポンプ積載車等整備事業	防災安全課	8,886	<b>事業概要</b> 小型動力ポンプを更新し消防防災活動の充実、消防資機材の購入及び適正な維持管理を図る。 <b>事業実績</b> 小型動力ポンプ付積載車の適切な維持管理に務めた。 ○小型動力ポンプ 更新台数 1台	
3	消火栓整備事業	防災安全課	5,651	<b>事業概要</b> 火災等の有事に備え、消防水利に欠ける地域に消火栓を新設するとともに、配水管の布設替え工事等に伴い老朽化した消火栓を改設し、消防施設の充実を図る。 <b>事業実績</b> 消火栓等の消防施設の適切な維持管理に務めた。 ○消火栓の改設等 5基	
4	防火水槽整備事業	防災安全課	6,050	<b>事業概要</b> 火災等の有事に備え、消防水利に欠ける地域や既存防火水槽を解体し防施設の充実を図る。 <b>事業実績</b> 防火水槽等の消防施設の適切な維持管理に務めた。 ○山ノ内地区防火水槽設置に伴う測量設計業務 ○島田防火水槽撤去業務	
5	消防署用地整備事業	防災安全課	55,400	<b>事業概要</b> 仙南地域広域行政事務組合における角田消防庁舎建替え工事に伴い、令和7年度工事中に向けて、角田市の事業分担として、令和5年度用地取得、令和6年度に用地造成工事を行う。 <b>事業実績</b> 調査測量設計に基づく角田消防署用地造成工事が完了、仙南地域広域行政事務組合と角田市の土地使用貸借契約を締結により、令和7年度から角田消防署建替え工事を進めることができた。	

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	1	節	1	項	2
第6次長期総合計画における体系	第1章	安全・安心			施策担当部署	防災安全課 生活環境課 建設課			
	第1節	市民生活の基盤となる生活安全への対応							
	第2項	災害に強い防災体制の整備			評価担当部署	防災安全課			
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●角田市防災・減災構想に基づき、浸水被害に対する防災・減災のハード対策を計画的に進めます。</li> <li>●大規模化・多様化する災害に対応するため、ICTの利活用による迅速な防災情報の収集・発信に努めるとともに、防災教育の推進と自主防災組織の活性化を図り、持続可能な地域防災体制の強化を図ります。</li> <li>●東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故に由来する放射性物質対策を継続して推進します。</li> </ul>								
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害時における情報伝達手段の多重化を進め、防災通信網の確保・整備を図ります。</li> <li>●自主防災組織ごと(各行政区)に自発的に行われる防災活動に特化した地区防災計画の策定を推進します。</li> <li>●東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故に由来する放射性物質対策について、適切な情報を提供するとともに、汚染された廃棄物等の適切な処分に取り組むことにより、市民の不安解消を図ります。</li> </ul>								
横断的な取組み	<p>重③庁内関係部署が連携し、角田市防災・減災構想に基づき、浸水被害に対する防災・減災のハード対策を計画的に推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自主防災組織、行政区、社会福祉協議会などの関係団体と連携し、地域防災力の向上を推進します。</li> <li>●東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故に由来する放射性物質対策は、国・県の指導のもと、継続して推進します。</li> </ul>								
KPI(重要業績評価指標)の達成状況									
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値		R13年度 (後期)目標値	
	地区防災計画を策定した行政区の数【累計】				113.3 %	45 地区		93 地区	
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		/	
	0 地区	10 地区	16 地区	51 地区	地区	地区			
2								/	
3								/	
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果									
<p>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</p> <p>地区としての地区防災計画を策定して頂くよう、各地区の区長定例会に出席し説明をしたことで策定に向けた動きがでてきた。</p> <p>【施策の成果】</p> <p>防災講話等の依頼、地区防災策定に係る相談や緊急連絡網などを整備に至った地区はあるものの、地区防災計画までの策定には至らない地区がある。</p> <p>市内の空間放射線量率の継続的な測定や食品等の放射能の測定を実施し公表することにより、市民の放射能に対する不安を軽減することができた。</p>									

R5 施策評価	やや遅れている	R6施策評価 (内部)	概ね順調	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
消防庁よりR7年度までに、デジタル防災行政無線(同報系)整備するよう通知があり、令和5年度から6年度までは実施設計を行い、令和7年度に工事着手すると共に、市民に対して、防災情報を一斉に伝達するためのシステムを整備する。					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
<p>地区防災計画の策定について、緊急連絡網などを整備している地区はあるが、地区防災計画策定までに至らない地区があった。</p> <p>策定の動きが見えない行政区については、地区の特性や防災に関する課題等を確認し、地区防災計画の必要性について個別に話し合いを行う。</p> <p>東日本大震災から14年が経過しているが、放射能測定による不安軽減が今後も必要であることから、広報等により情報提供を継続して行う必要がある。</p>					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
<p>地区防災計画の作成については、地域での自発的な活動が必要であることを念頭に、自然災害から「命を守る」ことを優先とした計画策定支援を継続していく。</p> <p>今後も東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故に由来する8,000Bq/kgを超える放射性物質の対策については、国・県の指導のもと、継続して推進していく。</p>					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	災害対策事業	防災安全課	23,540	<b>事業概要</b> 市民、自主防災組織及び防災関係機関が一体となり各種防災訓練を実施する。また、災害時の食料及び資器材の備蓄、災害対策に努め防災体制の整備・充実を図る。 <b>事業実績</b> 防災講話等の依頼や策定に係る相談や緊急連絡網などを整備に至った。また、災害時の食料及び資器材の備蓄、災害対策に努め防災体制の整備・充実に務めた。	
2	放射線対策事業	生活環境課	4,574	<b>事業概要</b> 東京電力福島第一原子力発電所事故の影響による放射線に係る市民生活の不安解消を図る。 <b>事業実績</b> 放射線対策事務員(会計年度任用職員) 1名配置	
3				<b>事業概要</b> <b>事業実績</b>	
4				<b>事業概要</b> <b>事業実績</b>	
5				<b>事業概要</b> <b>事業実績</b>	

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度				令和6年度				章	1	節	1	項	3
第6次長期総合計画における体系	第1章	安全・安心						施策担当部署	防災安全課				
	第1節	市民生活の基盤となる生活安全への対応											
	第3項	交通安全・防犯対策の推進						評価担当部署	防災安全課				
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもや高齢者などに配慮した安全な交通環境の向上を図るため、交通安全施設の整備を推進します。</li> <li>●身体機能の低下等により運転リスクを抱えやすい高齢者に対し、交通安全意識の啓発・向上を図ります。</li> <li>●安心して暮らせる安全なまちづくりに向け、防犯体制の強化を推進します。</li> </ul>												
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交通安全運動の積極的展開と交通安全の実践教育を推進します。</li> <li>●高齢者が自主的に運転免許証を返納した際の移動手段の支援を図るため、高齢者運転免許証自主返納支援事業を推進します。</li> <li>●角田警察署や防犯協会などと連携し、犯罪を発生させない環境づくりを推進します。</li> </ul>												
横断的な取り組み	●角田警察署をはじめ、関係団体と連携し、交通安全・防犯体制の強化を図ります。												
KPI(重要業績評価指標)の達成状況													
1	指 標 名						達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	交通安全教室の参加者数						105.4 %	2,000 人	2,000 人				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度							
	954 人	1,327 人	1,365 人	2,108 人	人	人							
2													
3													
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果													
<p>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】          幼児・児童数は減少しているが、開催回数が増えたことにより、交通安全教室の参加者数が微増した。</p> <p>【施策の成果】          市の取組として、交通安全教室や生活安全パトロールの実施や安全・安心メールの配信、防犯灯の整備等を行った。また、市民の自発的な取り組みとして「見守り活動団体」等により、安全安心なまちづくりのための基盤強化が図られた。</p>													

R5 施策評価	概ね順調	R6施策評価 (内部)	概ね順調	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>				
交通安全教室を開催することにより、高齢者や幼児・児童を中心として、交通ルールやマナーに関することについて意識の向上が図られた。				
<b>施策を推進する上での課題</b>				
高齢者を対象とした交通安全教室は、地域によって温度差があることから、積極的に交通安全教室を開催できるよう各種関係団体等と調整していく必要がある。				
<b>今後の取組(対応)方針</b>				
<p>高齢者免許証返納については、警察署と情報共有し引き続き推進していく。交通安全教室については、特に児童や高齢者に対する交通安全意識向上を図るため、各種関係団体等と調整し、交通安全教室を開催していく。</p> <p>令和5年4月から、すべての自転車利用者の自転車用ヘルメット着用が努力義務化されたことから、令和5年9月に創設した自転車用ヘルメット着用促進事業費補助金等を活用するなど、自転車利用者のヘルメット着用促進を推進する。</p>				
<b>推進事業一覧</b>				
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	交通安全対策事業	防災安全課	2,215	<p><b>事業概要</b> 関係機関・団体と連携し、交通安全意識の高揚を図る。</p> <p><b>事業実績</b> 運転に不安を持つ高齢者の自主的な免許返納を支援し、交通事故防止とデマンドタクシー、阿武隈急行など公共交通機関や民間タクシーの利用促進に務めた。</p> <p>高齢者運転免許証自主返納支援事業 交付者数 58人</p> <p>自転車用ヘルメット着用促進事業 交付者数 187人</p>
2	交通安全指導員事業	防災安全課	1,777	<p><b>事業概要</b> 交通安全指導員による街頭指導や交通安全教室等とおして、市民生活における交通安全の確保及び交通安全意識の啓発を図る。</p> <p><b>事業実績</b> 交通安全の確保及び交通安全意識の啓発に努めた。</p> <p>交通安全運動 ○交通安全指導者による広報活動 37回 ○チラシによる広報活動 2回</p>
3	女性交通指導員事業	防災安全課	5,037	<p><b>事業概要</b> 女性交通指導員による交通安全教室の開催や街頭啓発活動等を実施する。</p> <p><b>事業実績</b> 寸劇等による子供や高齢者を対象とした交通安全教育を実施することにより、交通ルール遵守の意識を高めた。</p> <p>交通安全教室 ○高齢者を対象とした啓発指導 15回(参加者 199人) ○幼児・児童・生徒を対象とした啓発指導 25回(参加者1,628人) ○その他啓発活動 5回(参加者 281人) 合計 45回(参加者2,108人)</p>
4	安全・安心まちづくり事業	防災安全課	6,766	<p><b>事業概要</b> 角田警察署や防犯団体等の関係機関・団体と連携し、角田市の地域安全を確保する。</p> <p><b>事業実績</b> 情報の共有化と情報発信の仕組みを構築するとともに、関係団体の運営支援に務めた。</p> <p>生活安全パトロール実施回数 23回</p>
5				<p><b>事業概要</b></p> <p><b>事業実績</b></p>

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	2	節	1	項	1
第6次長期総合計画における体系	第2章	保健・医療・福祉			施策担当部署	健康推進課			
	第1節	持続可能な保健・医療体制の推進							
	第1項	<b>健康づくりの推進</b>			評価担当部署	健康推進課			
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の健康づくりについて多面的に取り組み、市民の健康意識を高めます。</li> <li>●市民が健康づくり活動に気軽に取り組むことができる環境を整えます。</li> <li>●心の病の予防や早期発見・早期治療のための対策の充実を図ります。</li> <li>●地域の健康課題及び課題を抱える方を把握し、疾病予防・重症化予防の取組みにより、健康寿命の延伸を図ります。</li> </ul>								
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の生活習慣改善に向け、支援が必要な方に対しては「健康相談」、無関心層など多くの方に対しては「健康教育」を実施します。</li> <li>●心の病の早期発見・早期治療のため、気軽に相談できる窓口の周知等を図ります。</li> <li>●支援の必要な方を抽出・把握し、保健指導を行うとともに、多くの方へフレイル予防(介護予防)を実施します。</li> </ul>								
横断的な取組み	●市内関係部署や各団体と連携し、健康づくりの無関心層への働きかけを強化します。								
KPI(重要業績評価指標)の達成状況									
1	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	健康相談、健康教育の利用者数				165.4 %	4,750 人	5,000 人		
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/		
	4,417 人	4,404 人	5,132 人	7,856 人	人	人			
2							/		
3							/		
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果									
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b>          高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の開始及び第3期データヘルス計画の取組みにより、新規の健康教育事業を実施したため。</p> <p><b>【施策の成果】</b>          新規の健康教育事業において、市民が自らの体の状態を理解し、事業をとらして生活習慣改善の必要性を感じて実行に移すという意識を持つことで、市民の健康の保持増進が図られた。</p>									



### 施策評価の理由

達成率が165.4%と目標値を大きく上回っている。しかし、無関心層への健康意識を高めるアプローチは改善の余地があると思われるため。

### 施策を推進する上での課題

- ・メタボ該当者及び肥満傾向児(中学1年)の割合が男女とも全国を上回る。
- ・健康づくりに対する無関心層への働きかけ
- ・心身の健康課題を抱える方が健康相談や健康教育を受けられる体制づくりの強化。
- ・高齢者の心身の多様な課題に対応したきめ細やかな支援の実施。

### 今後の取組(対応)方針

- ・健康教育事業参加者が固定されないよう、支援が必要な対象者を選定し、生活習慣改善に向け積極的介入を図っていく。
- ・集団に対する健康教育の機会は増加したため、個別の健康相談や健康教育の件数を増加する。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	健康相談事業	健康推進課	70	<p>事業概要 74歳以下の国民健康保険の市民を対象に健診結果説明会や健康づくり講座を実施した。</p> <p>事業実績 自身の健康状態が把握され、生活習慣の改善が図られた。</p>
2	生活習慣病対策事業	健康推進課	156	<p>事業概要 高血糖に該当する40～64歳の男性を対象に、運動指導、食生活及び口腔衛生に関する健康教育等を実施した。</p> <p>事業実績 高血糖を意識した正しい食生活及び口腔衛生、運動習慣の改善が図られた。</p>
3	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	健康推進課	4,213	<p>事業概要 75歳以上の市民において健診結果説明会やフレイル予防運動指導、フレイル測定会を実施した。</p> <p>事業実績 自身の健康状態が把握され、虚弱に陥らないよう予防が図られた。</p>
4				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
5				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	2	節	1	項	2	
第6次長期総合計画における体系	第2章	保健・医療・福祉				施策担当部署	健康推進課 子育て支援課			
	第1節	持続可能な保健・医療体制の推進								
	第2項	疾病・感染症予防の推進				評価担当部署	健康推進課			
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の健康を守るため各種健(検)診などの充実を図ります。</li> <li>●妊婦をはじめ乳幼児から高齢者まで、口腔ケアの取組みを強化します。</li> <li>●新型コロナウイルス感染症や新たな感染症への対策と予防のための啓発活動の充実を図ります。</li> <li>●家庭環境の変化により多様化する相談に応え、子育ての不安が軽減され、家族が健やかに生活できるよう取り組みます。</li> </ul>									
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各種健(検)診の受診率向上に向け広報紙等を活用し、積極的に情報発信します。</li> <li>●新たな感染症対策の行動マニュアルの作成に取り組みます。</li> <li>●乳幼児健康診査や相談を通して疾病の早期発見と親子の健康維持につなげる取組みを進め子どもの健康を確保します。</li> </ul>									
横断的な取組み	●角田市医師会等と連携を図りながら、新型コロナウイルス感染症や新たな感染症への対策を進めます。									
KPI(重要業績評価指標)の達成状況										
1	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
	胃がん検診受診率				102.5 %	24.0 %	25.0 %			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/			
	22.8 %	26.2 %	24.4 %	24.6 %	%	%				
2										
3										
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果										
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b>  R6年度の胃がん検診受診率(24,6%)は、R8年度(前期)目標値(24.0%)に達成しており、順調に受診率は伸びている。</p> <p><b>【施策の成果】</b>  市民の健康寿命の延伸を図るため、がん、心臓病、脳卒中など生活習慣病の予防として各種検診事業を実施。疾患の早期発見及び早期治療が図られた。  各乳幼児健康診査の実施や助成事業により、疾病の早期発見に繋げることができた。また乳幼児健康診査事業や各種相談を通して、育児中の親子の健康で気がかりなことについての支援の実施や小児科・産婦人科オンライン相談の医療記事配信等で、疾病や障害、発達、発育に関する知識を提供したことで親子の健康維持が図られた。</p>										



### 施策評価の理由

胃がん検診については、初期値(R2年度)の現状値を概ね23%とし、5年間で1ポイントずつ上乗せを見込み、R8年度(前期)の目標値を24%にしたが、目標値に到達をしている。それ以外の検診についてもR8年度目標値に向けて受診率は上昇傾向にある。

#### 【受診率】

- ・乳がん検診 【現状値(R2)】24.0% 【R6】24.4% 【目標値中間(R8)】27.0%
- ・子宮頸がん検診【現状値(R2)】28.0% 【R6】28.7% 【目標値中間(R8)】34.0%
- ・肺がん検診 【現状値(R2)】37.0% 【R6】38.8% 【目標値中間(R8)】40.0%
- ・大腸がん検診 【現状値(R2)】38.0% 【R6】38.9% 【目標値中間(R8)】41.0%

子育て期における各乳幼児健康診査を実施し、乳幼児の疾病や発達の遅れ等の早期発見ができ、適切な支援に繋げることができた。また、小児科・産婦人科オンライン相談について、子育て期だけでなく、子宮がん検診や乳がん検診の場で周知したことで、気軽に相談でき、早期に医療に繋がるきっかけが提供された。

### 施策を推進する上での課題

順調に受診率は伸びているが、各種健(検)診に対する無関心層への働きかけが課題となる。

小児科・産婦人科オンライン相談を導入するなど、時間や場所を選ばず相談できる機会を提供しているが、相談するためには、相談したいことを整理し、まとめる必要性が生じてしまうため、ハードルが高くなっていたり、相談の内容がうまく伝わらない恐れがある。

### 今後の取組(対応)方針

希望者の意向にそえるよう、胃がん検診における検査方法をバリウム検査の他、胃内視鏡検診を導入し選択肢を広げる。

各種健(検)診の受診率向上に向け、広報等により情報発信を行う。

各種健(検)診に対する無関心層への受診勧奨を行う。

相談という形をとらなくても、自らの疑問や不安に関連した情報を入手できるように、よくある質問集や過去に同様の相談をされた方に対する回答を見ることが出来る機会を提供することで、早期に疑問解決に繋がったり、相談したいことが明確化することで、相談へのハードルが下がる可能性がある。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	検診事業	健康推進課	48,725	<p>事業概要 各種検診の実施に関すること。 ・健康診査 ・胃がん検診 ・肝炎ウイルス検診 ・骨粗しょう症予防検診 ・子宮がん検診 ・30代の健康診査 ・大腸がん検診 ・乳がん検診 ・肺がん検診 ・脳ドック</p> <p>事業実績 各種検診をすることで疾患の早期発見及び早期治療が図られた。</p>
2	母性保健オンライン相談事業(小児科・産婦人科オンライン相談)	子育て支援課	2,101	<p>事業概要 オンラインツール(メッセージチャットや動画通話)を通じ、手軽に悩みや不安を相談できる体制を提供した。</p> <p>事業実績 小児科:282件、産婦人科152件、日中助産師相談5件</p>
3				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
4				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
5				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度					章	2	節	1	項	3	
第6次長期総合計画における体系	第2章	保健・医療・福祉				施策担当部署	健康推進課				
	第1節	持続可能な保健・医療体制の推進									
	第3項	<b>地域医療体制の充実</b>				評価担当部署	健康推進課				
施策の方向性・目指す姿	●安心して暮らせる地域を目指し、地域医療体制の充実を図ります。										
主な施策	重②市内への産科医、小児科医、耳鼻科医の招へいを目指し、関係団体等に働きかけを行います。 重②仙南医療圏の拠点医療機関であるみやぎ県南中核病院の機能強化を図ります。										
横断的な取り組み											
KPI(重要業績評価指標)の達成状況											
1	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	<b>市内産科医・小児科医数【累計】</b>				<b>0.0 %</b>	1 人	1 人				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/				
	0 人	0 人	0 人	0 人	人	人					
2							/				
3							/				
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果											
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b></p> <p>令和6年度の市内産科・小児科専門医の数は0人となっている。          今年度は、業務委託により小児科を開設した場合の収入見込・支出見込を算出し、今後の人口減少等も考慮し分析を行った。分析の結果、補助を出すことにより市内に小児科を開設しても継続していけるとの結果となった。          令和6年度は小児科誘致に係る分析と補助制度の創設の段階であったため、小児科医の招聘には至っていない。</p> <p><b>【施策の成果】</b></p> <p>市民が地域で安心して子育てができる環境づくりを進めるため、新規で小児科医院を開設する医師に対する補助制度を創設した。令和7年度から募集を開始し、令和8年度に新規開設を目指す。          産科については、みやぎ県南中核病院での周産期医療の再開について働きかけ、同病院の経営強化プラン(R5.10策定)において優先課題として位置づけ令和9年度までに分娩再開を目指す。</p>											

R5 施策評価	やや遅れている	R6施策評価 (内部)	概ね順調	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
<p>新規で小児科医院を開設する医師に対する補助制度を創設したことにより、令和8年度に小児科の新規開設を目指す道筋が立ったため。          角田市医師会に登録している市内で勤務する医師の数は23人だが、令和8年度の目標値は24人となっている。</p> <p>○角田市医師会に登録している市内で勤務する医師の数:23人(R8年度目標値:24人)</p>					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
<p>応募がなかった場合、募集要件等を再検討する必要がある。          また、複数の応募があった場合、選定基準を設けて1人を選定しなければならない。</p>					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
<p>産科・小児科だけではなく、耳鼻科を含めた地域医療全体の存続について考えていく。          持続可能な医療提供体制整備に向けて、市内医療機関の現状を把握し、課題の洗い出しを行い、優先順位をつけたうえで適切な支援体制を構築する。</p>					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	小児医療対策事業	健康推進課	2,255	事業概要 今後の小児医療提供体制のあり方についての検討について業務委託した。  事業実績 業務委託による分析の結果、補助を出すことにより市内で小児科を開設した場合でも継続していけるとの結果となった。	
2				事業概要  事業実績	
3				事業概要  事業実績	
4				事業概要  事業実績	
5				事業概要  事業実績	

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	2	節	2	項	1
第6次長期総合計画における体系	第2章	保健・医療・福祉			施策担当部署	子育て支援課			
	第2節	子育てしやすい環境づくり							
	第1項	子育て支援の推進			評価担当部署	子育て支援課			
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援が受けられることで、妊産婦とその家族の出産・子育ての不安が軽減され、家族が健やかに生活できるよう取組みを進めます。</li> <li>●次代を担う子どもたちが社会の一員として自立するためには、心身ともに健やかに成長し、自ら学び考え行動する力や社会の発展に主体的に貢献する力を身につけていく必要があります。子どもの権利が守られ、全ての子ども・若者が健やかな成長と学び、自立に向けた支援に取り組みます。</li> </ul>								
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>重②子育て支援の相談拠点を活用し、子育て支援の専門職員による相談機能の充実を図ります。</li> <li>重②子育て家庭の経済的負担を軽減するための方法を検討します。</li> <li>重②要保護家庭、要支援家庭が安定した生活を継続していくため、子ども家庭総合支援拠点を整備します。</li> <li>●ひとり親家庭の生活の安定と自立を支援するため、就業に向けた支援を推進するとともに、仕事と子育てを両立できるよう、相談体制や経済的支援の充実を努めます。</li> <li>●母親が安心して妊娠・出産に臨めるよう、訪問指導やICTを活用した相談体制などにより妊娠期から支援を行うとともに、子どもの発育・発達への支援に取り組みます。</li> </ul>								
横断的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●読書活動が豊かな心の糧になり主体的な学びから学力の向上につながるよう「ブックスタート」等ゼロ歳児からの読書環境づくりを継続します。</li> <li>●男性や若い世代を対象とした育児や介護などの学習機会を検討します。</li> <li>●DVやストーカー、性犯罪等の暴力を防ぐための環境づくりや被害者支援の取組みを強化します。</li> </ul>								
KPI(重要業績評価指標)の達成状況									
	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値		R13年度 (後期)目標値	
1	この地域で子育てをしたいと思う親の割合				96.4 %	91.4 %		93.3 %	
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		\	
	89.6 %	91.4 %	91.1 %	88.1 %	%	%			
2								\	
3								\	
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果									
<p>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</p> <p>『健やか親子21アンケート結果』より</p> <p>①3～5か月児健診 84.9% ②1歳6か月児健診 90.2% ③3歳児健診 88.1% ①～③の平均値 88.1%</p> <p>令和6年度から「保育料」「学校給食費」の完全無償化を実施しているが、全体のアンケート結果としては前年度と比べ3%の減となっている。年齢別の回答を見ると、完全無償化の影響を受けることが少ない「3～5か月児健診」でのアンケート結果が最も低くなっている。</p> <p>【施策の成果】</p> <p>令和6年4月から、こども家庭センター事業を開始し、母子保健・児童福祉の両機能をもとに連携・協働を深め、関係機関と情報共有しながら、子育てに困難さを抱える家庭に対して相談支援を行うことができた。</p> <p>産婦人科・小児科オンライン相談では、これまでの相談体制に加え、「日中助産師相談」という設定された時間内であれば、助産師とリアルタイムでチャットのやりとりをできる機能を加えたことで、すぐに回答がもらえ、複数の質問をやとりできるため、不安解消が早期に図られるきっかけとなった。産後ケア事業の受け皿の拡大や電子申請の導入を行ったことで、より気軽に利用しやすくなった。</p>									

R5 施策評価	概ね順調	R6施策評価 (内部)	概ね順調	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
<p>KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析のとおり、アンケート結果においては年代によりバラつきがあるものの、令和6年度から「保育料」「学校給食費」の完全無償化を実施しており、恩恵を受けない年代のアンケート結果が昨年度から3%下回る結果となった。しかしながら、令和6年4月からこども家庭センターを開設し、子育てに困難さを抱える家庭に対して相談支援を行うとともに、オンラインで「日中助産師相談」を新たに開始するなど、子育て世代に寄り添った事業の展開に努めたため、「概ね順調」とした。</p>					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
<p>要保護・要支援家庭においては、家庭環境も複雑になってきており、また配慮を必要とする子や保護者も増加している。保護者の不安や困難さに寄り添った相談支援体制を整えていくため、今後も地域資源を開拓していきながら、実情に即した支援をしていく必要がある。</p> <p>ひとり親家庭は、増加傾向にあり、家庭環境も多様化・複雑化している。国の補助金等を活用しながら、経済的自立に向けた資格取得費等の助成の活用を周知し、また関係機関との連携を蜜にしなが、適切な支援に繋げていくことが必要である。</p> <p>子育て支援事業の充実が求められる中で、特に産後ケア事業など新たに設けられた支援制度利用についての周囲の理解不足や、利用者自身が利用することを「特別なこと」と感じてしまうことが、利用促進の妨げとなっている。</p>					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
<p>家庭内での問題や困難さに早期発見や介入ができるよう、関係機関と連携し役割や体制を構築していく。また、地域住民への啓発を通じて、地域全体で子どもたちを支える環境を整えていく。</p> <p>事業に関する周知を「かくはび」や「ほっぺなび」等の媒体を通じて更に進めるとともに、子育て世代以外の住民に対しても、様々な機会を周知していく。</p> <p>保護者の経済的負担の軽減に資する事業だけでなく、本市の課題となっている小児科医の誘致や室内遊び場等の整備など、さらなる子育て環境の充実にに向けて検討を進める必要がある。</p>					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	子育て世帯家事・育児訪問支援事業	子育て支援課	546	<p>事業概要 対象者の居宅を訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事育児等の支援をすることにより、養育環境を整え自立をめざす。また、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐ。</p> <p>事業実績 利用状況 9件 延べ100回(合計151時間)</p>	
2	子育て短期支援事業	子育て支援課	11	<p>事業概要 保護者の疾病その他の理由により児童を養育する者がいない家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に、当該児童を一定期間里親の家庭において保護することで、家庭の負担を軽減し、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐ。</p> <p>事業実績 利用実人数 2人(1世帯)、1回</p>	
3	母性保健オンライン相談事業(小児科・産婦人科オンライン相談)	子育て支援課	2,101	<p>事業概要 オンラインツール(メッセージチャットや動画通話)を通じ、手軽に悩みや不安を相談できる体制を提供した。また、令和6年度からは、日中助産師相談を新たに加えた。</p> <p>事業実績 小児科:282件、産婦人科:152件、日中助産師相談:5件</p>	
4	子育てモバイルシステム(ほっぺなび)	子育て支援課	264	<p>事業概要 子育て支援アプリを通じて、閲覧機能だけでなく、登録者に対して、プッシュ通知、情報配信を行う。</p> <p>事業実績 令和6年度末時点登録者数 331人(こどもの登録:475人)</p>	
5				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>	

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度				令和6年度				章	2	節	2	項	2
第6次長期総合計画における体系	第2章	保健・医療・福祉						施策担当部署	子育て支援課				
	第2節	子育てしやすい環境づくり											
	第2項	乳幼児の保育・教育体制の充実						評価担当部署	子育て支援課				
施策の方向性・目指す姿	<p>●核家族化や共働き家庭の増加等の社会状況の変化により、保育ニーズが多様化しているため、安心して仕事と子育てを両立できる環境づくりの観点から、多様な保育サービスの充実を図っていくとともに、仕事と子育てを両立するための環境づくりや、男女共同参画による子育てを促進し、「子育てしやすい環境づくり」を推進します。</p>												
主な施策	<p>●すべての子どもが発達段階に応じた幼児期の教育・保育を受けることができるよう、早期の待機児童の解消や、保育の質の向上に向けた取組みを推進します。</p> <p>●一時預かり保育等多様な教育・保育サービスを確保し、多様化する保育ニーズへ対応し、きめ細かな保育事業を推進します。</p> <p>●市内の保育所で働くことに魅力を感じられるように保育士を希望する大学生などの実習を積極的に行い保育士の確保に努めます。</p>												
横断的な取組み	<p>●子育て家庭への就労支援や、男女が共に協力して家庭内の役割を担っていくことができるよう、固定的な性別役割分担意識の解消に努めます。</p>												
KPI(重要業績評価指標)の達成状況													
1	指標名						達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	待機児童数						100.0 %	0 人	0 人				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度							
2 人	0 人	0 人	0 人	人	人								
2													
3													
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果													
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b>          待機児童対策として、令和4年度に市内に小規模保育施設を1施設誘致したことにより、待機児童の解消に寄与している。</p> <p><b>【施策の成果】</b>          令和6年度より、保育料の完全無償化を実施し、子育て世帯への経済的支援を強化することにより、子育てしやすい環境づくりに寄与した。          また、市内の特定教育・保育施設等に対し一時預かり事業補助金、障害児保育事業補助金等を交付することにより、多様化する保育ニーズに対し、きめ細かな対応が図られた。</p>													

R5 施策評価	概ね順調	R6施策評価 (内部)	概ね順調	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
人材不足等の課題や懸案事項はあるものの、指標の目標値を達成しており、引き続き、発達段階に応じた幼児期の教育・保育を受けることができるよう、待機児童対策に努めたい。					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
保護者の就労状況や育児休暇の取得状況など、多様な働き方やライフスタイルによる保育ニーズに応じて臨機応変に対応する必要がある。なお、保育の質の確保・向上を図るため、保育士の人材確保に努めたい。					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
「こども未来戦略」に基づき、乳幼児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の令和8年度実施に向けた体制整備を行い、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない支援を強化する。また、保育士の配置基準の見直しや処遇改善に適切に対応するため、保育士の人材確保に向け「魅力ある職場づくり」について検討し、実施する。					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	施設型給付事業	子育て支援課	422,372	<b>事業概要</b> 特定教育・保育施設に対して施設型給付費を支給し、施設利用者の負担軽減と事業者の経営の安定を図ることに併せて、教育・保育の質の向上に資するもの。 <b>事業実績</b> 公定価格に基づいた給付を行うことにより、事業者の経営安定に寄与するとともに、教育・保育の質の向上が図られた。	
2	地域型保育給付事業	子育て支援課	112,305	<b>事業概要</b> 特定地域型保育事業に対して地域型給付費を支給し、施設利用者の負担軽減と事業者の経営の安定を図ることに併せて、教育・保育の質の向上に資するもの。 <b>事業実績</b> 公定価格に基づいた給付を行うことにより、事業者の経営安定に寄与するとともに、教育・保育の質の向上が図られた。	
3				<b>事業概要</b> <b>事業実績</b>	
4				<b>事業概要</b> <b>事業実績</b>	
5				<b>事業概要</b> <b>事業実績</b>	

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度	令和6年度				章	2	節	2	項	3	
第6次長期総合計画における体系	第2章	保健・医療・福祉				施策担当部署	子育て支援課 生涯学習課				
	第2節	子育てしやすい環境づくり									
	第3項	学童保育・子どもの遊び場の充実				評価担当部署	子育て支援課				
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の子育てに関わる機関・団体の連携を強化し、子どもや子育て世帯を支援する体制づくりを進めるとともに、育児サークルなどの仲間づくりや地域住民による自主的な活動を支援します。</li> <li>●将来を担う児童生徒の「生きる力」を育むため、一人ひとりの子どもの個性を生かし、豊かな心を育成する教育環境の充実に向けて取り組みます。</li> </ul>										
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育てについて、身近なところで相談しやすい環境を整備するとともに、子育てに関する情報提供の充実に図ります。</li> <li>●放課後等の子どもの居場所となる放課後児童健全育成事業のほか、「子どもの居場所づくり」を推進します。</li> <li>●子育て情報の発信や親子を対象とした子育てサロン等の開催により、子育て世帯を支援する体制づくりや育児サークルなどの仲間づくりを推進します。</li> <li>●自然体験活動や社会体験活動、スポーツや文化芸術活動などの様々な地域活動を通じて、子どもたちの郷土愛や情操を養うことに努めます。</li> </ul>										
横断的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の子育てに関わる機関・団体の連携を強化し、子どもや子育て世代を支援する体制のネットワーク化を進めます。</li> <li>●乳幼児期の発達段階に応じて「楽しく体を動かす運動あそび」を継続して提供する「かくだ版アクティブチャイルドプログラム」等を実施することで、元気な子どもの育成を支援します。</li> </ul>										
KPI(重要業績評価指標)の達成状況											
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	学童保育・子どもの遊び場の充実に対する市民の満足度				107.1 %	48.0 %	50.0 %				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/				
	46.7 %	- %	- %	51.4 %	%	%					
2											
3											
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果											
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b> 各小学校の余り教室等を利用した放課後児童クラブの実施及び地域子育て支援拠点事業の充実が市民の満足度の向上に寄与した。</p> <p><b>【施策の成果】</b> 子育て支援センター(まめっこ)を中心に、子育て関連の情報発信や講座の開設、悩みの相談を受けることで、子育ての世帯の育児に対する不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することができた。 市内全域で326名の放課後児童クラブの利用があり、放課後等の子どもの居場所づくりの一助となるとともに、小学校に就学している児童の健全育成が図られた。</p>											

R5 施策評価	概ね順調	R6施策評価 (内部)	概ね順調	➡	R6施策評価 (推進委員会)
------------	------	----------------	------	---	-------------------

### 施策評価の理由

人材不足や遊び場の充実等について課題や懸案事項はあるものの、指標の目標値を達成しており、引き続き、待機児童を発生させることなく児童クラブを実施するとともに、地域子育て支援拠点事業も継続していくため。

角田市スポーツ交流館を会場に、乳幼児の親子の運動遊びの場を設け、運動遊びについて親子で学ぶ機会を作ることで、子どもの体力向上、親同士のネットワークの構築や子育ての仲間づくりを支援するとともに、保健師による育児相談等を行う「子育て遊びのMARCHE」を実施した。

### 施策を推進する上での課題

子どもの発達段階において、主体性に応じた遊びや生活ができるよう最大限に配慮するとともに、地域の人たちとの交流や多様な活動ができるよう、地域の他施設等との連携により、交流や活動の幅を広げることが必要となる。また、放課後児童クラブ以外の子どもの居場所づくりについても検討を進める必要がある。

Kスポは、親子の遊び場・バランスボール広場といった市内外から多くの利用者が集まる憩いの場所となっていることから、さらなるPRに努める。

子育てイベントをきっかけに、発達に応じた運動遊びの大切さ、仲間づくり、育児相談の場の継続的な提供を行っているため、施設の長寿命化を計画的に進める。

### 今後の取組(対応)方針

共働き家庭等の増加に伴い、「子ども未来戦略」に基づいた放課後児童クラブの待機児童を発生させない取組や、児童センターにおける地域の子どもの多様な体験・学びの機会の充実を目的とした事業を推進する。

乳幼児の親に向けて運動遊びの必要性をPRし、主体的に参加したいと思わせるPRを行う。

情報を必要とする市民に向けて、保育所等と連携しながら直接情報を届けるため角田市子育て支援アプリ「ほっぺなび」へ積極的な情報提供を行うとともに、未就学児の保護者にチラシ等で情報発信していく。

今後も、様々な事業を展開し、イベントをきっかけに集まった親子に対して、子育ての仲間づくりの支援・子どもの発達に応じた運動遊びや子育ての相談がしやすい場の提供につなげていきたい。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	9,412	<p>事業概要 子育て中の親子の交流促進や育児相談等を実施し、親子の交流悩みの解消等を図るもの。</p> <p>事業実績 来館者数が3,653人(R5)から3,992人(R6)に増加し、子育て中の親子の交流及び遊びの場を提供するとともに、子育てにおける悩みの解消等に寄与した。</p>
2	放課後児童健全育成事業	子育て支援課	100,907	<p>事業概要 保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象に、授業の終了後等に小学校の余剰教室等を利用して放課後児童クラブを設置し、適切な遊びや生活の場を提供するもの。</p> <p>事業実績 放課後児童クラブを利用している小学生の健全育成が図られるとともに、放課後等の「子どもの居場所づくり」にも寄与した。</p>
3	家庭教育推進事業	生涯学習課	474	<p>事業概要 子どもを地域全体で育む仕組みをつくり、家庭・地域の教育力の向上を図る。親子の愛着形成を促進するとともに子育てについて学習の場の提供を行う。</p> <p>事業実績 ・ふあみふあみ・子育て遊びのマルシェ ・家庭教育学級</p>
4				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
5				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度	令和6年度				章	2	節	3	項	1	
第6次長期総合計画における体系	第2章	保健・医療・福祉				施策担当部署	社会福祉課				
	第3節	安心な福祉社会の形成									
	第1項	地域福祉活動の支援				評価担当部署	社会福祉課				
施策の方向性・目指す姿	<p>●地域福祉の推進主体である地域住民等の参画のもとで、多様な主体が分野を超えて横断的な連携を図りながら、様々な地域課題や生活上の問題の解決のため、地域共生社会※の実現を目指します。</p>										
主な施策	<p>重②福祉施策における分野別計画の上位計画として「地域福祉計画」を改定し、分野を超えた横断的な連携を図ることにより、各種施策の課題等を把握し、適切な進行管理を行うことで、地域共生社会の実現に向けた体制整備を推進します。</p> <p>重②社会福祉協議会、民生委員・児童委員、シルバー人材センター、自治センター等の関係機関・団体との連携により、様々な問題・困りごとを把握し、地域の課題等を解決し、地域で支え合うシステムの構築を推進するとともに、医療・介護・生活支援のサービスを一体的に提供できる総合相談機能の充実を図ります。</p>										
横断的な取組み	<p>●行政区長等と連携し、消防団員の確保に努めます。</p> <p>●角田消防署や角田市婦人防火クラブ連合会等と連携し、火災予防に努めます。</p>										
KPI(重要業績評価指標)の達成状況											
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値		R13年度 (後期)目標値			
	地域づくりに関する住民向け研修会の参加者数				114.1 %	270 人		360 人			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		/			
	124 人	269 人	284 人	308 人	人	人					
2								/			
3								/			
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果											
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○民生委員・児童委員各地区定例会 88人</li> <li>○支え合いによる地域づくり研修会 130人</li> <li>○高齢者権利擁護講演会 60人</li> <li>○人口減少問題に関する講演会 30人</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 308人</p> <p>対前年比で見ると参加者は24人の増となっており、達成率も約9ポイント増えている。人口減少問題に関する講演会は、他部局主催であったが、多くの民生委員が関心を寄せ参加した。</p>											
<p><b>【施策の成果】</b></p> <p>第2期角田市地域福祉計画(R5.3月策定。期間：R5年度～R9年度)に基づき、各関係機関と横断的な連携に努め、施策を展開した。</p> <p>コロナ禍後、少しずつサロンや通いの場活動を再開するものの活動内容に自信が持てなくなっていた団体もあったようだが、研修会や講演会を通し、自分たちの活動が意義あるものと再確認でき良かったとの意見があった。</p>											

R5 施策評価	概ね順調	R6施策評価 (内部)	順調	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
<p>第2期角田市地域福祉計画中、重点的な取組みである重層的支援体制の整備及び成年後見制度の利用促進については、地域福祉計画庁内推進会議（内部評価）及び地域福祉計画策定委員会（外部評価）にて、協議しながら推進した。</p> <p>重層的支援体制の整備は地域共生社会の実現にむけて国の動向を踏まえながら関係課と共有を図った。成年後見制度の利用促進は、国及び本市の成年後見制度利用促進基本計画に基づく中核機関の設置を、次年度地域包括支援センター内への設置に向けて体制整備を進めた。（令和7年4月1日設置）</p> <p>地域サロン・通いの場の活動など、コロナ禍を経て地域福祉活動を再スタートする団体・行政区が増えた。</p>					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
<p>地域共生社会の実現に向けては、地域福祉活動を支える担い手の育成や社会福祉協議会との連携が課題となっている。また、重層的支援体制の整備は国の動向を注視し、他自治体の事例も踏まえ課題整理をする必要がある。</p>					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
<p>引き続き社会福祉協議会と連携し、民生委員・児童委員定例会等において、地区ごとの課題を整理し、各地区でどのような地域づくりが図られているか把握しながら、地域で支え合う体制づくりに努める。また、成年後見支援センター設置に係る周知活動を行うとともに、重層的支援体制の整備について関係課と連携し推進を図る。</p>					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	社会福祉推進事業	社会福祉課	33,690	事業概要【主なもの】 ①民間社会福祉活動の推進に要する経費（社会福祉協議会補助金） ②民生委員・児童委員活動に要する経費（報酬） 事業実績 ①27,100千円 ② 5,325千円	
2				事業概要  事業実績	
3				事業概要  事業実績	
4				事業概要  事業実績	
5				事業概要  事業実績	

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度	令和6年度				章	2	節	3	項	2	
第6次長期総合計画における体系	第2章	保健・医療・福祉				施策担当部署	介護支援課 地域包括支援センター				
	第3節	安心な福祉社会の形成									
	第2項	介護予防対策・地域包括ケアシステムの推進				評価担当部署	介護支援課				
施策の方向性・目指す姿	<p>●高齢者が健康で自立した生活が送れるよう、地域での自主的・積極的な介護予防・健康づくりを推進するとともに、心身ともに健康な状態を維持していくため、生きがいづくりや社会参加、生活環境の整備に取り組みます。</p> <p>●高齢者が生涯を通じて、地域で安心して暮らし続けるため、地域包括支援センターの機能強化や医療・介護の連携強化、緊急時等も踏まえた地域における助け合い・支え合いの支援体制づくりを推進します。</p>										
主な施策	<p>重②高齢者の生きがいづくりや社会参加、生活環境の整備に取り組むため、地域の助け合い、支え合いの体制を強化できるよう、見守りや声がけ等の地域のネットワークづくりを推進します。</p> <p>重②各地域における課題を把握するとともに、地域資源を活用しながら、地域の実情に応じた新たな生活支援サービスを創出するため、関係機関による連携体制の強化に取り組みます。</p> <p>重②多職種間の共通理解を深めるため、研修会等を実施し、課題の共有と連携強化を図り、人材確保・育成に取り組めます。</p> <p>●介護予防に関する情報を発信するとともに、相談支援体制の充実を図ります。</p> <p>●年齢や心身の状態により分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指して、定期的に活動するグループ(住民主体の通いの場等)を健康づくりの側面からも支援します。</p> <p>●介護サービスを利用するようになった際に、利用者の状況に即した介護サービスを安心して受けられるよう、介護保険事業の健全な運営を図ります。</p>										
横断的な取り組み	<p>重②地域包括支援センターが、地域包括ケアシステムの推進における中核的な機関として機能を発揮するため、運営体制や業務内容の見直し等、必要な体制の整備を推進します。</p> <p>●医療・介護サービスのみでなく、地域の生活支援サービスを担う事業主体(社会福祉協議会、シルバー人材センター、ボランティア等)や介護予防に関する庁内関係部署が連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図ります。</p> <p>●認知症高齢者の増加が見込まれるため、医師会や関係機関と連携し、早期に相談支援や適切な医療・介護サービスへとつなげる支援体制づくりを図ります。</p>										
<b>KPI(重要業績評価指標)の達成状況</b>											
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	介護予防活動応援事業(ついでにお得コツコツ活動事業)参加者数				84.9 %	800 人	800 人				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度					
	- 人	571 人	579 人	679 人	人	人					
2	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	新たに要支援・要介護認定を受ける方の平均年齢				99.0 %	83.2 歳	83.6 歳				
	初期値 (H30年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度					
	82.5 歳	82.9 歳	83.5 歳	82.4 歳	歳	歳					
3											
<b>KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果</b>											
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b></p> <p>1. 令和6年度に通いの場の育成事業を拡充したこともあり、参加団体及び参加者数が増加した(R6年度末登録団体:52団体(前年度比11団体増))。</p> <p>2. 前年度の実績値を下回った。単純に数値だけでは評価しきれない側面(制度周知が進んだことにより要支援の段階から認定を受ける人が増加等)があることから、多角的な視点をもって分析を継続したい。</p>											
<p><b>【施策の成果】</b></p> <p>地域包括ケアシステムの推進については、第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画(R6~8)で重点事項と位置づけ、地域ケア推進会議の立ち上げにより全体コーディネートを強化し、また、地域における支え合いの仕組みを構築する等により、包括的な支援体制の整備が進んだ。</p>											

R5 施策評価	概ね順調	R6施策評価 (内部)	概ね順調	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
<p>第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画(R6～8)に基づき、次の重点事項に取り組むことができ、地域包括ケアシステムを推進し包括的な支援体制の整備が進んだため。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者が一堂に会する地域ケア推進会議を立ち上げ、地域ケアシステム全体のコーディネートを開始</li> <li>・地域における支え合いの仕組みを構築(シルバー人材センターのおでっ隊のリニューアル、住民主体の生活支援団体の支援事業の構築、通いの場育成事業の拡充など)</li> </ul>					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア推進会議において分野別会議を開催しているが、分野間での連携、分野を超えた課題(身寄りのない高齢者の増加等)への対応が望まれる。</li> <li>・後期高齢者の更なる増加に伴い、介護予防事業の拡充や、高齢者が地域で支え合う仕組みの構築がさらに望まれる。</li> </ul>					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
<p>引き続き、第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画において重点事項としている次の3つの事業に取り組み、地域包括ケアシステムをさらに推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域ケア推進会議の運営(R7:分野間の連携強化)</li> <li>②生活支援体制整備事業の強化(R7:住民主体の生活支援団体の育成事業の開始等)</li> <li>③保健事業と介護予防の一体的な実施(R7:通いの場で健康教育の拡充等)</li> </ol>					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	地域ケア会議推進事業	介護支援課 ・ 地域包括支援センター	387	<b>事業概要</b> 関係者が一堂に会する地域ケア推進会議等を開催し、地域包括ケアシステム全体のコーディネート・連絡調整を行い、地域包括ケアシステムを推進する。  <b>事業実績</b> 地域ケア推進会議 3回開催 分野別会議 8回開催	
2	生活支援体制整備事業	介護支援課	9,925	<b>事業概要</b> 生活支援コーディネーターを配置(1層市職員3名、2層市社会福祉協議会3名)し、さまざまな生活支援サービスの提供体制を構築し、地域の支え合いの体制づくりを推進する。  <b>事業実績</b> 地域における支え合いの仕組みを構築 ・シルバー人材センターのおでっ隊をリニューアル(リニューアル後、5ヶ月で128件利用) ・住民主体の生活支援団体の支援事業の構築など	
3	地域介護予防活動支援事業	介護支援課 ・ 地域包括支援センター	7,482	<b>事業概要</b> 地域において、介護予防活動に取り組む団体(住民主体の通いの場を運営する団体など)を支援し、介護予防活動の地域展開を目指す。  <b>事業実績</b> ・通いの場の育成事業 講師派遣117回 ・ついでにお得コツコツ活動事業への参加団体・人数 R6年度末 52団体629名(11団体、100名増)	
4	介護予防・地域支え合い事業	介護支援課	18,251	<b>事業概要</b> 生きがいデイサービス事業や高齢者福祉タクシー事業等在宅福祉サービスを実施し、外出支援や孤立感の解消、日常生活の便宜を図る。  <b>事業実績</b> 高齢者福祉タクシー助成事業 R6利用枚数9,297枚(522枚増)	
5	配食サービス事業	介護支援課	4,725	<b>事業概要</b> 自立した生活を継続するため、バランスの取れた食事を提供し、健康維持、孤立感の解消及び安否確認を図る。  <b>事業実績</b> 配食サービス事業 R6年度末 実利用者数69人(18名増)	

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度				令和6年度				章	2	節	3	項	3
第6次長期総合計画における体系	第2章	保健・医療・福祉						施策担当部署	介護支援課				
	第3節	安心な福祉社会の形成											
	第3項	高齢者福祉サービスの充実						評価担当部署	介護支援課				
施策の方向性・目指す姿	●高齢者が生きがいを持ち、健康で心安らかに生活できる環境を目指します。												
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一人ひとりが役割を持ち、その活動のために気軽に出かけられる移動手段の確保や居場所づくりの支援を行います。</li> <li>●高齢者の生きがいづくりを推進するため、シルバー人材センターの支援を行います。</li> </ul>												
横断的な取組み	●働く意欲のある高齢者のニーズに対応するため、シルバー人材センターと連携します。												
KPI(重要業績評価指標)の達成状況													
1	指 標 名						達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	シルバー人材センター会員数						104.8 %	500 人	500 人				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/						
	453 人	446 人	501 人	524 人	人	人							
2													
3													
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果													
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b>          シルバー人材センターにおいて既存事業(高齢者サロンひだまりや、市内4地区で行っているいきいきサロン(百歳体操教室))において会員募集の周知を積極的に行い、会員数が目標値を達成することができた。</p> <p><b>【施策の成果】</b>          ・高齢者福祉タクシー助成事業や生きがいデイサービス事業等により、高齢者の外出支援を図ることができた。          ・配食サービス事業の実施により、健康保持、孤立感の解消及び安否確認を図ることができた。          ・老人クラブへの助成金の交付により、居場所づくりの支援を図ることができた。          ・シルバー人材センター事業の円滑な運営により、高齢者の地域における雇用・就労機会の確保や生きがいづくり、心身の健康維持・増進を図ることができた。</p>													

R5 施策評価	順調	R6施策評価 (内部)	順調	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
KPIの達成(シルバー人材センター会員数の増加)に加え、高齢者福祉タクシー助成事業や配食サービス事業などの利用者数が伸びているため。					
○配食サービス事業の利用者数 69人(R8年度目標値:80人)					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、高齢者世帯、身寄りのない高齢者の増加が見込まれ、また、国の制度変更が続いていることから本市における高齢者福祉サービスのあり方を見直しする必要がある。</li> <li>・老人クラブの会員数が減少しており、また役員のなり手不足による解散等で団体数も減少している。</li> <li>・老朽化した老人福祉センター及び婦人研修センターについては、角田市公共施設個別計画に基づき、廃止を検討する必要がある。</li> </ul>					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者福祉サービスの見直しについては、できることから随時行いつつも、介護保険料の積算に影響のある見直しについては、第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定作業の中で整理するものとする。</li> <li>・老人福祉センター(及び婦人研修センター)については令和8年度3月末で廃止する方向とし、必要な代替サービスについては、施設利用者の視点だけではなく、高齢者福祉サービスの全体の見直しの中で行うものとする。</li> </ul>					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	介護予防・地域支え合い事業【再掲】	介護支援課	18,251	<b>事業概要</b> 生きがいデイサービス事業や高齢者福祉タクシー事業等在宅福祉サービスを実施し、外出支援や孤立感の解消、日常生活の便宜を図る。 <b>事業実績</b> 高齢者福祉タクシー助成事業 R6利用枚数9,297枚(522枚増)	
2	配食サービス事業【再掲】	介護支援課	4,725	<b>事業概要</b> 自立した生活を継続するため、バランスの取れた食事を提供し、健康維持、孤立感の解消及び安否確認を図る。 <b>事業実績</b> 配食サービス事業 R6年度末 実利用者数69人(18名増)	
3	老人クラブ運営助成事業	介護支援課	1,771	<b>事業概要</b> 老人クラブ及び老人クラブ連合会に対し、経費の一部を助成することにより、活動の場を広げ、活発な交流を促し、高齢者の生きがいにつなげる。 <b>事業実績</b> 老人クラブ数 R6年度29クラブ(3団体減)	
4	シルバー人材センター運営助成事業	介護支援課	13,035	<b>事業概要</b> 高齢者の地域における雇用・就労機会の確保や生きがいづくり、心身の健康維持・増進を図る。 <b>事業実績</b> シルバー人材センター会員数 R6年度会員数524人(23名増)	
5	老人福祉センター管理運営事業	介護支援課	3,398	<b>事業概要</b> 高齢者の健康の増進等を目的に、老人福祉センターの運営を行う(指定管理者:(公財)角田市地域振興公社) <b>事業実績</b> 施設利用者数 R6年度 1500名(156名減)	

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度					令和6年度	章	2	節	3	項	4
第6次長期総合計画における体系	第2章	保健・医療・福祉				施策担当部署	社会福祉課 子育て支援課				
	第3節	安心な福祉社会の形成									
	第4項	障害者(児)福祉サービスの充実				評価担当部署	社会福祉課				
施策の方向性・目指す姿	●地域における障害のある人を取り巻くサービス提供の基盤強化や人材の育成、社会参加の促進を行うことで、地域に暮らす誰もが多様性を認め、お互いを尊重し、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます。										
主な施策	●障害についてのさらなる理解の促進や設備の充実など、生活支援体制の整備により、誰もが多様性を認め、お互いを尊重し、安心して暮らせるまちづくりを推進します。 ●障害のある人に創作的活動、生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進等を行う地域活動支援センターを整備するとともに、利用を推進します。										
横断的な取組み	●事業所、関係機関、仙南地域自立支援協議会と連携し、障害福祉サービスの提供と当事者及び家族の安全につながる適切な相談支援体制の整備に努めます。										
KPI(重要業績評価指標)の達成状況											
1	指 標 名					達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
	障害福祉サービス相談支援事業の利用者数					92.4 %	290 人	300 人			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/				
	250 人	261 人	256 人	268 人	人	人					
2	指 標 名					達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
	地域活動支援センターの利用者数					0.0 %	20 人	20 人			
	初期値 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/				
	- 人	- 人	- 人	- 人	人	人					
3	指 標 名					達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果											
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b></p> <p>1. 保護者の高齢化により、家族支援が難しくなった障害者の障害福祉サービス利用(グループホームへの移行や短期入所利用)が増えてきている。</p> <p>2. 地域活動支援センターについて他自治体の視察や情報収集を行っているが、担っていただける事業者がなかなか見つからず難航している。</p> <p><b>【施策の成果】</b></p> <p>障害者の自立・社会参加を支援する施策の推進により、個々の支援計画に沿った、必要な障害福祉サービスが提供されている。</p> <p>市内に新しいグループホーム(はぐくみ学園運営)が開所し、施設入所から地域での生活へ移行が進んだ。また、就労施設から一般就労へ移行した者がいるなど自立支援に成果がみられた。</p>											

R5 施策評価	やや遅れている	R6施策評価 (内部)	やや遅れている	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
<p>自立支援に成果がみられたが、地域活動支援センターについて他自治体の視察や情報収集を行っているが、担っていた事業者がなかなか見つからず難航している。</p>					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
<p>①利用者の高齢化により介護保険サービスへの移行が進んでいる。          ②事業者側の人手不足。専門知識や経験を必要とすることから、慢性的に人手不足になっている。</p>					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
<p>障害のある人が自立して社会生活を営む事ができるための新しいサービスや、高齢になっても住み慣れた場所で生活ができるよう、また障害のある子どもへの多様化するニーズに対応するための支援の拡充に努める。          地域活動支援センターについては、今ある福祉資源(地域サロンや通いの場など)を活用し、試験的スタートができないか検討する。</p>					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	身体障害者在宅福祉事業	社会福祉課	65,041	事業概要 身体障害者福祉法に基づく障害者に対し、在宅生活を支援する事業の経費など  事業実績 【主なもの】 ①心身障害者医療費助成金 ②障害者福祉タクシー、自動車燃料費助成費	
2	障害者総合支援給付事業	社会福祉課	671,378	事業概要 障害者総合支援法に基づく給付費  事業実績 【主なもの】 ①障害福祉サービス費 ②相談支援給付費 ③障害者自立支援医療費	
3	障害者地域生活支援事業	社会福祉課	27,020	事業概要 障害者総合支援法第77条に基づく市町村地域生活支援事業  事業実績 【主なもの】 (仙南圏域2市7町で委託) ①相談支援事業(基幹相談支援センター事業) ②障害児(者)の緊急時のサポート・調整など	
4				事業概要	
				事業実績	
5				事業概要	
				事業実績	

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度				令和6年度				章	2	節	3	項	5	
第6次長期総合計画における体系	第2章	保健・医療・福祉						施策担当部署	市民課 健康推進課 社会福祉課					
	第3節	安心な福祉社会の形成												
	第5項	安心を支える制度の運用						評価担当部署	健康推進課 市民課					
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●複合的な生活課題を抱え、ひきこもりや生きづらさを感じている人や世帯の早期発見に努め、様々な福祉施策に関する課題に対して、総合的な相談・支援を行います。</li> <li>●国民健康保険制度及び後期高齢者医療制度により、被保険者が健康で長生きするために、健康づくりの推進を目指します。</li> </ul>													
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経済的な困窮等、市民の生活安定の危機に対し、福祉施策や年金、生活困窮者自立支援事業等による支援、生活保護制度の適用を行うとともに、働く意欲と能力のある人への就労支援を行います。</li> <li>●データヘルス計画※を推進し、3大疾病のり患率低減に努めます。</li> <li>●特定健康診査の受診率と特定保健指導の実施率向上に努めます。</li> <li>●国民健康保険制度の安定運営を目指し、財政調整基金の残高や医療費の推移を見極め保険税率の見直しを図るとともに、収納率の向上に努め、適正に給付します。</li> </ul>													
横断的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域住民や民生委員等との連携により、生活困窮者等に関する情報の収集に努めます。</li> </ul>													
KPI(重要業績評価指標)の達成状況														
1	指標名					達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値						
	特定健康診査受診率					100.7 %	45.0 %	50.0 %						
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度								
	38.3 %	41.8 %	42.3 %	45.3 %	%	%								
2	指標名					達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値						
	安心を支える制度の運用に対する市民の満足度					110.5 %	55.0 %	60.0 %						
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度								
	51.6 %	-	-	60.8 %	%	%								
3														
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果														
<p>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</p> <p>1. 受診票を世帯主から各個人あてに変更し通知したところ、各自が自分の健康状態を意識しやすく、受診率が高まった。</p> <p>2. 国民健康保険税率の改正(増額)があったものの、税率改正に対する市民の問い合わせに丁寧に対応したことや、令和6年度から新たに実施した健診結果説明会等の取組みにより、安心を支える制度の運用に対する市民の満足度が高まったと考えられる。</p>														
<p>【施策の成果】</p> <p>特定健康診査の受診率と特定保健指導の実施率向上に努め、3大疾病のり患率低減が図られた。</p> <p>令和6年度から実施した健診結果説明会(運動相談・健診結果の見方の説明会・健康講演会)に市民が参加したことで、健康に対する意識の向上と特定健康診査の受診率向上が図られた。</p> <p>生活困窮者の方々に対して、包括的な支援、個別的な支援、早期的な支援、継続的な支援を、地区民生委員及び社会福祉協議会、ハローワーク等連携し支援に努めた。特に生活困窮者の相談で就労可能な方について、ハローワークとの連携を強化し、毎月来課(出張相談)日を設け、就労に繋げた。</p> <p>令和6年度に県の示す標準保険料(税)率に国民健康保険税率を改正(増額)したことにより、安定した国保運営ができた。また、税率改正に対する市民からの問い合わせ等にも丁寧に説明を行ったことにより、大きなトラブルはなく、理解してもらうことができた。</p>														

R5 施策評価	概ね順調	R6施策評価 (内部)	概ね順調	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
<p>R6年度の特定健康診査の受診率(45.3%)は、R8年度(前期)目標値(45.0%)に達成し、初期値(R2年度)と比較し、受診率は上昇傾向にあり、年々向上している。</p> <p>ハローワークとの連携強化によって、就労に繋がるケースがあった。また、身近な保健福祉センターで相談できることが、利用者に好評である。</p>					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
<p>国が特定健康診査受診率の目標値を60%と設定しており、その目標に到達することが課題となる。</p> <p>就労活動困難、病気、住まいの不安定、家庭の課題、メンタルヘルス、家計管理の課題、就労定着困難、債務問題など課題が複雑かつ多様化している。</p>					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
<p>個人の背景に合わせた効果の高い受診勧奨を行い、特定健康診査の受診率と特定保健指導の実施率向上を目指す。過去の特定健診結果や診療報酬明細書を用いて特定健診対象者の現状分析を行い分類をし、その分類にあわせた通知を作成し、受診勧奨を促す。</p> <p>生活保護に至る前の段階のうちに生活困窮者の方々に対して包括的な支援に努める。</p> <p>生活困窮者の内容が多様化しているため、関係部署等と連携し包括的な支援をしていく。</p> <p>令和12年度(遅くとも令和15年度)に国民健康保険料(税)率が県単位化することに向けて、事業費納付金の支払いが出来るよう、財政調整基金の残高を確認しながら安定した国保運営ができるよう、県の示す標準保険料(税)率を参考に税率の見直し等を行っていく。</p>					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	特定健康診査事業	健康推進課	19,494	<p>事業概要 角田市国民健康保険に加入する40~74歳の市民を対象に、メタボリックシンドロームに着目した検査項目での検査を行う。</p> <p>事業実績 健診により、メタボリックシンドローム及び予備軍の人を発見し、特定保健指導につなげ生活習慣病の予防が図られた。</p>	
2	生活困窮者自立支援事業	社会福祉課	3,216	<p>事業概要 生活困窮者自立支援法に基づく、自立相談支援事業</p> <p>事業実績 生活困窮者自立相談支援員(会計年度任用職員)の人件費</p> <p>・相談受付及び他機関との連携件数:延べ87件</p>	
3				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>	
4				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>	
5				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>	

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	3	節	1	項	1
第6次長期総合計画における体系	第3章	産業振興・就労			施策担当部署	農林振興課			
	第1節	活力ある農林業の振興							
	第1項	安全・安心な農畜産物の生産			評価担当部署	農林振興課			
施策の方向性・目指す姿	<p>●農業従事者の高齢化や担い手農家が減少していく状況においても、持続可能な農業の振興を図るため、農業生産性の向上や省力化、低コスト化などを目的としたスマート農業技術の導入を支援するとともに、需要に応じた収益性の高い園芸作物の生産拡大に取り組みます。</p> <p>●野生鳥獣による農作物被害を防ぐため、個人や集落ぐるみによる侵入防止柵の設置支援や、鳥獣捕獲に取り組みます。</p>								
主な施策	<p>重③大規模な企業的経営をはじめ、家族経営や副業としての農業など、多様な形態の農業経営体が活躍する農村地域を目指し、各経営体の取組みに適した支援に努めます。</p> <p>重③農業従事者の高齢化や担い手農家の減少を補完するため、ICTを活用したスマート農業技術の導入を支援します。</p> <p>重③農業経営の複合化や高収益作物の生産拡大を図るため、施設利用型農業や6次産業化などの推進に努めます。</p> <p>●資源循環型農業※の推進により、農業者の耕畜連携による環境にやさしい安全・安心な農畜産物の生産を引き続き支援するとともに、有機農業をはじめとした環境負荷の軽減に資する技術を活用した持続可能な農業の振興に努めます。</p> <p>●近年多発する災害や病害虫、家畜伝染病等による農林畜産業への被害対策を講じるとともに、セーフティネットへの加入などを推進し、安定した経営が行われるよう支援します。</p>								
横断的な取組み	●野生鳥獣による農作物被害を防ぐため、農業者が設置する電気柵や箱わなの導入補助を引き続き行うとともに、市内の有害鳥獣駆除組織など関係機関と連携し、鳥獣の捕獲や新たな被害防止策の検討などに取り組みます。								
KPI(重要業績評価指標)の達成状況									
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	農業産出額				89.8 %	588 千 万 円	616 千 万 円		
	初期値 (R1年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	\		
	560 千 万 円	496 千 万 円	498 千 万 円	528 千 万 円	千 万 円	千 万 円			
2	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	イノシシによる被害農地面積				672.3 %	8.00 ha	6.40 ha		
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	\		
	10.34 ha	1.14 ha	1.17 ha	1.19 ha	ha	ha			
3	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果									
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b></p> <p>1. 農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果によるもの。 増加の要因としては、米の概算金が上昇したことによるものと推測される。</p> <p>2. イノシシによる被害農地面積は、豚熱(伝染病)の発生によるイノシシの個体数減少に伴い被害面積が減少した。また、箱わなによる捕獲及び電気柵等設置による対策を行うことにより個体数の増加及び農作物被害を抑制している。</p>									
<p><b>【施策の成果】</b></p> <p>農業用機械等購入の支援や有害鳥獣対策の支援を実施</p>									

R5 施策評価	概ね順調	R6施策評価 (内部)	概ね順調	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
<p>農家所得の確保のため、主食用米から他の作物への転換誘導に努めた。また、農業用機械導入補助等より安定的な農作物生産のための基盤づくりに寄与した。</p> <p>角田市和牛改良組合に対し、優良な繁殖雌牛の導入経費への助成を行い、優秀な和牛生産を後押しすることで産地形成の基盤の確保に寄与した。</p> <p>箱わな及び電気柵の設置に係る費用を補助することにより農作物被害の軽減を図った。</p>					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
<p>農業用資材価格の高騰が続くなか、農業経営は厳しい状況に置かれていることから、財源を確保しつつ農業者の経営継続に向けた施策を実施していく必要がある。</p>					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
<p>農業用資材価格の高騰が続き農業者の経営が圧迫しており、特に酪農においては非常に厳しい状況にあることから、宮城県市長会などを通じて実効性のある施策を求めていくとともに、今後の国、県の動向を見極めながら農業者の経営意欲が損なわれないよう支援を行う。</p> <p>また、令和5年度から実施している資源循環型農業推進事業による農業の館等の堆肥や有機質肥料の購入費用と農産物の販売促進経費に対して助成することで、環境にやさしい安全・安心な農産物の生産体系と産地づくりの形成を図る。</p>					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	果樹振興事業	農林振興課	750	<p>事業概要 園芸特産物の生産振興と産地を育成するため、角田市果樹振興協議会等が実施する必要な栽培施設等の整備及び機械購入に要する経費の一部を助成</p> <p>事業実績 園芸特産重点強化整備事業費補助金 ・農業用機械購入 1件</p>	
2	肉用牛・乳牛振興事業	農林振興課	3,517	<p>事業概要 和牛改良組合内における高能力種雄牛産子雌牛の保有割合を高め、和牛産地としての発展を目指すため優良雌牛の導入費用の一部を助成</p> <p>事業実績 優良繁殖雌牛導入特別対策事業費補助金 15頭導入</p>	
3	農作物災害対策事業	農林振興課	8,821	<p>事業概要 イノシシなどから農作物の被害防止を図るため、電気柵等設置に要する経費や狩猟免許取得に要する経費の一部を助成</p> <p>事業実績 有害鳥獣駆除活動謝礼 延べ3,327人 有害鳥獣駆除捕獲謝礼 270頭 電気柵等設置助成 10件 狩猟免許取得助成 2件</p>	
4	資源循環型農業推進事業	農林振興課	2,500	<p>事業概要 資源循環型農業及び有機農業を推進するため、角田地区園芸部会連絡協議会が実施する取組の一部を助成</p> <p>事業実績 農業用資材購入経費・講習会・先進地視察・販売促進費に要する経費を助成</p>	
5				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>	

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	3	節	1	項	2	
第6次長期総合計画における体系	第3章	産業振興・就労				施策担当部署	農林振興課			
	第1節	活力ある農林業の振興								
	第2項	<b>地域農業の推進</b>				評価担当部署	農林振興課			
施策の方向性・目指す姿	<p>●次代を担う新規就農者を確保するため、関係機関と連携した実践研修や農地の確保、資金相談など一貫した支援に取り組みます。</p> <p>●農山村地域が持つ魅力の発信や賑わいの創出を図るため、グリーンツーリズムなどを推進し、交流人口や関係人口の増加に取り組みます。</p> <p>●農業、農村の有する多面的機能の維持と発揮を促進するため、地域で行う農用地などの適切な保全管理活動を支援し、荒廃農地の発生抑制に努めます。</p>									
主な施策	<p>重③次世代を担う農業者の確保を目的に、親から子への事業継承と、市内外の意欲ある就農希望者を受け入れるため、第三者継承を含めた新規就農者の就農支援に取り組みます。</p> <p>重③農業、農村が有する多面的機能を適切に維持・発揮するため、意欲ある地域住民が組織する保全隊等により行う、農業や地域生活を支える地域の共有資源である水路や農道の草刈り、維持補修などの共同活動を支援し、地域資源の適切な保全管理を推進します。</p>									
横断的な取組み	<p>重③地域の農業者や関係機関との連携により、グリーンツーリズムなどの体験型交流事業の開催支援に取り組み、農山村地域が持つ魅力の発信と交流人口、関係人口の増加に寄与し、地域経済の好循環を目指します。</p> <p>重③角田市農業振興公社や担い手農業者等と連携しながらサポート体制を整備し、新規就農者の確保、就農支援を推進します。</p>									
KPI(重要業績評価指標)の達成状況										
1	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
	<b>新規就農者数【令和4年度～令和13年度累計】</b>				<b>60.0 %</b>	10 人	26 人			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/			
	- 人	0 人	3 人	6 人	人	人				
2	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
	<b>多面的機能支払交付金の交付対象活動組織数【累計】</b>				<b>150.0 %</b>	42 団体	44 団体			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/			
	40 団体	42 団体	42 団体	43 団体	団体	団体				
3	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果										
【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】										
<p>1. 新規就農者を確保するため、角田市農業振興公社を窓口として、関係機関等(普及センター・JA)と連携し、農地の確保、資金相談など一貫した支援に取り組み、3名の新規就農に繋がった。</p> <p>2. 多面的機能支払交付金対象活動組織についても、地域への声掛けや説明会を行い1組織の増加に繋がった。</p>										
【施策の成果】										
<p><b>新規就農者</b></p> <p>・園芸1名、果樹2名、計3名が新規就農</p> <p><b>多面的機能支払交付金</b></p> <p>・活動組織 43団体(前年比+1)</p>										



### 施策評価の理由

角田市農業振興公社を窓口として関係機関と連携しながら新規就農者の確保に向けた支援を行っている。また、農業の生産資源・環境資源を将来にわたり良好な状態で保全し、その質を高める地域共同活動を実施する団体の支援を行った。

### 施策を推進する上での課題

角田市の魅力を発信しより多くの新規就農者を獲得するため、幅広いコンテンツを活用し周知活動を行う必要がある。関係機関の連携を強化し農業者に寄り添った必要な情報の提供を図る必要がある。

### 今後の取組(対応)方針

新規就農希望者からの相談を就農に結び付けるため、角田市農業振興公社をワンストップ窓口としホームページのリニューアルや各種就農フェアの参加、みやぎ農業振興公社などとの連携、地域おこし協力隊事業の活用など積極的な募集活動を行う。

国や県、市独自の補助事業を活用し必要な情報提供や営農計画の作成、農業機械・施設導入に関する支援を行う。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	人・農地プラン推進事業	農林振興課	14,182	<p>事業概要 地域農業における農業の将来の在り方などを明確化した地域計画に基づき、国・県の補助事業を活用した農地の集約化や機械導入に係る支援を実施</p> <p>事業実績 農地集積集約化対策事業費補助金 1件 経営開始資金 1件 農業次世代人材投資事業費補助金 1件</p>
2	多面的機能支払交付金事業	農林振興課	103,946	<p>事業概要 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進</p> <p>事業実績 多面的機能支払交付金 43地区</p>
3				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
4				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
5				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	3	節	1	項	3	
第6次長期総合計画における体系	第3章	産業振興・就労				施策担当部署	農林振興課 農業委員会			
	第1節	活力ある農林業の振興								
	第3項	農業生産基盤の充実				評価担当部署	農林振興課			
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●効率的な農業生産基盤を確立するため、農地整備事業による農地の大区画化や汎用化などを促進するとともに、農地中間管理事業などを活用した担い手への農地の集積・集約化を推進することで、農作業の効率化を図ります。</li> <li>●安定した農業経営や安全・安心な暮らしを実現するため、ため池や排水機場などの計画的な整備・改修を進め、自然災害に対する農村の防災力向上を目指します。</li> <li>●農業委員会が実施する農地パトロールなどにより、優良農地の確保を図り、効率的な農地利用を促進します。</li> </ul>									
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農業生産力を支える重要な役割を担う農業用の水利施設や排水施設が、その機能を最大限発揮できるよう、江尻排水機場などの機能強化と、老朽化が進行する施設の更新や長寿命化に取り組みます。</li> <li>●生産コストの低減や農地の有効活用、農産物生産の多様化などを図ることを目的に、農地の大区画化や汎用化、排水改良などのほ場整備を支援し、担い手農家への農地集積・集約化や、耕作放棄地の発生防止に取り組みます。</li> <li>●農業の生産性向上、農村集落の生活環境向上及び森林資源の保全と活用のため、農道・水路・林道等の維持管理の充実を図ります。</li> <li>●農地法に基づく、農地の利用状況調査、利用意向調査により、担い手への農地集積の促進を図るとともに、遊休農地の解消に向けた再生・利用を推進します。</li> </ul>									
横断的な取り組み										
KPI(重要業績評価指標)の達成状況										
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
	基幹水利施設整備事業の進捗率				95.5 %	96.0 %	100.0 %			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	\			
	17.0 %	20.8 %	87.5 %	91.7 %	%	%				
2	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
	農地整備事業(尾袋川東地区等)の進捗率				42.1 %	52.0 %	92.0 %			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	\			
	0.0 %	0.0 %	14.1 %	21.9 %	%	%				
3	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
	再生利用可能な農地面積(1号遊休農地面積)				30.0 %	22.2 ha	20.2 ha			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	\			
	25.1 ha	44.2 ha	68.0 ha	74.1 ha	ha	ha				
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果										
<p>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</p> <p>1.江尻排水機場において除塵設備製作据付工事、ポンプ設備補修、4号吸水槽耐震補強工事を実施した。また、中谷地排水機場及び沼尻排水機場整備を実施し工事の進捗が図られた。</p> <p>2.尾袋川東地区の農地整備工事が令和6年度に9.0ha実施され進捗が図られた。</p> <p>3.農業を担う人々の高齢化が進み、後継者が不足しているため、イノシシなどの被害が山間部だけでなく平坦な地域にも広がっている。その結果、農地の適切な管理が難しい状況が続いている。また、利便性の低い農地については、借り手を見つけることができないという問題も抱えている。</p> <p>【施策の成果】</p> <p>江尻排水機場において除塵設備製作据付工事、ポンプ設備補修、4号吸水槽耐震補強工事を実施した。また、中谷地排水機場及び沼尻排水機場整備を実施した。また、尾袋川東地区の農地整備工事9.0haを行った。</p> <p>毎年、農地の利用状況調査を行い現況を確認し、遊休農地となった場合は、所有者に対し農地中間管理機構の周知及び利用意向調査を行い、農地利用の集積を図った。</p>										

R5 施策評価	やや遅れている	R6施策評価 (内部)	やや遅れている	➡	R6施策評価 (推進委員会)
------------	---------	----------------	---------	---	-------------------

### 施策評価の理由

基幹水利施設の長寿命化を図るため、江尻排水機場において除塵設備製作据付工事、ポンプ設備補修、4号吸水槽耐震補強工事を実施した。また、中谷地排水機場及び汎尻排水機場整備を実施し進捗が図られた。尾袋川東地区の農地の大区画化と汎用化を図るため、ほ場整備事業において工事を実施し進捗が図られた。また、ほ場整備地区内の中心的担い手への集積率が41.6%まで進んだことにより農作業の効率化と生産コストの低減が図られた。農業の生産性向上、農村集落の生活環境向上及び保全と活用のため、維持管理を実施した。農地の利用状況調査、遊休農地の利用意向調査を行っているが、年々、1号遊休農地面積が増加しているため。

### 施策を推進する上での課題

安定した農業経営や自然災害に対する農村の防災力向上を目指すため、国営土地改良事業「角田丸森地区」の採択に向け、丸森町及びあぶくま川水系角田地区土地改良区と連携し強く要望していく必要がある。ほ場整備事業の早期完了を目指すため財源の確保に努めるとともに、農業者が安定的に所得を得られるような高収益作物への転換について宮城県と協力しながら進める必要がある。

農業用施設の維持管理については、地域でできることと市で実施しなければならないことを区分し、限られた予算の中で最大限の効果を発揮できるシステムの構築が必要である。

担い手農家の高齢化、後継者不足、獣害被害の拡大、資材価格の高騰、利便性が良くない農地の借り手が見つからない。

### 今後の取組(対応)方針

激甚化・頻発化する豪雨災害を受け、阿武隈川左岸を一つの流域として捉え、国営土地改良事業「角田丸森地区」の採択と事業の推進を図ることを目的に農林水産省等関係機関への要望活動を実施していく。

尾袋川東地区の農地整備工事が令和5年度から開始されたことから地域の中心的担い手への集積率90%を目指す。また、高田萱場地区の営農を行う法人が設立されたことから、宮城県の協力を得ながら農地の集積も含め推進していく。農業用施設の維持管理については、引き続き優先順位を精査しながら適切に実施していく。

農地の利用状況調査を行い農地の現況を把握する。

再生可能な農地については、農地中間管理機構を通じ、地域の担い手農家への農地集積・集約の促進を図る。

再生困難な遊休農地については、地目を山林、原野に変更する非農地判断を行う。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	基幹水利ストックマネジメント事業	農林振興課	1,610	事業概要 県営農業農村整備事業に係る地方公共団体の負担割合の指針(ガイドライン)に基づく受益負担金 事業実績 新小斎揚水機場(川表ゲート補修)整備
2	農地整備事業	農林振興課	71,485	事業概要 農地整備事業において区画形状の拡大、農道、暗渠排水等を整備し、農業生産性の向上を図る。 事業実績 ・尾袋川東地区ほ場整備事業 25.8ha ・高田萱場地区ほ場整備事業 16.2ha
3	農業用施設維持管理事業(経常分)	農林振興課	22,390	事業概要 農業用施設の維持管理 事業実績 農道・水路等補修 50件
4	農地集積・集約化対策事業	農業委員会事務局	2,913	事業概要 農地の有効利用を図る支援事業 事業実績 調査対象農地 4,920ha 遊休農地面積(1号遊休農地) 74.1ha 遊休農地率 1.5% (農地利用状況調査、農地利用意向調査、非農地判断)
5				事業概要 事業実績

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	3	節	1	項	4
第6次長期総合計画における体系	第3章	産業振興・就労			施策担当部署	農林振興課			
	第1節	活力ある農林業の振興							
	第4項	森林資源の有効活用			評価担当部署	農林振興課			
施策の方向性・目指す姿	<p>●森林経営管理制度に基づき、市が森林所有者から経営管理権を取得し、自ら経営管理を行い、意欲と能力のある林業経営者に集積・集約化を進め、林業経営の効率化及び森林管理の適正化の一体的な促進を図ることで、林業の持続的発展や森林の有する水源涵養、山地災害の防止など、多面的機能が発揮されるよう各種施策に取り組みます。</p>								
主な施策	<p>重③森林経営管理制度を活用し、木材として利用可能な時期を迎えている森林の適切な経営管理が行われるよう、市が森林所有者から経営管理権を取得し、自ら経営管理を行ったり、経営管理実施権を民間事業者を設定するなどの措置を講じ、意欲と能力のある林業経営者に集積・集約化を進めるとともに、災害防止や地球温暖化防止などの森林の公益的機能の維持増進に努めます。</p> <p>●森林法による伐採、造林、保育その他森林の整備に関する基本的事項に基づき、適切な森林整備や、林地の活用がなされるよう管理・指導し、持続的な森林経営が行われるよう努めます。</p>								
横断的な取り組み									
KPI(重要業績評価指標)の達成状況									
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	森林経営管理制度を活用した森林整備(間伐等)実施面積【累計】				26.2 %	90.0 ha	180.0 ha		
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/		
	0.0 ha	8.82 ha	15.20 ha	23.6 ha	ha	ha			
2							/		
3							/		
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果									
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b>                  森林経営管理制度に係る担当職員を配置し事業の推進を行った。森林整備(間伐等)実施面積において、市内の事業者の実施可能な面積は年間8ha程度であるため、事業量の増加が難しい状況である。今後計画見直しの検討が必要である。</p> <p><b>【施策の成果】</b>                  森林整備業務委託(搬出間伐) 藤尾地区 0.31ha、高倉地区 8.05haを実施                  森林現況委調査業務委託 藤田地区 35.15haを実施</p>									

R5 施策評価	やや遅れている	R6施策評価 (内部)	やや遅れている	➡	R6施策評価 (推進委員会)	
------------	---------	----------------	---------	---	-------------------	--

### 施策評価の理由

森林経営管理制度に基づき、藤尾・高倉地区において市へ経営委託された管理がなされていない森林の集積計画を作成し、適正な管理（保育間伐等）を行い、森林環境の整備を実施した。

### 施策を推進する上での課題

森林の経営管理の委託を受けるうえで森林管理意向調査から集積計画の作成、伐採等の実施までに時間と労力を要し事務作業員の確保が必要である。未相続や共有地である森林もあり同意を得ることは困難な状況であり森林を管理することは難しい。急傾斜地など間伐等の管理作業を行うことが困難な場所がある。市内の作業を実施する事業者の事業量が限られている。

### 今後の取組(対応)方針

森林所有者に対し経営管理意向調査を実施し、計画的に森林の整備を実施する。また、森林所有者へ制度の周知を図り森林の集積に努める。専門の担当職員を配置し事業の加速化を図る。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	林業振興対策事業	農林振興課	9,060	事業概要 経営管理が行われていない森林について、市町村が森林所有者の委託を受けて経営管理を行うほか、意欲と能力のある林業経営者に再委託することにより、林業経営の効率化と森林管理の適正化を促進する 事業実績 森林現況調査 35.1ha 森林整備 8.36ha
2				事業概要 事業実績
3				事業概要 事業実績
4				事業概要 事業実績
5				事業概要 事業実績

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度					令和6年度	章	3	節	2	項	1
第6次長期総合計画における体系	第3章	産業振興・就労				施策担当部署	商工観光課				
	第2節	商工業の活性化									
	第1項	商店街活性化の支援				評価担当部署	商工観光課				
施策の方向性・目指す姿	●商店街の持続的発展のため、経営支援や情報交流の場などによる支援、活性化を図ります。										
主な施策	重③商工団体が行う経営改善や地域活性化事業を支援し、事業者の経営強化を図ります。 ●商業経営者・商工会・行政が情報交換を緊密に行い、情報の共有化を図るとともに、商店街の活性化に取り組みます。 ●道の駅かくだとの連携により、商店街の賑わいづくりに取り組みます。 ●商業の担い手の育成のため、事業承継者、新規参入者の開業に向けた支援と受け入れ体制づくりを進めます。 ●空き店舗の活用を図るため、新規創業者の確保と創業時の支援に取り組みます。										
横断的な取組み	●スペースタワー・コスモハウスや郷土資料館等の施設及び商工会と連携して、商店街の共通イベントなどの実施により商店街の活性化と連携強化に努めます。										
KPI(重要業績評価指標)の達成状況											
1	指 標 名					達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
	商店街の共通イベント等の実施回数					125.0 %	4 回	5 回			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	\				
	3 回	4 回	5 回	5 回	回	回					
2	指 標 名					達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
	空き店舗の活用数【累計】					300.0 %	2 店舗	3 店舗			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	\				
	1 店舗	3 店舗	3 店舗	4 店舗	店舗	店舗					
3	指 標 名					達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果											
【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】											
1. 共通イベント等											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回牟宇姫夏まつり(牟宇姫夏まつり実行委員会)</li> <li>・美酒RUN飲食事業(商工会実行委員会)</li> <li>・第14回牟宇姫ひなまつり(牟宇姫ひなまつり実行委員会)</li> <li>・街なか店舗案内カード設置事業(商工会)</li> <li>・どんと祭裸参り事業(商工会青年部)</li> </ul>											
2. 空き店舗活用											
令和6年度 1店舗 リユース事業(角田字町)											
【施策の成果】											
郷土資料館、道の駅かくだ、商工会と協力して、街なか商店街の賑わいづくりに資するイベント等の開催に取り組んだ。街なか商店街を観光客や買い物客が回遊する機会を創出した。											
商工会、商工会会員事業者の連携により、新規の事業者等による中心市街地の空き店舗の活用を図った。											

R5 施策評価	やや遅れている	R6施策評価 (内部)	やや遅れている	➡	R6施策評価 (推進委員会)
------------	---------	----------------	---------	---	-------------------

**施策評価の理由**

数値目標には到達しているが、イベント効果が局所的・一時的なものとなっており、日常的な商店街利用客の増加には至っていないこと、また、創業支援事業に取り組むとともに、新規起業等による店舗の利活用を図る必要があるため。

**施策を推進する上での課題**

イベントを開催すれば集客効果があるが、局所的で一時的な効果になっている。商店街での買い物客や飲食利用客などの定着を図る必要がある。  
商工会、商業経営者と商店街の課題について情報共有し、活性化対策について具体的な支援策を検討する必要がある。

**今後の取組(対応)方針**

令和6年度から始動した商店街ミーティングを継続し、情報交換を緊密に行い、情報の共有化、商店街の活性化に取り組む。  
道の駅かくだとの連携により、商店街の賑わいづくりに取り組む。  
商業の担い手の育成のため、事業承継者、新規参入者の開業に向けた支援と受け入れ態勢づくりを進める。  
新規起業者の確保と創業時の支援に取り組み、空き店舗の活用を図る。

**推進事業一覧**

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	かくだ牟宇姫夏まつり事業	商工観光課	3,000	<p>事業概要 かくだ牟宇姫夏まつり実行委員会へ負担金を支出し、商業振興及び街なかの賑わいづくりを図る。</p> <p>事業実績 第3回かくだ牟宇姫夏まつり 開催日:令和6年8月14日 会場:かくだ田園ホール、市民センター、本町パーク</p>
2	商業振興事業	商工観光課	4,597	<p>事業概要 創業支援等事業計画に基づく創業支援 商工会が中心となり実施する事業や商店街の継続的な運営の支援等</p> <p>事業実績 かくだ創業スプラウト(創業支援協議会)による創業支援事業の実施(講演会、創業セミナー、交流会等) 商店街等活性化推進事業費補助金 3件(案内MAP発行事業、共同チラシ発行事業、かくだ!美酒RUN飲食事業) 地域活性化推進事業費補助金 1件(どんと祭裸参り事業) 道の駅連携推進事業費補助金 1件(街なか店舗案内カード設置事業) 他</p>
3				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
4				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
5				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度				令和6年度				章	3	節	2	項	2
第6次長期総合計画における体系	第3章	産業振興・就労						施策担当部署	商工観光課				
	第2節	商工業の活性化											
	第2項	企業立地の振興						評価担当部署	商工観光課				
施策の方向性・目指す姿	<p>●新たな産業用地の確保や廃校舎の利活用等により、企業立地や就業環境を整備し、地域密着型の企業誘致を戦略的に推進するとともに、地域経済を支える中小企業の振興を推進します。</p>												
主な施策	<p>重③新たな産業用地の確保に努め、企業誘致を促進します。                      重③企業立地奨励金による優遇措置により、誘致企業の新築や増築の誘導を図ります。                      ●誘致企業等との情報交換・交流を積極的に行い、誘致企業の動向を捉えることにより支援を図ります。                      ●企業訪問や企業立地セミナーなどを通して、企業誘致に向けた立地環境や企業立地優遇制度のPR活動に積極的に取り組みます。                      ●中小企業の経営基盤の充実による体質強化を図るため、運転・設備投資資金の融資、保証料補給などにより、安定した経営を支援します。</p>												
横断的な取り組み	<p>重③廃校舎の利活用について、関係部署と連携しながら情報発信を行い、企業誘致を促進します。</p>												
KPI(重要業績評価指標)の達成状況													
1	指標名						達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	誘致企業数【令和4年度～令和13年度累計】						200.0 %	2 社	4 社				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/						
	- 社	0 社	1 社	4 社	社	社							
2	指標名						達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	企業立地優遇制度の適用企業数【令和4年度～令和13年度累計】						150.0 %	2 社	4 社				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/						
	- 社	2 社	3 社	3 社	社	社							
3	指標名						達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/						
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果													
【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】													
<p>1. 企業誘致のために、令和3年度から新たな産業用地(高畑北産業用地)の造成事業に取り組み始め、令和5年度に造成工事が完了し、令和6年度に分譲を開始した。そして、積極的に企業誘致を行った結果、令和6年度中に企業1社に売却することができた。また、廃校舎の利活用についても、効果的に事業を進めた結果、2社が事業所を開設することとなった。このことにより、令和6年度に企業誘致数が3社増え、令和4年度から累計で誘致企業数が4社となった。</p> <p>2. 新たな企業立地優遇制度適用企業はなかったが、今後、高畑北産業用地に立地予定の企業について用地取得助成金、企業立地奨励金等の優遇制度適用が予想され、企業数増が見込まれる。</p>													
【施策の成果】													
<p>企業訪問や企業立地セミナー等を通して産業用地のPRを行い誘致活動を進めた結果、企業1社と工場建設に關する立地協定の締結に至った。令和6年度に高畑北産業用地を企業に売却したことにより、令和8年度以降、法人市民税や固定資産税等の増収が見込まれる。また、市内在住者が雇用された場合には、住民税も増収となる。</p> <p>廃校の利活用については、関係各課が連携して取り組み、企業2社が事業所を開設した。</p>													



### 施策評価の理由

令和6年度に企業誘致数が3社増え、令和4年度から累計で誘致企業数が4社となり、前倒して令和8年度(前期)目標値である2社を達成したため。

### 施策を推進する上での課題

企業誘致の促進のために、産業用地が必要となるが、過去に造成した用地も含め、現在、分譲可能な整備済みの産業用地は枯渇している状況である。そのため、早期に新たな産業用地を整備する必要がある。

### 今後の取組(対応)方針

新たな産業用地の造成に向けて、令和7年度において、適地選定調査を実施し、候補地を選定する。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	企業誘致促進事業	商工観光課	5,465	事業概要 市内外企業訪問、宮城県主催の企業立地セミナー参加、高畑北産業用地分譲等の企業誘致活動。企業立地奨励金交付による産業振興 事業実績 高畑北産業用地への企業誘致(立地協定締結1社)、廃校活用による企業誘致(事業所開設2社) 企業立地奨励金交付(市内企業3社)4,900千円
2	公債費償還元金(産業用地造成事業特別会計)	商工観光課	23,100	事業概要 産業用地造成事業に係る借入金(令和5年度借入) 事業実績 高畑北産業用地の分譲に伴う借入金の元金返済
3	公債費償還利子(産業用地造成事業特別会計)	商工観光課	111	事業概要 産業用地造成事業に係る借入金利子 事業実績 高畑北産業用地の分譲に伴う借入金返済に係る利子
4	産業用地の維持管理に要する経費(産業用地造成事業特別会計)	商工観光課	495	事業概要 高畑北産業用地の維持管理費 事業実績 高畑北産業用地除草清掃業務委託料
5				事業概要 事業実績

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	3	節	2	項	3
第6次長期総合計画における体系	第3章	産業振興・就労			施策担当部署	商工観光課			
	第2節	商工業の活性化							
	第3項	安定した雇用の確保			評価担当部署	商工観光課			
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 勤労者の福利厚生の上により、安心して働くことのできる環境づくりを推進します。</li> <li>● 地域資源を活用した起業の支援や起業意欲を喚起するため多様なサポート制度の充実を図り、起業者の増加を目指します。</li> </ul>								
主な施策	<p>重③創業を支援する推進体制を構築し、地域資源を活用した起業や起業意欲を喚起するサポート制度の充実を図ります。</p> <p>重③新規起業家、事業継承者の育成を図るための助成制度を構築します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業の本社機能移転などを誘導して、雇用機会の拡大に努めます。</li> <li>● 職業訓練の場の確保と指導体制の確立を進めます。</li> <li>● 地元企業や高校、労働関係団体との連携のもと、新規学卒者や高齢者・障害者の雇用の確保、就労機会の拡充に取り組みます。</li> </ul>								
横断的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共職業安定所等と連携して、労働環境の向上に向けた雇用情報、各種相談体制の拡充を図ります。</li> <li>● 宮城県や関係部署と連携して情報を発信し、Uターン※者の移住支援を行います。</li> <li>● 保育所や子育て支援センター、地域の子育てに関わる機関・団体との連携により、働きながら子育てができる環境整備に取り組みます。</li> <li>● 近隣自治体との共催による企業情報ガイダンス※の実施により、高校新卒者の地元企業採用機会の拡充を図ります。</li> </ul>								
KPI(重要業績評価指標)の達成状況									
1	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	本市在住高校新卒者(就職希望者)の市内事業所への就職率				69.4 %	36.0 %	37.0 %		
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/		
	35.6 %	27.9 %	27.6 %	25.0 %	%	%			
2	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	創業支援等事業計画に基づいた新規起業家数【累計】				66.7 %	8 人	10 人		
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/		
	5 人	6 人	6 人	7 人	人	人			
3	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果									
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b></p> <p>1. 本市在住高校新卒者の市内事業所就職率          角田市在住高校新卒就職者64人、うち市内事業所への就職者16人。</p> <p>2. 新規起業家数          令和6年度実績 1人(リユース品販売)</p> <p><b>【施策の成果】</b>          地元企業や高校、近隣自治体、公共職業安定所等と連携し、就職を希望する高校生への地元企業の紹介を行い、雇用の確保、就労機会の拡充に取り組んだ。          創業支援協議会(かくだ創業プラウト)において起業家講演会、交流会、セミナーを開催した。セミナーには7人が参加し4人が修了、うち1人は市内で創業している。</p>									

R5 施策評価	やや遅れている	R6施策評価 (内部)	やや遅れている	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
新規起業家数は目標に近づきつつあるが、本市在住高校新卒者の市内事業所就職率が低下してきている。					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
<p>就職希望高校生へ市内立地企業に対する理解を深め、地元で就職を希望する人を増やしていく対策が必要である。</p> <p>新規起業家の創出のための支援体制の強化(支援は長期化する場合もあり、案件に合わせたオーダーメイド的な創業支援体制づくり)と、起業家を受け入れる風土づくりが課題である。</p>					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
<p>創業を支援する推進体制を構築し、地域資源を活用した起業や起業意欲を喚起するサポート制度の充実を図る。</p> <p>職業訓練の場の確保と指導体制の確立を進める。</p> <p>地元企業や高校、労働関係団体との連携のもと、新規学卒者や高齢者・障害者の雇用の確保、就労機会の拡充に取り組む。</p>					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	雇用及び勤労者福祉事業	商工観光課	826	<b>事業概要</b> 新規学卒者の就職活動及び地元企業の求人活動の支援を行う。 仙南地域職業訓練協会等の事業費の一部を負担し、円滑な事業運営や諸活動を支援する。 <b>事業実績</b> 高校3年生に対する企業情報ガイダンスの実施 開催日:令和6年7月10日 参加生徒数:60人 参加企業:35社 仙南地域職業訓練協会による勤労者及び求職者への職業訓練の実施	
2	商業振興事業	商工観光課	4,597	<b>事業概要</b> 創業支援等事業計画に基づく創業支援 商工会が中心となり実施する事業や商店街の継続的な運営の支援等 <b>事業実績</b> かくだ創業スプラウト(創業支援協議会)による創業支援事業の実施(講演会、創業セミナー、交流会等) 商店街等活性化推進事業費補助金 3件(案内MAP発行事業、共同チラシ発行事業、かくだ!美酒RUN飲食事業) 地域活性化推進事業費補助金 1件(どんと祭裸参り事業) 道の駅連携推進事業費補助金 1件(街なか店舗案内カード設置事業) 他	
3				<b>事業概要</b>  <b>事業実績</b>	
4				<b>事業概要</b>  <b>事業実績</b>	
5				<b>事業概要</b>  <b>事業実績</b>	

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

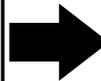
評価対象年度	令和6年度			章	3	節	3	項	1
第6次長期総合計画における体系	第3章	産業振興・就労			施策担当部署	商工観光課			
	第3節	豊かな地域観光資源の活用							
	第1項	地域観光資源のネットワーク化			評価担当部署	商工観光課			
施策の方向性・目指す姿	●角田市には、自然資源や歴史資源、特産品など地域資源が数多くあり、その観光資源を積極的に情報発信し、魅力的な観光地づくりを目指すとともに、賑わいを創出して交流人口※を増やし、地域の活性化を図ります。								
主な施策	重③観光情報誌やウェブサイト、SNS※など各種メディアを活用した積極的な情報発信により、集客の拡大を図ります。 ●観光資源の環境整備を推進し、安全・安心な農畜産物などの地域資源を活かして魅力ある観光の創出に努めます。								
横断的な取り組み	重③グリーンツーリズム※やサイクルツーリズム※、スポーツツーリズム※など体験型観光事業との連携を図ります。 ●仙南圏城市町や四方山観光開発協議会などとの広域連携による観光ルートの整備・推進を図ります。								
<b>KPI(重要業績評価指標)の達成状況</b>									
	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
1	<b>観光客の入込客数</b>				<b>115.0 %</b>	1,100,000 人	1,200,000 人		
	初期値 (R1年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/		
	1,039,374 人	1,067,227 人	1,193,533 人	1,265,533 人	人	人			
2									
3									
<b>KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果</b>									
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b>  R5年度と比較し、6%の増加となり、前期目標値を超える結果となった。道の駅や日帰り温泉施設等の入込客数が堅調なことや、R5年度に中止となったずんだまつりがR6年度は開催されたことも大きい。しかし、各イベント・観光地間で増減に差がでており、道の駅等で集客した観光客を市内各所に循環する施策が要される。</p> <p><b>【施策の成果】</b>  観光客入込客数はR4年度、R5年度、R6年度と増加しており、アフターコロナ以降も堅調に増加している状況にある。特に、道の駅の観光客入込客数は963,587人と大部分を占めており、角田市のゲートウェイとして機能している。道の駅かくだが他観光地への案内役を担っている面もあり、道の駅の地場産品等の売上高の向上に伴い、地域経済の活性化に繋がっている。</p>									

R5 施策評価	概ね順調	R6施策評価 (内部)	概ね順調	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>				
角田市のゲートウェイの一つである道の駅かくだが堅調であり、市の各種イベントと連携して企画を実施している他、スペースタワー・コスモハウスでの宇宙教室やJAXAとの連携事業の実施等もあり、観光客入込客数は増加している。総数としてはKPI目標値を達成しているものの、各イベント・観光地間では差がある状況のため、改善の余地はあるものとして、概ね順調で評価する。				
<b>施策を推進する上での課題</b>				
イベント実施による集客効果はあるものの、局所的であり、市内各所を循環しての観光とまでは十分と言えない状況にある。イベント後に、市内各所を循環させ、滞在時間の長期化を図るような施策が必要と考え、スタンプラリー等の企画等を実施しているが、より長期的な滞在となるような仕掛けづくりが必要。また、イベントに参加した客がリピーターになることも重要であり、角田市の観光資源をより知ってもらうため、情報発信にも工夫を凝らす必要がある。				
<b>今後の取組(対応)方針</b>				
角田市のゲートウェイには角田駅や道の駅かくだがあり、それらを起点にした市内各所を循環させる仕掛けづくりを行っていく。特に、道の駅の集客効果は大きく、道の駅を入口に、市内各所に誘導させる施策を講じていくことで、他観光地への誘客を進める。また、角田駅の最寄りの施設としてスペースタワー・コスモハウスがあり、R6年度にエレベーターの改修を行う等、観光資源として付加価値を高めている。また、阿武隈急行線は自転車の持ち込み可能なサイクルトレインでもあり、これを活かしサイクルツーリズムの推進を行う等して、観光資源のネットワーク化を進めていく。				
<b>推進事業一覧</b>				
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	スペースタワー・コスモハウス管理運営事業	商工観光課	41,971	<b>事業概要</b> スペースタワー・コスモハウスの管理運営を指定管理により効率的で効果的な運営を図る。 ○指定管理者:角田市地域振興公社 ○指定管理期間:令和4年4月1日から令和9年3月31日 <b>事業実績</b> ●観光客入込客数R6年度27,871人(R5年度26,508人) ●エレベーター改修工事実施 ●望遠鏡の更新
2	観光開発宣伝事業	商工観光課	1,351	<b>事業概要</b> 角田市観光パンフレットの作成、東京都目黒区民まつり等への参加による観光PR活動を推進。 <b>事業実績</b> ●めぐろ区民まつりに参加し観光物産PRを実施 ●角田市観光ガイドマップ印刷 ●PRグッズとして、おふでのパペットの作成
3	観光振興事業	商工観光課	9,783	<b>事業概要</b> 「各種観光イベント運営」について、各実行委員会事務局業務を行う。「観光情報発信業務」は道の駅かくだが持つ情報発信機能を活用して市内外へ積極的に発信する。 <b>事業実績</b> ●道の駅かくだの指定管理者に角田市観光物産PR業務委託を発注し、うめまつり等のイベントを道の駅かくだ会場にて実施し、誘客に繋がった他、東京や仙台等で観光物産PRを実施した。
4	道の駅かくだ管理運営事業	商工観光課	17,767	<b>事業概要</b> 道の駅かくだの管理運営を指定管理により効率的で効果的な運営を図る。 ○指定管理者:株式会社まちづくり角田 ○指定管理期間:令和5年4月1日～令和10年3月31日 <b>事業実績</b> ●観光客入込客数R6年度963,587人(R5年度934,590人) ●売上高R6年度277,055,006円(R5年度253,778,831円)
5				<b>事業概要</b>  <b>事業実績</b>

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度	令和6年度	章	3	節	3	項	2	
第6次長期総合計画における体系	第3章	産業振興・就労				施策担当部署	商工観光課	
	第3節	豊かな地域観光資源の活用						
	第2項	道の駅かくだの活用				評価担当部署	商工観光課	
施策の方向性・目指す姿	<p>●道の駅が整備されたことにより、市外から多くの人を訪れるようになったため、Kスポとの連携や観光イベント等の実施・支援を行い、交流拠点として地域経済の活性化を目指します。</p>							
主な施策	<p>重③高収益作物の出荷量の増加や消費者に支持される商品づくりを実施できるよう指定管理者を支援し、市外から人を呼び込むことで地域経済の活性化を図ります。 重③PR動画やホームページ等の情報ツールを活用し、情報を発信することで、農業などの体験を組み入れたグリーンツーリズムによる体験型観光を推進します。</p>							
横断的な取り組み	<p>●隣接するKスポやスポーツイベントと連携しながら、賑わいの交流ゾーンとしての機能拡充を図ります。 ●各団体と連携したイベントにより、市内各所を循環させ、滞在時間の長期化を図り、地域経済の好循環に寄与します。</p>							
KPI(重要業績評価指標)の達成状況								
指標名		達成率			R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
1	道の駅かくだ売上高				113.5 %	244,000,000 円	250,000,000 円	
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/	
	187,275,503 円	232,587,686 円	253,778,831 円	277,055,006 円	円	円		
2							/	
3							/	
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果								
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b> 道の駅かくだの観光客入込客数が堅調に増加していることもあり、R5年度と比較して約23,277千円の増加と売上高は伸びている。すでに後期目標値に達する結果となったが、物価高や米価の高騰等の影響も考えられる。</p> <p><b>【施策の成果】</b> 前年度の事業内容を改善しながら事業を実施。人と人が産品を通じて交流する観光拠点として、地域資源を活用した菜の花めぐり、うめまつり、初売り等の定番イベントを道の駅かくだ会場にて開催することに加え、身近で趣味性の高いイベントとして、ドックラン等の小規模イベントを積極的に開催することで、集客と賑わいの演出に努めた。また、道の駅が、ファンミーティングイベントの開催場所となり新たな賑わいが創出されるものとなった。</p>								

R5 施策評価	概ね順調	R6施策評価 (内部)	概ね順調	R6施策評価 (推進委員会)
------------	------	----------------	------	-------------------



### 施策評価の理由

観光客入込客数の増加に伴い売上高も増加しており、後期目標値に達している状況である。売上高は増加しているが、電気料や仕入に係る物価高の影響もあり、売上の増加に比べ、利益が大きいくてるとは言い難い状況にある。よって、概ね順調と評価する。

### 施策を推進する上での課題

売上高を維持・向上させていく必要がある。そのためには、出荷者が出品する産品を販売機会を逸することなく的確に販売する売場を作ることや、多様な人々が集い賑わいを創出する道の駅として、車いすの方も利用しやすい売り場にする必要もある。道の駅かくだで取扱う商品や体験については、角田市ならではの付加価値を高め、角田市に再訪する方(リピーター)を獲得し続けていく必要がある。

### 今後の取組(対応)方針

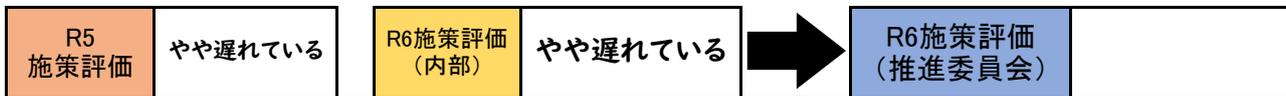
R7年度において、直売所面積の拡大を行い施設機能の強化を図る。これにより、販売機会を確保するとともに、混雑時においても人と人が行き交いやすい直売所内の通路とする。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	道の駅かくだ管理運営事業	商工観光課	17,767	<b>事業概要</b> 道の駅かくだの管理運営を指定管理により効率的で効果的な運営を図る。 ○指定管理者:株式会社まづくり角田 ○指定管理期間:令和5年4月1日～令和10年3月31日 <b>事業実績</b> ●観光客入込客数R6年度963,587人(R5年度934,590人) ●売上高R6年度277,055,006円(R5年度253,778,831円)
2	観光振興事業	商工観光課	9,783	<b>事業概要</b> 「各種観光イベント運営」について、各実行委員会事務局業務を行う。「観光情報発信業務」は道の駅かくだが持つ情報発信機能を活用して市内外へ積極的に発信する。 <b>事業実績</b> ●道の駅かくだの指定管理者に角田市観光物産PR業務委託を発注し、うめまつり等のイベントを道の駅かくだ会場にて実施し、誘客に繋げた他、東京や仙台等で観光物産PRを実施した。
3				<b>事業概要</b>  <b>事業実績</b>
4				<b>事業概要</b>  <b>事業実績</b>
5				<b>事業概要</b>  <b>事業実績</b>

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度				令和6年度				章	4	節	1	項	1
第6次長期総合計画における体系	第4章	まちづくり						施策担当部署	まちづくり推進課 企画デジタル課				
	第1節	市民力を生かしたまちづくり											
	第1項	住民自治による地域づくり						評価担当部署	まちづくり推進課				
施策の方向性・目指す姿	<p>●地域コミュニティの希薄化や人口減少等による地域課題を解決していくために、市民が主体的に考え取り組む行動力を醸成し、市民と行政の協働のまちづくりのもとで、市民団体や民間企業等の参画を一層促進し、持続可能な地域づくりを推進します。</p>												
主な施策	<p>重①本市に数多く存在する地域資源を活かすため、課題に応じたワークショップを開催することで、女性や若者が気軽にまちづくりに参加できる環境づくりを推進し、地域資源を活かすために市民の英知を結集させ、本市の魅力を再発見するとともに、参加する市民をはじめとする多様な主体の連携を創出し、市民力の醸成及び発揮できる環境づくりを行います。</p> <p>重①多様な主体による市民活動のステップアップのための支援や活動しやすい環境づくりを行い、活躍の場を広げ、市民活動を促進するため、(仮)市民活動支援センターの設立を進めます。</p> <p>重①NPO法人や企業等の多様な主体と様々な地域活動を結び付ける仕組みづくりを行うことで、市民だけでなく、多様な主体による地域活動への参画を促します。</p> <p>重②自治センターを地域づくりの拠点として位置づけ、支え合いによる持続可能な地域づくりを実現するために、地域を見つめ直し、地域のあり方等についての話し合いを進めます。</p> <p>●市民と行政の協働のまちづくりを推進するため、地域づくりに関する市民と行政の話し合いを進めます。</p>												
横断的な取り組み	<p>重①市民からの提案による多様な主体が連携して実施するまちづくり事業の募集を行い、市民から提案のあった事業案をより完成度の高いものに仕上げることで、より実効性のある事業に育て、当該事業に対し、市が費用の一部を補助し、事業の実現を推進します。</p> <p>重②制度や行政分野を超えた横断的な連携を図り、市民一人ひとりのより良い暮らしと生きがいのある地域づくりを実現するため、地域生活における様々な課題・困りごとを把握するための仕組みづくりに取り組みます。</p>												
<b>KPI(重要業績評価指標)の達成状況</b>													
1	指標名					達成率		R8年度 (前期)目標値		R13年度 (後期)目標値			
	(仮)市民活動支援センターでの支援件数					0.0 %		100 件		150 件			
	初期値 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度							
	0 件	- 件	- 件	- 件	件	件							
2													
3													
<b>KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果</b>													
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b> 令和6年度末時点で市民活動支援センターは未設置のため、実績はない。</p> <p><b>【施策の成果】</b> 市民提案型まちづくり事業に2件の応募があり、そのうち角田高校家庭部による「料理を通じた地域の農産物の魅力発信・地域経済活性化事業」の1件が採択、実施された。道の駅かくだで地元食材を使った弁当を販売、地域活性化、市民力の醸成が図られた。R4年度の事業開始から3年で2件の提案事業に補助を行っている。</p> <p>気仙沼市、岩沼市の市民活動支援センターを視察し、市民活動支援センターの現状と課題及び今後の連携等について意見交換を行った。また、令和7年度開設に向けて、宮城県内に設立されている市民活動支援センターへ実態調査を行い、設立経緯や運営状況等について先進自治体の事例から情報収集を行うとともに、市内で活動しているNPO法人及び任意団体へも市民活動に関する実態調査を行い、本市の実情の把握に努めた。</p>													



### 施策評価の理由

R6年度は市民提案型まちづくり事業の事業提案が2件あったものの、採択は角田高校家庭部の1件のみとなった。R4年度から事業を実施しているが、R5年度とR6年度において角田高校家庭部の提案事業しか採択、実施されていない。

令和6年度より職員を増員し、各団体からの相談業務を受け付けているとともに、令和7年度の市民活動支援センターの開設に向け準備を進めたものの、評価指標であるセンターによる支援件数は実績がないため。

また、各地区における地区計画の見直しについては、2地区が先行して策定完了したものの、他の7地区においては未策定であり、地区ごとの進捗にも差があるため。

### 施策を推進する上での課題

市民参加のまちづくりに興味を持っている市民とコンタクトが取れていないと感じる。提案者を増やす工夫、市民提案型まちづくり事業の十分な周知と、内容の検討が必要がある。

行政区等の地縁組織や地区振興協議会の支援については自治センターが、サークル活動等の生涯学習団体の支援については生涯学習課が担っていることから、市民活動支援センターでは市民活動団体の設立支援や運営・活動の支援、多様な主体と様々な地域活動を結び付ける仕組みづくり等を推進していく必要がある。

地区計画については、策定後の実行段階における実施体制の構築及び地区ごとの取組内容の共有等が課題となる。

### 今後の取組(対応)方針

市民提案型まちづくり事業は、同じ提案事業で3ヵ年交付可能としていることから、R7年度も事業を継続するが、その後はスクラップも視野に入れ、市民が使いやすい事業への変更を検討していく。課題解決型ワークショップは、広報広聴活動の推進として行っている「まちづくりカフェ」や「若者会議」との整理・検討を行っていく。

令和7年度に市民活動支援センターを開設し、「市民力を発揮できる環境づくりの推進」を基本理念に掲げ、「人とつなぐ、情報とつなぐ、地域とつなぐ」をキーワードに、多様な主体による市民活動のステップアップのための支援や活動しやすい環境づくりを行い、市民活動を促進する。

各地区振興協議会に対しては、地区計画事業実施活動支援のための地域づくり総合交付金を交付するとともに、地域支援班の派遣による支援を継続する。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	協働のまちづくり推進事業	まちづくり推進課	25,277	<p>事業概要 市民と行政の協働のまちづくりを推進するため、地区振興協議会等へ地域づくり総合交付金を交付するとともに、まちづくり推進課職員及び地域支援班の派遣等により地区計画の策定を支援する。</p> <p>事業実績 各地区振興協議会へ課職員及び地域支援班を派遣することで地区計画の策定を支援した。また、令和7年度の市民活動支援センター開設に向け、実態調査を踏まえ基本方針を策定した。</p>
2	自治センター一般管理費	まちづくり推進課	141,885	<p>事業概要 協働による地域づくりの推進、コミュニティ活動の支援及び社会教育の振興のため、各地区に自治センターを設置する。</p> <p>事業実績 自治センターを適切に管理し、地域住民や団体活動の支援を行うとともに、地区振興協議会の事務局として地区計画の策定を支援した。</p>
3				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
4				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
5				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	4	節	1	項	2
第6次長期総合計画における体系	第4章	まちづくり			施策担当部署	企画デジタル課			
	第1節	市民力を生かしたまちづくり							
	第2項	男女共同参画の推進			評価担当部署	企画デジタル課			
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●角田市男女共同参画計画に基づき、政策・方針決定過程への女性の参画を促進し、男女共同参画の視点に立った社会組織・制度づくりに努めるとともに、男女共同参画に関する認知度を向上させるため、男女共同参画に関する情報の収集・提供を行うなど、普及啓発活動の充実を図ります。</li> <li>●旧態依然とした男女の固定的な役割分担意識にとらわれず、多様な生き方を選択でき、個性や能力を活かして市民力を発揮できるまちづくりを推進します。</li> </ul>								
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会の構成員の半数を占める女性の意思及び意見を公正に反映させるため、政策・方針決定過程への女性の参画を促進します。</li> <li>●あらゆる世代の人々が、多様性を認め合い、身近で切実な問題を切り口として、男女共同参画の重要性について認識を深めることができるよう、各種団体等と連携し、幅広い普及啓発活動を実施します。</li> <li>●家庭生活や学校生活を通して、家事や普段の生活においても意識の醸成を図り、男女共同参画の実現が若い世代から浸透できるよう普及啓発活動を推進します。</li> </ul>								
横断的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>重①様々なテーマの講座やワークショップ※を継続的に実施することで、家庭や企業等における男女共同参画意識の醸成を図り、まちづくりや社会における様々な場面での女性の活躍できる環境づくりを推進します。</li> <li>●多様性を認め合い、広く人材を活用する「ダイバーシティ」の視点について、庁内だけでなく、企業や団体とも共有できるよう普及啓発活動を推進します。</li> </ul>								
KPI(重要業績評価指標)の達成状況									
1	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	審議会などへの女性委員の登用率				65.5 %	33.0 %	45.0 %		
	初期値 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/		
	22.4 %	16.8 %	21.6 %	21.6 %	%	%			
2	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	角田市役所の管理職に占める女性の割合				101.0 %	30.0 %	35.0 %		
	初期値 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/		
	24.1 %	25.0 %	24.2 %	30.3 %	%	%			
3	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	初期値 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/		
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果									
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b></p> <p>1. 審議会などへの女性委員登用の実績値は改選が少なかったため昨年同様の割合となった。</p> <p>2. 角田市役所の管理職に占める女性の割合については、女性管理職が2名増となったことで、令和8年度目標に達した。</p> <p><b>【施策の成果】</b></p> <p>県共催事業として、7/25～8/8まで市民センター談話室で男女共同参画パネルキャラバンを行い、男女共同参画に対する参画意欲を醸成した。同じく県共催事業として6/30、7/28に男性にとっての男女共同参画地域推進プログラム「おうちで楽しむ手打ちそば」を生涯学習課主催で行い、男性の参加が約6割の12名と多く、家庭における男女共同を促進できた。</p>									

R5 施策評価	やや遅れている	R6施策評価 (内部)	やや遅れている	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>				
<p>審議会などへの女性委員の参画についてはハードルが高く、男性委員が多い審議会は、後任も男性になる傾向が依然として強い。また、現在93人いる行政区長は全て男性であるなど女性の参画が進んでいない分野も少なくない。</p>				
<b>施策を推進する上での課題</b>				
<p>審議会委員などへの女性の登用については、女性側の負担感が大きく、引き受けてもらえない現状がある。会議の開催方法などにも工夫が必要と感じる。男女共同参画や女性活躍に対する意識ができるような工夫した周知啓発が必要である。角田市役所の女性管理職の増加に向けては、女性が活躍するための職場環境の整備等が必要である。</p>				
<b>今後の取組(対応)方針</b>				
<p>講座や広報等による地道な普及啓発活動を継続して行い男女共同参画意識の醸成を図っていく。審議会などへの女性委員の登用については、女性委員が0人の審議会等もあるので継続した働きかけを行う。併せて課題解決型ワークショップなどのまちづくり事業への女性の参画を通し、女性の活躍できる環境づくりを推進する。</p>				
<b>推進事業一覧</b>				
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	男女共同参画社会推進事業	企画デジタル課	38	<p><b>事業概要</b> 社会を構成する男性と女性が対等なパートナーとして、地域社会、職場、家庭等を支えあう男女共同参画社会の形成に向けた諸事業を展開する。</p> <p><b>事業実績</b> 宮城県との共催によるパネルキャラバンや男性にとつての男女共同参画地域推進プログラム「おうちで楽しむ手打ちそば」を実施し、男女共同参画意識の醸成を図った。</p>
2				<p><b>事業概要</b></p> <p><b>事業実績</b></p>
3				<p><b>事業概要</b></p> <p><b>事業実績</b></p>
4				<p><b>事業概要</b></p> <p><b>事業実績</b></p>
5				<p><b>事業概要</b></p> <p><b>事業実績</b></p>

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度	令和6年度				章	4	節	2	項	1	
第6次長期総合計画における体系	第4章	まちづくり				施策担当部署	まちづくり推進課				
	第2節	関係人口拡大の推進									
	第1項	継続的なつながりの確保				評価担当部署	まちづくり推進課				
施策の方向性・目指す姿	<p>●「地域を訪れる人」を意味する交流人口の増加による地域経済への波及効果を大切にしつつ、「地域や地域の人々と多様に関わる人」を意味する関係人口の増加にも注力することで、角田市と関わる人を増やし、多様な主体による地域活動への参画を推進します。</p>										
主な施策	<p>重①角田市の持つ地域特性を活かし、その魅力を市外に発信することで、角田市を知り、角田市と関わる人を増やします。角田市そのものや、角田市での活動に興味を持つ人を増やす仕組みづくりを行うことで、関係人口の創出を図ります。</p> <p>●RESASを活用して地域課題の調査・分析を行うとともに、その結果をもとに地域と継続的なつながりを持つ機会やきっかけを提供する仕組みづくりに取り組みます。</p> <p>●多文化共生意識の向上を図るとともに、多様な文化の理解を進めるため、国際交流・国内交流の充実を図ります。</p>										
横断的な取り組み	<p>重①地域資源を活用した様々な体験・交流を提供し、関係人口への発展に寄与するため、各種団体との連携を強化します。</p> <p>●グリーンフィールド市との姉妹都市交流事業により、市内の中・高校生に国際的な視野とコミュニケーション能力を高める機会を提供します。</p> <p>●国内交流では、小学生の農村体験などを通じて、交流の機会を提供します。</p>										
KPI(重要業績評価指標)の達成状況											
	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値		R13年度 (後期)目標値			
1	交流人口				106.9 %	1,700,000 人		1,800,000 人			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		/			
	1,072,935 人	1,524,699 人	1,680,125 人	1,816,499 人	人	人					
2								/			
3								/			
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果											
<p>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</p> <p>積極的なイベントなどにより、引き続き道の駅は交流人口全体の半分を占める集客となっている。昨年度からの伸びはKスポ関連施設の利用数の増加が大きく寄与しており、令和6年度は長期総合計画後期計画目標の180万人を超えるものとなった。</p> <p>【施策の成果】</p> <p>地域おこし協力隊や移住・定住コーディネーターを配置するとともに、関係人口創出事業として、移住定住コーディネーターと連携しながら、市内での集客イベントや、移住フェアなどで市外へ角田市の魅力を発信することにより、関係人口の増加につながっている。</p>											

R5 施策評価	概ね順調	R6施策評価 (内部)	概ね順調	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
<p>地域おこし協力隊を配置し地域資源を活用した地域おこしを進めるとともに、関係人口創出事業として、「梨園の再生challenge」を実施し、体験型イベントによって市の資源を活用した魅力を発信することができ、角田市に継続して関わる人の増加に寄与している。</p> <p>また、グリーンフィールド市や栗山町等との姉妹都市交流事業についてもコロナ禍前までの実施に戻りつつあり、市外の人が角田市を訪れる機会が増加している。</p>					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
<p>インターネットやSNS等の普及により情報の取得が容易になっている環境を踏まえ、角田市に興味がある人が、角田市の魅力を発見できるよう情報発信ツールや情報発信方法などを検討する必要がある。</p>					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
<p>関係人口創出事業としては、移住定住コーディネーターと連携を強化し、引き続き「梨園の再生challenge」の継続実施により、角田市の地域資源を活かした関係人口の創出、拡大を図る。また、各種SNSを活用した角田市情報の発信に向け、検討する。</p> <p>また、姉妹都市等交流事業については、継続して相互交流を実施する。</p>					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	地域協力活動推進事業	まちづくり推進課	4,154	<p><b>事業概要</b> 人口減少や少子高齢化への課題に対応するため、都市圏から本市に異動し、農業や地域資源を活用した地域おこしをしながら移住定住へ向けた支援を行う</p> <p><b>事業実績</b> 前年度から引き続き1名の隊員が角田市の地域資源を活用した地域おこしに取り組み、地域活性化に寄与した。</p>	
2	移住定住推進事業	まちづくり推進課	12,554	<p><b>事業概要</b> 人口減少の抑制を目的として、移住推進のためのPR事業などを行うとともに、各種体験型事業の充実により関係人口の創出を図る</p> <p><b>事業実績</b> まちづくり角田に設置した移住定住コーディネーターと連携し、角田市の関係人口創出に向けた事業として、梨園再生チャレンジで摘果体験等を4回行うなど市内外の交流を図った。</p>	
3	グリーンフィールド市交流事業	まちづくり推進課	6,304	<p><b>事業概要</b> 姉妹都市グリーンフィールド市との人的交流の一環として、中・高校生等の受入・派遣事業による相互交流を行う。</p> <p><b>事業実績</b> 令和6年度はグリーンフィールド市へ派遣事業として、中・高校生7名の派遣を行った。</p>	
4				<p><b>事業概要</b></p> <p><b>事業実績</b></p>	
5				<p><b>事業概要</b></p> <p><b>事業実績</b></p>	

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度	令和6年度				章	5	節	1	項	1	
第6次長期総合計画における体系	第5章	教育・文化・スポーツ				施策担当部署	教育総務課				
	第1節	未来を生き抜くための教育環境づくり									
	第1項	学力・心・体の育成				評価担当部署	教育総務課				
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 確かな学力の定着を図るため、教育環境の整備を進めます。</li> <li>● 豊かな心と広い視野、そして健やかな体を持った児童生徒を育成するとともに、児童生徒が将来の社会人としてより良い生き方を主体的に求めていく教育活動を展開します。</li> <li>● いじめなどを防止し、安心して学校生活を送ることができるよう、一人ひとりの児童生徒に配慮した教育環境づくりに取り組みます。</li> <li>● 生きる力を育むために、家庭・地域との連携を図り、地域に開かれた活力や特色のある学校づくりに努めます。</li> </ul>										
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童生徒の学習意欲の向上、個性や才能を伸ばす機会を増やす取組みを行うとともに、家庭学習の習慣を作ることで、基礎学力の定着を図ります。</li> <li>● 豊かな心と広い視野、健やかな体を持った児童生徒を育成するため、宇宙教育の推進やICTを活用した学習環境、保健体育や部活動の充実により、未来社会に対応できる創造性豊かでたくましい児童生徒の育成を図ります。</li> <li>● いじめや不登校への対応のため、学校・家庭・地域及び関係機関との連携強化により、未然防止、早期発見、早期対応を図ります。</li> <li>● 障害のある児童生徒が安心して共に学べる環境づくりを推進します。</li> <li>● 地域と連携しながら特色ある体験活動や交流活動等を実施するとともに、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)制度を導入し、地域の声を取り入れた開かれた学校経営を目指します。</li> </ul>										
横断的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 重①将来を担う世代が、オープン・ファクトリーによる地元企業やJAXAの技術や取組みを学ぶ環境づくりを行うなど、地域の持つ魅力を知り、郷土への愛着や誇りを持つことができる仕組みづくりを行います。</li> <li>● 通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関と連携し、児童生徒の登下校時の安全を確保します。</li> </ul>										
<b>KPI(重要業績評価指標)の達成状況</b>											
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	小中学校図書館の一人当たり貸出冊数				122.2 %	27 冊	30 冊				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/				
	24.8 冊	26.5 冊	30.1 冊	33.0 冊	冊	冊					
2	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	コミュニティ・スクールの設置校数【累計】				700.0 %	1 校	2 校				
	初期値 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/				
	0 校	0 校	2 校	7 校	校	校					
3	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童の割合				142.2 %	55.0 %	60.0 %				
	初期値 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/				
	49.5 %	44.7 %	74.3 %	78.2 %	%	%					
<b>KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果</b>											
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b></p> <p>1. 小中学校図書館の一人当たり貸出冊数については、R6年度小中学校図書館の一人当たり貸出冊数実績値は33.0冊となり、R8年度目標値を大きく超えた。</p> <p>2. R6年度中に市内全小中学校において、コミュニティ・スクールを設置することができた。</p> <p>3. 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童の割合については、アフターコロナにより、児童一人ひとりがこれまで特に意識してこなかった日常の大切さを再認識した結果、大幅な増加になったと考えられる。</p> <p><b>【施策の成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校図書館を活用してもらうため、図書の実践や読書時間を設ける等を行った。</li> <li>・コミュニティ・スクールについては、各学校において校長の作成した方針等を承認したほか、地域と学校が目標やビジョン等を共有することができた。</li> </ul>											



### 施策評価の理由

各学校における総合的学習の時間や社会科等の授業において、ふるさとに関する知識や認識を深める学習を行っており、地域の方々の協力を得ながら、自然体験、ボランティア活動、生産活動などの体験的な学習を通して郷土への愛着や誇りを育み、課題を自ら見つけ協働して探究する力を養うとともに、生きる力を身に付けながら自ら問題解決に向けて主体的に行動できる力を育む取組みを行った。

いじめについては、未然防止・早期発見・早期対応に向けた取組みを各学校で行うとともに、各学校において児童生徒主体のいじめ防止活動を行っている。令和6年度においては、いじめの重大事案になる案件はなかった。

不登校児童生徒の割合は、令和3年度から大きく増加してきたが、令和6年度においては前年度と比較し微減した。各学校において、定期的なアンケートを行っており、長期欠席につながる前の段階で不登校の兆しを把握するよう努めている。また、不登校児童生徒の居場所づくりや専門家による相談等を行っている。

### 施策を推進する上での課題

・全国学力・学習状況調査において、小・中学校共に全国平均との乖離が小さくなってきているものの、全国平均を下回っている。

・不登校児童生徒の出現率について、全国・宮城県・角田市ともに増加しているが、令和5年度においては、角田市が全国・宮城県を大きく上回った。

### 今後の取組(対応)方針

・学力向上については、個々の学力の的確な把握を行うとともに、年3回の学び直しの実施、小中連携の強化、家庭学習・自主学習の推進、メディアコントロール力の育成、教員の指導力向上などに取り組んでいく。また、今年度からAIDリルを導入し、「個別最適化学び」や「自由進度学習」を促進し、児童生徒の学力の向上を図る。

・児童生徒生活指導員を2人から3人に増員し、教育総務課内の教育相談(不登校相談)窓口の周知を図る。また、角田中で行っていた定期的なケース会議を角田小・北角田中でも行える体制を整備し、関係機関との情報共有・各々の関わりの確認を行う。さらに、各学校の生徒指導担当教員で構成する角田市生徒指導担当者会を不登校に特化した形で実施し、各学校の不登校対策の取組等の情報交換等を行う。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	児童生徒生活指導事業	教育総務課	6,161	<p><b>事業概要</b> 児童生徒生活指導員による児童生徒・保護者・教職員等への助言指導等</p> <p><b>事業実績</b> 生徒指導主事等と連携を図り、児童生徒の生活に関する指導や助言を行い、健全な育成に資する役割を担った。</p>
2	学力向上推進事業	教育総務課	13,115	<p><b>事業概要</b> 特色ある学校づくりに積極的に取り組むことにより、学校を活性化させ、学力、学習意欲の向上を図る。</p> <p><b>事業実績</b> 特色ある学校づくりを推進し、児童生徒の学習意欲の向上を図った。 宮教大からの講師派遣等により角田市の教員の指導力向上を図った。</p>
3	スクールソーシャルワーカー活用事業	教育総務課	2,310	<p><b>事業概要</b> スクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関との連携を通じて、問題を抱える児童生徒及び保護者への支援を行う。</p> <p><b>事業実績</b> 外部の有識者を活用することで、ケース会議の充実とともに関係機関等の連携を図り、問題の早期対応につながった。 各学校訪問を通じて、保護者へのケアや担任や養護教諭等への助言ができ、各学校への支援が強化された。</p>
4	いじめ防止対策推進事業	教育総務課	40	<p><b>事業概要</b> 角田市いじめ防止基本方針に基づきいじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に進める。</p> <p><b>事業実績</b> いじめ防止対策調査委員会を設置し、いじめ防止に関する対策及びいじめに係る調査審議等を行った。 いじめ防止の取組みとして、いじめ防止小・中学生サミットを開催した。</p>
5	子どもの心のケアハウス運営事業	教育総務課	18,367	<p><b>事業概要</b> 不登校等の児童生徒の学校復帰や社会的自立を促すため「子どもの心のケアハウス」事業を実施する。</p> <p><b>事業実績</b> 通所者の保護者と教育相談を重ね、信頼関係の構築・共通理解のもと、心のケアや学習支援活動等を実施し、不登校児童生徒の自立を促し、学校生活への自発的な復帰や生活状況の改善に繋げた。</p>

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度				令和6年度				章	5	節	1	項	2
第6次長期総合計画における体系	第5章	教育・文化・スポーツ						施策担当部署	教育総務課 給食センター				
	第1節	未来を生き抜くための教育環境づくり											
	第2項	時代の要請に応える教育環境の整備						評価担当部署	教育総務課				
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童生徒の安全確保及びICTなどを活用した学びに対応するため、学校施設の補修・改修などを進めるとともに、教育設備の充実を図ります。</li> <li>●安全・安心な学校給食の提供により、食を通じた児童生徒の心身の健全育成を図るため、学校給食センターの適切な運用に努めます。</li> </ul>												
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●老朽化が進む学校施設の補修・改修を計画的に進めるとともに、専門家による施設点検を行い、児童生徒が健康で快適な学校生活を送れるような、安全・安心な環境づくりを進めます。</li> <li>●一人一台端末環境に対応したゆとりある机や教室など、時代の要請に応えた設備・施設の整備・改修を進めます。</li> <li>●学校給食センターの施設補修や設備の入替等を計画的に進めるとともに、施設の有効活用を図り、安全・安心な学校給食を提供します。</li> </ul>												
横断的な取り組み													
KPI(重要業績評価指標)の達成状況													
1	指 標 名						達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	ICT機器を意見交換や調べるために週1回以上使用した中学生の割合						130.0 %	70.0 %	95.0 %				
	初期値 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	\						
	27.9 %	72.1 %	80.2 %	91.0 %	%	%							
2	指 標 名						達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	小中学校の洋便器率						104.4 %	50.0 %	60.0 %				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	\						
	41.9 %	42.9 %	46.8 %	52.2 %	%	%							
3	指 標 名						達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
									\				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	\						
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果													
<p>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</p> <p>1. 令和3年度のGIGAスクール構想開始に伴い導入されたタブレット端末については、毎年継続して教職員向けの研修会を開催している。また、各学校の取り組み事例の発表や情報交換の機会も設けており、このような取り組みの影響から利活用が進み、令和8年度目標値を上回る結果となった。</p> <p>2. 令和6年度は、角田中学校のトイレの改修を集中的に行い、令和8年度目標値を上回る結果となった。</p> <p>【施策の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度のGIGAスクール構想開始に伴い導入されたタブレット端末については、毎年継続して教職員向けの研修会を開催している。また、各学校の取り組み事例の発表や情報交換の機会も設け、利活用の推進に取り組んだ。</li> <li>・令和6年度は、角田中学校に12基、北郷小学校に2基を和式から洋式へ改修を行った。</li> </ul>													



### 施策評価の理由

- ・タブレット端末の持ち帰り学習を本格化させるため、各学校にモバイルルーターを配備した。また、児童生徒数の減少からタブレット端末の余剰分が発生しているが、学校に需要がある場合には必要数を配備して利活用を進めている。
- ・角田中学校のトイレの改修を集中的に行った。
- ・学校給食センターの施設・設備の維持管理を適切に行い、安心・安全な学校給食を提供した。

### 施策を推進する上での課題

- ・学校給食センターは平成28年8月の供用開始から8年経過していることもあり、突発的な設備の不具合も発生することから、修繕等適切に対応していく必要がある。
- ・学校施設の維持管理については、中長期的に行う必要がある。令和7年度に「学校施設個別施設計画(長寿命化計画)」の改訂を行うが、学校再編・統合の議論、屋内運動場への空調設置等、公共施設のLED化等を踏まえ、内容を時点修正する。当該計画に基づき、計画的に修繕等を行っていく必要があるが、多額のコストがかかることから、有利な財源の活用・財源の確保が必要である。
- ・学校の再編・統合については、新生中学校の新設と並行し、角田小学校・横倉小学校、桜小学校・北郷小学校の再編・統合について協議を進めなければならないが、児童・生徒・保護者だけでなく、地域住民の理解を得ながらも、効率的に進める必要がある。

### 今後の取組(対応)方針

- ・学校給食センターの施設設備については、引き続き計画的に補修等を進めるほか、調理業務等委託業者からの報告等による不具合箇所の早期発見とその対応に努め、安心・安全な学校給食を提供する。
- ・令和7年度(令和6年度より繰越)に学校施設環境改善交付金等を活用し、角田小学校南校舎等のトイレの改修を行うとともに、全小・中学校に防犯カメラの設置を行う。
- ・角田中学校・北角田中学校の再編・統合については、令和7年度に庁内検討プロジェクトチーム及び検討委員会を設置し、適地選定・整備基本計画の策定を行っていく。供用開始の時期についても併せて検討していく。
- ・角田小学校・横倉小学校、桜小学校・北郷小学校の再編・統合については、令和9年度に検討委員会を設置し検討する予定である。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	学校給食センター運営事業	学校給食センター	263,110	<b>事業概要</b> 児童・生徒の健康増進、体位向上及び食育推進を目的に、衛生管理及び食材の安全確認に重点を置きながら、地場産品を取り入れた献立で、安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供する。 <b>事業実績</b> 学校給食センターの施設・設備の維持管理を適切に行い、安心・安全な学校給食を提供した。
2	61-28-01 学校適正規模検討事業	教育総務課	1,205	<b>事業概要</b> 角田市学校適正規模検討委員会を立ち上げ、角田市学校の適正規模等に関する基本構想の第3次行動計画構想について調査・検討を行う。 <b>事業実績</b> 当該検討委員会を9回行い、教育委員会へ報告書を提出した。
3	62-01-01 小学校施設維持管理事業	教育総務課	63,755	<b>事業概要</b> 小学校施設の維持管理 <b>事業実績</b> 小学校の維持管理を行った。 大規模な修繕…桜小・北郷小のトイレ修繕 横倉小学校東校舎雨水配管修繕等 工事…角田小学校プール塗装工事
4	62-05-01 中学校施設維持管理事業	教育総務課	43,666	<b>事業概要</b> 中学校施設の維持管理 <b>事業実績</b> 中学校施設の維持管理を行った。 大規模な修繕…角田中学校興武館屋根修繕 角田中学校トイレ修繕 北角田中学校浄化槽(プロア)修繕
5				<b>事業概要</b>  <b>事業実績</b>

# 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度					令和6年度	章	5	節	2	項	1
第6次長期総合計画における体系	第5章	教育・文化・スポーツ				施策担当部署	生涯学習課 図書館				
	第2節	人生100年時代を見据えた生涯学習の推進									
	第1項	生涯学習の充実				評価担当部署	生涯学習課 図書館				
施策の方向性・目指す姿	<p>●人生100年時代を見据え、全ての人が生涯を通じて自らの人生を設計し活躍することができるよう、必要な知識・技能の習得や知的・人的ネットワークの構築、健康の保持・増進に資する生涯学習を推進します。</p> <p>●市民の生涯学習の中核となる公共図書館の役割を再認識し、図書館活動を通じて市民の生活・文化・教養の向上と豊かな地域づくりに努めます。</p>										
主な施策	<p>重①「誰しもが先生であり生徒」というコンセプトに基づき、角田市内の全域をキャンパスとして多様な対話やつながりへのきっかけづくりを行う「かく大学」を通じて、市民の自由な学びの場を創出し、地域課題の解決や地域の活性化に向けた市民による主体的な活動を支援します。</p> <p>重①教養、防災、環境、子育て等の講座やワークショップ等を通じ、知識や教養を身につけ、高齢者の生涯学習の推進、女性の活躍の場を広げる機会を創出します。</p> <p>●地域の多様な主体が連携・協力しながら、子どもたちの体験活動等の充実を図り、幼児期における教育の質の向上、家庭・地域の教育力の向上、地域学校協働活動の推進を図ります。</p> <p>●ICTの進展に対応し、市民の主体的な学習活動を支援するため、デジタル環境の整備を図ります。</p> <p>●生涯にわたる読書習慣の形成のため、利用しやすい図書館としての環境整備を図り、若い世代にも対応した資料の収集と適正な所蔵に努め、学習機会の提供を図ります。</p>										
横断的な取組み	<p>重①幼児教育から小学校・中学校・高等学校を通じた「(仮)地域探究プログラム」を実施することにより、将来を担う世代の「知りたい」気持ち(探究心)を刺激し、地域を知ることによって郷土愛を醸成するとともに、地域での活動を通じた実体験に基づく若い世代の市民力の醸成を推進します。</p> <p>重②子育て支援施策と連携し、乳幼児健診などにおいて、図書館サービスの読み聞かせを行うことで親子の愛着形成の支援に努めます。</p> <p>●家庭教育に関する学習の場の充実を図り、保護者同士が情報交換し交流する場や地域との接点をもてる機会を創出します。</p> <p>●図書館と学校教育機関との連携に努め、子どもの読書活動を推進するための読書環境の充実を図り、多様で豊かな学習機会を提供します。</p>										
<b>KPI(重要業績評価指標)の達成状況</b>											
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	市民センター利用者数				143.4 %	44,500 人	68,500 人				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度					
	20,672 人	57,265 人	73,728 人	63,798 人	人	人					
2	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	図書館における一人当たり個人貸出数				113.0 %	4.6 点	5.0 点				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度					
	4.0 点	4.9 点	4.9 点	5.2 点	点	点					
3											
<b>KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果</b>											
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b></p> <p>1. R6年度は貸館需要の変動があったが、一般利用は増加している。 市民にとって身近で参加しやすい生涯学習講座、市民の自由な学びの場を創出し、市民による主体的な活動を支援する「かく大学」、地域学校協働活動の推進、家庭教育に関する学習の場の充実が図られている。</p> <p>2. 図書及び視聴覚資料等の貸出点数は129,225点であり、市民(26,249人)一人当たりの貸出点数は4.9点となった。さらに、かくだ電子図書館の貸出点数6,073点を加えると、一人当たりの貸出点数は5.2点と増加した。</p>											
<p><b>【施策の成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かく大学では、20~40代の社会人を中心に参加者を確保し、学習成果を活かした主体的な活動を支援することができた。</li> <li>・高校生地域探究では、身近にある課題や可能性を発見し、主体的に解決へ向けてアクションを起こすプログラムの企画・伴走により、高校生の地域と協働した探究活動を支援することができた。</li> <li>・生涯学習講座では主体的な学習意欲向上と発表の機会につなげることができた。</li> <li>・家庭教育では、ふぁみふぁみ・子育て遊びのマルシェを開催し、学習の場・保護者同志が情報交換する場の提供をし、親子の愛着形成・親同士のつながりを支援することができた。</li> <li>・地域学校協働ネットワーク会議を開催し、地域での活動、学校での活動等を報告し、連携協力を積極的に推進することができた。</li> <li>・図書館では、ニーズに応じた書籍や情報の提供と読書への関心を高める企画により、利用促進が図られた。かくだ電子図書館の導入により、小学生の貸出点数が増加し、開館時間内に来館できない利用者の利便性が向上した。</li> </ul>											



### 施策評価の理由

かく大學・高校生地域探究では、地域の課題解決や活性化に向け、学習機会を通して参加者の創業や市民活動、ワークショップへの参加など、主体的にまちづくりへ参画する市民の育成及び支援に寄与することができた。生涯学習講座をきっかけに、様々な講座に参加し、自主的に学習できる機会を提供し、生きがいづくり・つながりづくりを推進できた。家庭教育に関する学習の場の充実を図り、保護者同士が情報交換し交流する場を設けることができた。地域学校協働活動ネットワーク会議を開催し、地域での活動、学校での活動等を報告し、連携協力を積極的に推進することができた。

課題はあるものの、前期目標及び後期目標を達成していることから「順調」と評価した。

### 施策を推進する上での課題

かく大學では、講師による企画運営が行われており、事業の選択肢や担い手の確保が課題となっている。家庭教育事業では、事業の周知方法・参加者同士のつながりづくりについて工夫が必要。生涯学習講座の参加者が、地域での主体的な活動につなげられるような仕掛けづくりを検討する。

読書離れが急速に進行している中、乳幼児から高齢者まで、読書の効果を広く周知し、読書への関心を高める取組が求められている。また、電子図書館のさらなる利用促進のため、電子書籍コンテンツの充実を図る必要がある。

### 今後の取組(対応)方針

かく大學について、さらに、市民の学習意欲の醸成及び主体者間のネットワークを形成し、今後、継続的かつ自主的に展開できるような仕組み作りを目指す。生涯学習講座について、自主的サークル活動につなげられるような内容、取り組みを引き続き、実施する。家庭教育事業について、関係機関と連携し、家庭教育に関する学習の内容や場の充実、また保護者同士が情報交換し繋がることのできる場を引き続き、提供していく。地域の多様な主体が連携・協力し、地域学校協働活動の実施状況や成果等についての情報交換をととして、相互のネットワークを構築し事業の更なる推進を図る。

図書館では、読書の効果を広く周知し、引き続き、乳幼児から高齢者までの各世代への図書館サービスの充実を図るとともに、各課と連携し、地域の情報拠点として市政情報や暮らしの課題解決につながる情報の発信を行う。また、学校などと連携しながら、電子図書館サービスの充実を図る。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	生涯学習推進事業	生涯学習課	632	<b>事業概要</b> 市民一人ひとりが生涯にわたって潤いと生きがいを持って充実した生活を営むことができるよう推進し、誰でも主体的に学習できる場づくりを目指す。 <b>事業実績</b> ・生涯学習講座 ・花壇コンクール
2	家庭教育推進事業	生涯学習課	474	<b>事業概要</b> 子どもを地域全体で育む仕組みをつくり、家庭・地域の教育力の向上を図る。親子の愛着形成を促進するとともに子育てについて学習の場の提供を行う。 <b>事業実績</b> ・ふあみふあみ・子育て遊びのマルシェ ・家庭教育学級
3	次世代育成推進事業	生涯学習課	3,945	<b>事業概要</b> 持続可能な社会を実現する人づくりへ向け、次世代を担う人づくり・地域をサポートする新たな人材の育成。 <b>事業実績</b> ・かく大學 ・ジュニアリーダー ・高校生地域探究活動支援事業
4	図書館一般管理	図書館	16,867	<b>事業概要</b> 図書館の運営に要する経常的経費 <b>事業実績</b> 各種事業や特集展示等により、入館者数が増加し、特に小学生や50代以上の貸出点数が増え、利用促進に寄与した。
5	図書館資料充実事業	図書館	8,096	<b>事業概要</b> 利用者のニーズに応じた多様な資料を収集し、蔵書の充実を図る事業。 <b>事業実績</b> 新刊書籍や視聴覚資料、電子書籍コンテンツ、利用者からのリクエストに応じた資料の購入を行い、より豊かな情報提供を行った。

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度				令和6年度				章	5	節	2	項	2
第6次長期総合計画における体系	第5章	教育・文化・スポーツ						施策担当部署	生涯学習課 郷土資料館				
	第2節	人生100年時代を見据えた生涯学習の推進											
	第2項	歴史・文化資源の保存活用						評価担当部署	生涯学習課 郷土資料館				
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域に所在する文化財(文化遺産)を、まちづくりなどの分野にも活かしつつ、地域社会総がかりで継承していく取組みの充実を図ります。</li> <li>●郷土資料館を文化遺産の価値や魅力を身近に体感できる中心的施設に位置付け、学習や情報発信の場としての活用を推進します。</li> </ul>												
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●伝統文化・行事の記録化を進めます。</li> <li>●地域における人づくり、地域づくりを担う中核人材を育成し、地域の文化財資源の保存・活用、保存団体の復活支援を図ります。</li> <li>●国史跡である梁瀬浦遺跡(北郷)や古代の伊具郡の役所跡とされる角田郡山遺跡(枝野)をはじめとした重要な遺跡の保存と積極的な活用を図ります。</li> <li>●「牟宇姫への手紙」や角田城での様子を記録した「内留」など、地域や資料館に残る古文書をはじめとした歴史資料の調査研究を推進し、歴史や文化等に関する市民の関心を高めます。</li> </ul>												
横断的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●観光担当部署と連携し、地域の文化財を巡るツアーや、公開事業を開催します。</li> <li>●各地域に眠る未調査の仏像や古文書等の調査・研究により、新たな文化財の発掘につなげ、市民の関心を高める取組みを検討します。</li> </ul>												
KPI(重要業績評価指標)の達成状況													
1	指 標 名						達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	活動中の無形民俗文化財保存団体数【累計】						100.0 %	9 団体	10 団体				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/						
	8 団体	8 団体	9 団体	9 団体	団体	団体							
2	指 標 名						達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	郷土資料館の入館者数						145.6 %	5,500 人	8,700 人				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/						
	2,207 人	7,699 人	6,581 人	8,006 人	人	人							
3	指 標 名						達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果													
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b></p> <p>1. 無形民俗文化財保存団体6団体を角田市文化財として新たに指定した。文化財としての記録映像化を進め継承に努めている。</p> <p>2. 郷土資料館では、特色ある展示会の実施や市の催しにあわせたイベント企画などにより、入館者数は大幅に増加した。</p> <p><b>【施策の成果】</b></p> <p>無形民俗継承保存団体同士の横の繋がりがより強くなることができた反面、継承者が複数いない団体は活動に苦慮している。</p> <p>郷土資料館では通常通りの事業の他、市の催しにあわせたイベントの実施や、季節毎の催しを実施できたため、大きく入館者数を得ることができた。</p>													



### 施策評価の理由

無形民俗保存団体については、今後の状況を随時把握している。郷土資料館については、魅力ある展示会の開催や、他資料館との違いを出した展示をおこなったこと、市の観光部門との連携が上手くいったため入館者が大きく伸びた。

### 施策を推進する上での課題

保存会の存続については、会の中でも複数の演者(奏者)を育成していく必要がある。  
郷土資料館については、市内部の観光部局との連携だけでなく、道の駅を含めた市内全体での連携を検討する必要がある。

### 今後の取組(対応)方針

保存団体については安定した継承に向け、他の団体との連携ができるような方策を検討するほか、早急な映像の記録保存を実施し、次の若い世代への継承ツールとしての活用を図る。  
郷土資料館では後期目標値を目指し、資料館の建物及び郷土の歴史を活かした話題性のある催事を行い、集客数の増加につなげる。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	文化財保護一般管理	生涯学習課	1,276	<p>事業概要 無形民俗文化財の公開、記録映像の作成を行う。</p> <p>事業実績 「角田市民俗芸能大会」の開催したほか、継続事業として、保存団体の映像記録化を行った。</p>
2	無形民俗文化財団体育成	生涯学習課	80	<p>事業概要 指定文化財団体への補助を行う。</p> <p>事業実績 「金津の七夕」(県指定)と「角田祭ばやし」(市指定)への補助を行い、保存継承を図った。</p>
3	企画・展示事業	郷土資料館	2,318	<p>事業概要 調査研究の成果などに基づいた企画や展示を行い、郷土の歴史に対する理解を深める。</p> <p>事業実績 「甲冑展」、「夏休み昆虫展」、「秋の特別展」、「雛人形展」の他十三夜の夜間開放など、魅力ある催しを行った。</p>
4				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
5				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	5	節	2	項	3	
第6次長期総合計画における体系	第5章	教育・文化・スポーツ				施策担当部署	生涯学習課			
	第2節	人生100年時代を見据えた生涯学習の推進								
	第3項	文化芸術活動の推進				評価担当部署	生涯学習課			
施策の方向性・目指す姿	<p>●文化芸術活動の担い手の育成を図るとともに、市民参加型公演事業などを通じ、市民が文化芸術に触れる機会の拡充に努め、文化芸術活動の拠点となるかくだ田園ホールを活用を図ります。</p>									
主な施策	<p>重①世代を問わず、市民力を活かした創作活動や発表の場を創出し、市民による様々な文化芸術活動を推進するために、かくだ田園ホールを活用し、多様な文化芸術に触れる機会の創出を図ります。</p> <p>●地域の文化芸術団体、企業、学校等と連携した文化芸術活動を支援し、多様な文化活動をつなぐ文化芸術活動のネットワークを構築します。</p> <p>●児童生徒が文化芸術活動に親しむ機会の創出を図るとともに、全国的に変革期を迎える中学生等の文化部活動の実施環境の充実が図られるよう、地域の多様な主体と連携し、持続可能な部活動の環境を整備します。</p> <p>●かくだ田園ホールを活用した多彩な文化芸術の鑑賞機会を充実させるとともに、利用しやすい環境を創出し、地域の芸術家、文化芸術団体、市民等による文化芸術活動での幅広い利用を促進します。</p>									
横断的な取組み	<p>●小学校・中学校等に質の高い芸術鑑賞等プログラムの提供を図ります。</p>									
KPI(重要業績評価指標)の達成状況										
1	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
	かくだ田園ホールでの文化芸術鑑賞人数				216.1 %	6,000 人	12,000 人			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/			
	672 人	8,383 人	9,108 人	12,967 人	人	人				
2	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
	文化芸術活動の推進に対する市民の満足				108.1 %	66.4 %	70.0 %			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/			
	62.8 %	- %	- %	71.8 %	%	%				
3	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果										
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b></p> <p>1. かくだ田園ホールでの文化芸術鑑賞人数の増加については、「光の回路」や「ケロポンズファミリーコンサート」といった多くの集客を実現したイベントを開催できたことや、寄席や自衛隊によるコンサートといった定例的なイベントについても、広報活動を活発に行うことで例年を超える集客に成功したことが要因となっている。特に、子ども向けのイベントについては、子育て支援特設サイトの「かくはび」や子育て支援アプリ「ほっぺなび」を活用し、子育て世代に広く情報を届け、鑑賞人数の増加を図ることができた。</p> <p>2. 文化芸術活動の推進に対する市民の満足度については、70%を超える結果となり、子どもから大人まで幅広い年齢層の市民が楽しめるよう、多様なジャンルの文化芸術活動やイベント等を提供できたことが要因となっている。今後も、質の高い文化芸術活動を提供し、市民の文化への関心を高め、来場者数の増加を図っていくことが重要と考える。</p> <p><b>【施策の成果】</b></p> <p>かくだ田園ホールにおいて、「陸上自衛隊第6音楽隊」や「クリスマスファミリーコンサート」をはじめとしたクラシックコンサートを実施した。また、「田園ホール寄席」や「ケロポンズファミリーコンサート」といった幅広い年齢層に合わせた事業を実施した。</p>										



**施策評価の理由**

本来の文化活動が実施できる環境が戻ってきており、ホール催事に合わせて市内各所でのアウトリーチの実施や市内外への広報活動、継続的な事業の実施により、様々なジャンルの催事を実施することにより、市民が芸術文化に触れる機会の拡充を図ることができた。

**施策を推進する上での課題**

かくだ田園ホール利用者数が増加傾向にあるものの、新規利用者を十分に獲得できていない現状があり、潜在的な利用者を増やせるよう周知方法を改善することが求められる。

**今後の取組(対応)方針**

幅広く利用者に情報を提供し、催事の魅力が伝わるような周知を進める。また、周知媒体を見直し市内外の団体等に周知の協力を求めていく。

**推進事業一覧**

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	文化振興事業	生涯学習課	6,605	事業概要 世代を問わず、市民力を活かした創作活動や、発表の場を創出し市民に市民による様々な文化芸術活動を推進する。 事業実績 文化芸術団体への負担金・補助金
2	自主文化事業	生涯学習課	3,971	事業概要 様々な芸術文化に触れる機会を増やすことにより、暮らしの活力の維持・向上を図る。 事業実績 自主文化事業
3				事業概要  事業実績
4				事業概要  事業実績
5				事業概要  事業実績

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	5	節	2	項	4
第6次長期総合計画における体系	第5章	教育・文化・スポーツ			施策担当部署	生涯学習課			
	第2節	人生100年時代を見据えた生涯学習の推進							
	第4項	スポーツによるまちづくり			評価担当部署	生涯学習課			
施策の方向性・目指す姿	<p>●スポーツにより明るく楽しく健康で活力あるまち(アクティブシティかくだ)の実現を目指します。</p>								
主な施策	<p>重③スポーツをしていない方々にも新たにスポーツを楽しんでもらえるように、「スポーツが楽しく、さわやかで健康につながる活動であること」や「日常における身体活動(散歩、清掃、家事など)も意識的に体を動かすことでスポーツの一部であること」を広く周知し推進するために、全市民による健康づくりイベント「角田市チャレンジデー」を開催します。</p> <p>●ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します。特に、元気な子どもを育成し、生涯スポーツを楽しむ基盤づくりのため、乳幼児に「楽しく体を動かす運動あそび」を提供する「かくだ版アクティブチャイルドプログラム」を実施します。さらに、全国的に変革期をむかえている中学校での部活動について地域スポーツと連携し、持続可能なあり方について検討し見直しを図ります。</p> <p>●誰もが快適にスポーツに親しむことができるようにKスポ等を有効活用し、さらには、自然と体を動かしたくなる、動かしてしまう環境のあり方を検討します。</p>								
横断的な取組み	<p>重③スポネットかくだ(公益財団法人笹川スポーツ財団との連携事業として取り組んでいる地域スポーツ運営組織で、スポーツ関係団体や大学等で構成)の活動を支援するとともに、関係団体の連携を促進し、スポーツによる地域課題の解決(元気な子どもの育成、健康増進、地域コミュニティの活性化、交流人口の拡大等)を図ります。</p> <p>●地域に夢と活力をもたらすスポーツ交流を推進します。特に、Kスポと道の駅かくだを「スポーツ」と「食」を通じて連携することで「健康・子育て・賑わいの拠点」として定着させ、交流人口の拡大と地域の活性化を目指す「かくだ版スポーツツーリズム※」を推進します。</p>								
KPI(重要業績評価指標)の達成状況									
1	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	スポーツ実施率(運動を週2回以上実施している成人の割合)				116.0 %	50.0 %	60.0 %		
	初期値 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度			
-	%	65.7 %	-	%	58.0 %	%	%		
2									
3									
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果									
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b>          令和6年度角田市市民意識調査結果より、運動を週2回以上実施している方の割合は58.0%であった。          (2日/週 10.3%、3~4日/週 15.4%、5~6日/週 12.7%、毎日 19.6%)</p> <p><b>【施策の成果】</b>          各種スポーツ団体の大会等の開催、スポコムクラブ活動、総合体育館におけるワンコイン教室やトレーニング室の利用者が増えてきており、市民の運動・スポーツに対する参加意識が高まっている。</p> <p><b>【Kスポ利用者数】</b>          R6年度:324,490人(R5年度:262,444人) ※前年比 123.6%</p>									

R5 施策評価	概ね順調	R6施策評価 (内部)	順調	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
<p>Kスポ利用者数が大幅に増加しており、市民大会やオープン大会への参加者数の増など、市民がスポーツに親しむきっかけづくりとして大きな成果を上げている。          施設利用者数における目標達成、また、本KPIにおいても前期目標(50.0%)を上回っている。</p>					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
<p>スポーツ人材(指導者、団体リーダー及びボランティア等)の高齢化に伴う後継者を育成していく必要がある。</p>					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
<p>スポーツを普段の生活の中から能動的に実施することで「スポーツにより明るく楽しく健康で活力のあるまち(=アクティブシティかくだ)」を実現を目指す。          次世代のスポーツ人材の育成に取り組むため、引き続きスポーツ団体の支援を行う。</p>					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	スポーツ推進事業	生涯学習課	12,528	<b>事業概要</b> スポーツ協会等のスポーツ団体への助成及び全国スポーツ大会等へ出場する選手・団体等に助成を行う。  <b>事業実績</b> 団体補助:①角田市スポーツ協会、②角田市スポーツ少年団本部、③NPO法人スポーツコミュニケーションかくだ 全国助成:30件(うち、個人申請27件、団体申請3件)	
2				<b>事業概要</b>  <b>事業実績</b>	
3				<b>事業概要</b>  <b>事業実績</b>	
4				<b>事業概要</b>  <b>事業実績</b>	
5				<b>事業概要</b>  <b>事業実績</b>	

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	6	節	1	項	1
第6次長期総合計画における体系	第6章	都市基盤・生活環境			施策担当部署	建設課 防災安全課			
	第1節	良好な都市基盤の整備							
	第1項	安全・安心な道路網の整備			評価担当部署	建設課			
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広域幹線道路体系へのアクセス性を高める道路網の整備を促進すると同時に災害に強い交通ネットワークの形成に取り組みます。</li> <li>● 既存の道路・橋りょうなどの維持補修について、計画的に取り組みます。</li> </ul>								
主な施策	<p>重③角田市防災・減災構想に基づく浸水被害へのハード対策の推進と安全に配慮した災害に強い幹線道路網の整備を進めます。</p> <p>重③国道・県道などの改良の早期完成、特に国道349号は、国の直轄権限代行業として安全に配慮した道路整備を図るよう、関係機関に要請します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 都市計画道路の整備及び街路の維持管理の充実を図り、道路愛護ボランティア活動に対する支援に取り組みます。</li> <li>● 道路や橋りょうの計画的な維持管理に努め、計画的に維持補修を進めます。</li> </ul>								
横断的な取組み									
KPI(重要業績評価指標)の達成状況									
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	角田市防災・減災構想による路線整備の進捗率				66.0 %	70.0 %	100.0 %		
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/		
	0.0 %	23.9 %	39.2 %	46.2 %	%	%			
2							/		
3							/		
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果									
<p>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災・減災構想に位置付けられた道路整備事業計画に基づき、3路線(市道大沼野田前線、市道南町斗蔵線、市道駅前花鳥線)の事業を実施した。</li> <li>・市道大沼野田前線:用地買収、工事(盛土工) L=226.5m</li> <li>・市道南町斗蔵線:用地買収、工事(地盤改良工) L=77.1m</li> <li>・市道駅前花鳥線:工事(擁壁工) L=143.3m</li> </ul> <p>【施策の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 角田市防災・減災構想に基づき、令和3年度から防災・安全交付金を活用しながら事業を推進している。事業の進捗について、令和6年度の防災安全交付金の内示率が要望額の50%の配分になったこと、一部相続等により用地買収が困難な箇所等もあり、事業に遅れが生じている。</li> <li>● 江尻地区から小坂地区の道路改良等について、国道349号建設促進期成同盟会や阿武隈川下流改修促進期成同盟会により、国土交通省及び宮城県土木部に対して要望活動を行った。</li> <li>● 各種施設の長寿命化計画に基づき、計画的な維持補修を実施した。</li> <li>● 宮城県が実施する「スマイルロード」事業に参加するスマイルサポーター及び宮城県に登録する道路愛護団体の活動を支援することで、地域住民や企業・団体による環境保全活動の推進に寄与した。</li> </ul>									

R5 施策評価	概ね順調	R6施策評価 (内部)	やや遅れている	➡	R6施策評価 (推進委員会)
------------	------	----------------	---------	---	-------------------

**施策評価の理由**

●令和6年度の防災・安全交付金の内示率が要望額の50%と低く、事業内容の見直しを行ったため、予定していたスケジュールにやや遅れが生じた。

**施策を推進する上での課題**

●事業を推進していく段階で、新たな事業の追加や変更が発生する可能性があり、それに応じた予算・財源及び技術職員の確保が課題となる。  
●道路用地の買収等に時間を要し、事業の進捗が遅延する事例が発生している。

**今後の取組(対応)方針**

●令和元年東日本台風(台風第19号)による未曾有の豪雨災害が発生した経験を踏まえ、角田市防災・減災構想の計画的な推進を図る。  
●取得困難な用地についても、粘り強く用地交渉を進めるとともに、角田市防災・減災構想を適宜見直すことで効率的かつ効果的な事業の推進を図る。

**推進事業一覧**

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	道路改良事業	建設課	103,358	<p>事業概要 通学路の安全確保及び集落間などの連絡網の整備 大雨時の緊急輸送経路及び避難経路を確保するための路線整備(駅前花島線)</p> <p>事業実績 パラペット擁壁を設置し、尾袋川からの越水対策を実施 ・工事(擁壁工) L=143.3m ※R3~6までの整備延長L=1,569m</p>
2	大沼野田前線道路整備事業	建設課	58,355	<p>事業概要 大雨時の緊急輸送経路及び避難経路を確保するための路線整備(大沼野田前線)</p> <p>事業実績 盛土載荷重工法(余盛工法)で軟弱地盤対策工事を実施 ・用地買収、工事(盛土工) L=226.5m</p>
3	南町斗蔵線道路整備事業	建設課	151,729	<p>事業概要 大雨時の緊急輸送経路及び避難経路を確保するための路線整備(南町斗蔵線)</p> <p>事業実績 盛土載荷重工法での地盤の安定が期待できないことから、固結工法での軟弱地盤対策工事を実施 ・用地買収、工事(地盤改良工) L=77.1m</p>
4				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
5				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度					令和6年度	章	6	節	1	項	2
第6次長期総合計画における体系	第6章	都市基盤・生活環境				施策担当部署	まちづくり推進課				
	第1節	良好な都市基盤の整備									
	第2項	公共交通システムの存続・利便性向上				評価担当部署	まちづくり推進課				
施策の方向性・目指す姿	<p>●高齢者人口の増加が進む中、移動手段に関する市民ニーズも徐々に変化していることから、市民の要望を把握し、誰もが気軽に外出できる地域公共交通システムの構築を図るとともに、阿武隈急行線をはじめとする既存地域公共交通システムの維持・確保に努めます。</p>										
主な施策	<p>重③阿武隈急行線を利用した際の運賃助成やイベント列車の運行により、利用者数の回復を図ります。                      重③各種イベント時にシャトルバスを運行するなど、イベント来場者の移動を支援します。                      重③デマンド型タクシーの定期的な周知を図り、利用者の確保に努めるとともに、アンケート等により市民の要望を把握し、より多くの市民に利用いただける仕組みをつくります。                      重③変わりゆく交通需要に応えるため、スクールバスの活用も視野に入れた検討を行います。</p>										
横断的な取り組み	<p>重③経営改善に取り組む阿武隈急行(株)に対し、沿線自治体と協調し経営安定化に資する支援を行います。</p>										
KPI(重要業績評価指標)の達成状況											
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	阿武隈急行線市内4駅の乗降者				118.2 %	450,000 人	600,000 人				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/				
	347,164 人	415,219 人	530,297 人	531,979 人	人	人					
2											
3											
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果											
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b>                      市内4駅の乗降者数は、コロナ禍からの回復傾向に加え、阿武隈急行線利用促進協議会や市民団体による阿武隈急行線利用促進の活発な活動の影響により、前年度を上回ったものの0.3%の微増に留まった。福島県側の伸び(+3.6%)と比較すると、努力が必要な状況である。</p>											
<p><b>【施策の成果】</b>                      運賃助成や通学定期券購入費補助などの各種補助制度により阿武隈急行線の利用者増加に繋がっているものの、市内4駅の乗降者数については、令和元年台風・コロナ禍前の50万人後半まで回復しておらず、阿武隈急全体でも乗降者数や営業収益等は回復途上であり、今後の運行継続のため引き続き支援が必要な状況にある。</p>											

R5 施策評価	概ね順調	R6施策評価 (内部)	やや遅れている	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
阿武隈急行線利用促進協議会の主催により、阿武急の利用を条件とした沿線の少年野球チームによる大会や、囲碁・将棋大会を開催し、阿武隈急行線の利用の促進及び市外から角田を訪れる人の増加につながったが、市内4駅の乗降者数については、令和元年台風・コロナ禍前の50万人後半まで回復しておらず、阿武急全体でも乗降者数や営業収益等は回復途上であり、今後も運行継続のための支援が必要な状況であることから。					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
市内循環バスの試験運行が開始から3年目を迎え、今後の継続について市民ニーズや費用対効果の検証をしなければならない。また、阿武隈急行線の利用促進については、市内各種団体との連携や、運賃助成施策などの拡充も含め検討する。さらに、阿武急運行継続支援などに要する財源の確保も課題となる。					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
循環バスについては3年目も継続し実施するとともに、二次交通対策としてのあり方について検討する。また、阿武隈急行線にあっては、各種運賃助成制度の周知啓発に努め、利用者の増加を図るとともに、市内のイベント等と絡めた需要の創出を図る。さらに、クラウドファンディング等を活用し、阿武急の運行継続支援等の財源を確保する。					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	阿武隈急行線利用者助成等事業	まちづくり推進課	23,814	<b>事業概要</b> 県補助金を活用し、定期・企画切符以外のグループ利用者に対する補助や、阿武隈急行線利用を促すイベント等を実施し、阿武隈急行線の利用促進を図る。  <b>事業実績</b> 運賃助成は、延べ学校391件(1502人)、一般817件(2,191人)の利用があった。定期券購入費助成は、延べ1,935件の利用があり、阿武隈急行線の利用促進に寄与した。	
2	阿武隈急行線運行継続支援事業	まちづくり推進課	49,385	<b>事業概要</b> 度重なる自然災害、新型コロナウイルス感染症の長期化、施設の老朽化により施設改修費用等の増大や沿線自治体の人口減少による運賃収入の減少が見込まれ、著しく経営が悪化している阿武隈急行線に対し、宮城・福島両県及び沿線自治体の協調による経営支援を実施する。  <b>事業実績</b> 赤字が続く阿武隈急行株式会社への運営支援に寄与した。	
3	デマンド交通システム事業	まちづくり推進課	28,209	<b>事業概要</b> タクシー事業者の保有するジャンボタクシー等を活用し、利用者の要望に合わせて乗合タクシーで玄関先まで迎えに行き、まちなかの医療機関や商店などの目的地まで輸送するシステム。交通弱者の移動手段の確保及び中心市街地の活性化につなげるもの。  <b>事業実績</b> 年間延べ17,265人の利用があり、高齢者の通院や買い物等のため、貴重な移動手段として、市民の利用に寄与した。	
4	二次交通確保対策事業	まちづくり推進課	603	<b>事業概要</b> 阿武隈急行線角田駅からの移動手段として、市内主要箇所を循環するバスを運行するもの。  <b>事業実績</b> 市内イベント開催日に合わせ年9日間運行し、延べ159人が利用した。角田駅から会場への移動手段としての需要が高まっただけでなく、スクールバスの有効活用につながった。	
5				<b>事業概要</b>  <b>事業実績</b>	

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	6	節	1	項	3
第6次長期総合計画における体系	第6章	都市基盤・生活環境			施策担当部署	建設課 都市計画課 防災安全課			
	第1節	良好な都市基盤の整備							
	第3項	河川環境の有効活用			評価担当部署	都市計画課			
施策の方向性・目指す姿	●阿武隈川では水辺の景観づくりと、環境保全に努め、市民の憩いや交流の場を提供するとともに、関係機関と協力し災害に対応した河川の改修と維持管理に努めます。								
主な施策	重③ 角田市防災・減災構想に基づく浸水被害へのハード対策の推進のため、国・県管理河川の環境に配慮した改修・整備及び定期的な浚渫などの維持管理を関係機関に要請します。 ●憩いや交流の場として水辺の景観を積極的に保全活用し、ふるさと角田の景観を守るための地域住民や企業・団体による環境保全活動を支援します。 ●市管理河川の定期的な浚渫など適切な維持管理を実施します。								
横断的な取り組み	●各治水協議会等による要望活動を継続的に実施します。								
KPI(重要業績評価指標)の達成状況									
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	阿武隈川河川敷市民ゴルフ場及びパークゴルフ場の利用者数				81.0 %	40,000 人	42,000 人		
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/		
	35,726 人	43,589 人	36,513 人	32,388 人	人	人			
2									
3									
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果									
<b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b> ●前年同様に高温の日が多く、屋外での活動を控える傾向が続いたことや、昨年度と比較して春・秋の最適なシーズンに雨天が多かったこともあり、利用者数がさらに減少した。									
<b>【施策の成果】</b> ●角田市防災・減災構想に基づく浸水被害のハード対策の推進のため、県管理河川である尾袋川や小田川の改修・整備や浚渫等について、宮城県知事に対する角田市独自の要望会を開催し、事業の推進について要請を行った。 ●宮城県が実施する「スマイルリバー」事業に参加するスマイルサポーター及び宮城県に登録する河川愛護団体の活動を支援することで、地域住民や企業・団体による環境保全活動の推進に寄与した。 ●市管理河川(16河川)の浚渫を計画的に実施し、適切な維持管理に努めた。(令和2年度から7河川で実施済) ●堤防改修事業や治水対策の推進、財源の確保等について、阿武隈川下流改修促進期成同盟会等による要望活動を行った。									

R5 施策評価	概ね順調	R6施策評価 (内部)	やや遅れている	➡	R6施策評価 (推進委員会)
------------	------	----------------	---------	---	-------------------

### 施策評価の理由

- 利用者数は天候に左右されるところが大きいですが、それでも大幅に減少した令和5年度よりもさらに減少する結果となった。
- 県管理河川の改修・整備や浚渫等について、しっかりと要請を行った。また、市管理河川の浚渫を計画的に実施し、適切な維持管理に努めた。

### 施策を推進する上での課題

- 国・県管理河川の改修・整備及び定期的な浚渫等の維持管理について、今後も継続して要望活動を行い、角田市防災・減災構想に基づく浸水被害へのハード整備を推進する必要がある。

### 今後の取組(対応)方針

- 令和6年3月に尾袋川・小田川等が特定都市河川として指定を受けたことにより、宮城県が事務局となる流域水害対策協議会が組織され、河川整備を加速化するとともに、流域における貯留・浸透機能の向上、水害リスクを踏まえたまちづくり・住まいづくり等の浸水被害対策を流域一体で計画的に進めるため、当該協議会による流域水害対策計画の策定を進める。
- 角田市防災・減災構想に基づく浸水被害のハード対策の推進のため、県管理河川の改修・整備や治水対策の推進について、要望活動を行っていく。
- 「スマイルリバー」事業に参加するスマイルサポーター及び河川愛護団体の活動支援を継続する。
- 市民ゴルフ場やパークゴルフ場における芝生の適切な維持管理を行うことで、良好なプレー環境の提供に努める。
- 「ホームページ」や「SNS」などを活用し、イベント等を定期的に周知することで、利用者数の増加に努める。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	河川維持補修事業	建設課	11,841	事業概要 市管理河川等の維持管理  事業実績 浚渫工 一式 笠島川 L=500m 中島川 L=410m
2	市民ゴルフ場管理事業	都市計画課	22,495	事業概要 市民ゴルフ場の管理運営  事業実績 角田市地域振興公社に対し指定管理により委託 (R4~R8)
3	パークゴルフ場管理事業	都市計画課	4,220	事業概要 パークゴルフ場の管理運営  事業実績 角田市地域振興公社に対し指定管理により委託 (R4~R8)
4				事業概要  事業実績
5				事業概要  事業実績

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度				令和6年度				章	6	節	2	項	1
第6次長期総合計画における体系	第6章	都市基盤・生活環境						施策担当部署	まちづくり推進課 都市計画課				
	第2節	快適な住環境の整備							評価担当部署	都市計画課			
	第1項	快適な居住環境づくり											
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●既存の市営住宅の適正な維持管理と、子育て世帯や高齢者が暮らしやすい市営住宅の計画的な整備を進めます。</li> <li>●結婚に伴う新生活のコストを支援し、新婚世帯の定住化を促進します。</li> </ul>												
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●老朽化した市営住宅の長寿命化に対応した改善をし、質の向上を図るとともに、建替えを計画的に進めます。</li> <li>●多様なニーズに柔軟に対応するため、適宜制度の見直しを行いながら、「結婚新生活支援事業」を推進します。</li> </ul>												
横断的な取り組み													
KPI(重要業績評価指標)の達成状況													
1	指 標 名						達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	市営住宅の長寿命化改善事業による整備戸数【累計】						37.5 %	128 戸	176 戸				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/						
	0 戸	0 戸	30 戸	48 戸	戸	戸							
2													
3													
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果													
<p>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</p> <p>令和5年度に積算した、関ノ内住宅84戸中18戸の整備を行った。また併せて令和7年度以降に改修工事予定の22戸の実施設計をした。</p> <p>【施策の成果】</p> <p>令和5年度に積算した3棟18戸の屋根防水改修、外壁塗装改修、外部手すりの交換及び電気設備の改修を行った。なお、令和7年度以降に改修工事に着手できるよう4棟22戸の実施設計を行った。</p> <p>結婚新生活支援事業や移住支援金等については、市広報や市ホームページへの掲載、関係施設へのちらしの配架、フリーペーパー誌への掲載等に加え、移住相談会や成人式等各種イベントでのちらし配布など、対象世代への周知を行った。</p>													

R5 施策評価	やや遅れている	R6施策評価 (内部)	やや遅れている	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
<p>関ノ内住宅については令和5年度から令和8年度にかけて、長寿命化計画に基づく改修を実施し、全体的には当初計画より2年遅れているが、計画通りの順で事業を実施する。</p> <p>結婚新生活支援事業や移住支援金等の件数については、前年度と同程度となっており、ある程度評価できると考える。</p> <p>施策全体としては、KPIの達成状況等を考慮し、やや遅れていると評価した。</p>					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
<p>市営住宅の応募件数が減少しているため、需要見込みを考慮しながら改修内容を検討する。また、上昇する建設資材及び人件費の影響で整備費用が増加していることにより、計画に沿った整備スケジュールを実施するため市の財政状況との調整が必要である。</p> <p>各種支援事業の周知をより一層図るため、対象世代への効率的な周知方法の検討や、移住定住促進のより効果的な事業展開を検討する必要がある。</p>					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
<p>建替えなどについては、人口の減少や少子・高齢化が進んでいく現状を考慮して慎重に検討する。また、民間住宅の供給状況や住宅需要について、大きく変化している状況にあることから、今後の人口動態、住宅の需給状況を踏まえて、令和7年度に改定する公営住宅等長寿命化計画で検討する。</p> <p>移住定住促進の拡充のため、市内外への情報発信に力を入れるとともに、より低いハードルで結婚活動を行えるよう新たな婚活に対する支援を検討する。</p>					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	公営住宅修繕事業	都市計画課	70,276	<p>事業概要 市営住宅の大規模修繕を行い長寿命化を図る。</p> <p>事業実績 角田市営関ノ内住宅改修工事 ・屋根、外壁等改修工事及び電気設備改修工事 3棟18戸 角田市営関ノ内住宅改修工事設計業務</p>	
2	移住定住推進事業	まちづくり推進課	12,554	<p>事業概要 人口減少の抑制を目的として、新婚世帯の移住・定住を図るため新生活の経費に対する補助を行うほか、東京圏からの移住者に対する支援金、婚活支援としてみやぎ結婚支援センター入会費に対する助成を行う。</p> <p>事業実績 結婚新生活への支援は17組に対し行った。移住支援金は3世帯に対し行った。みやぎ結婚支援センター利用促進への助成は3名に対し行った。</p>	
3				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>	
4				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>	
5				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>	

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	6	節	2	項	2
第6次長期総合計画における体系	第6章	都市基盤・生活環境			施策担当部署	都市計画課 生涯学習課			
	第2節	快適な住環境の整備							
	第2項	憩いの場である公園・緑地の整備			評価担当部署	都市計画課			
施策の方向性・目指す姿	●潤いのある生活環境を充実させるため、公園施設の計画的な整備及び維持管理を進めます。								
主な施策	●未整備の街区公園の整備を進めるとともに、角田中央公園をはじめとする公園施設の適正な維持管理を行います。 ●公園に応じた需要を把握し、多くの市民が求める公園施設として充実を図ります。 ●地域住民と行政の協働により、街区公園の美化活動などを推進します。								
横断的な取組み									
KPI(重要業績評価指標)の達成状況									
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	整備された公園の数【累計】				50.0 %	17カ所	18カ所		
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/		
	15カ所	16カ所	16カ所	16カ所	カ所	カ所			
2	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	角田中央公園の利用者数				112.6 %	170,000人	185,000人		
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/		
	91,629人	127,588人	143,847人	191,472人	人	人			
3	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/		
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果									
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b></p> <p>1. 令和6年度の公園整備の実績はないが、令和8年度に町尻5号公園、令和10年度に町尻6号公園を整備する予定としている。</p> <p>2. 令和6年度の角田中央公園利用者は、計画値を大きく上回った。角田市スポーツ協会の加盟協会等が主催する各種スポーツ大会並びに隣接する道の駅かくだとの連携により交通公園の利用者が大幅に増えた。</p> <p><b>【施策の成果】</b></p> <p>公園施設の定期点検を実施し、適切な維持管理に努めた。 公園が所在する行政区に公園の維持管理等を依頼し、街区公園の美化が図られた。</p> <p>主な利用者増の施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通公園 50,321人(前年度24,002人)</li> <li>・屋内温水プール 82,448人(前年度74,007人)</li> <li>・野球場 14,625人(前年度7,832人)</li> </ul>									

R5 施策評価	順調	R6施策評価 (内部)	順調	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
<p>定期点検等の実施により、公園施設の適切な維持管理が図られた。また、未整備の街区公園の整備計画を立てている。</p> <p>施設の認知度が上がり、前年度及び前期の目標値のみならず、後期の目標値も上回ることができた。</p>					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
<p>公園施設の適切な維持管理を行うため、定期点検の実施や地域住民との協働による美化活動の推進を継続する必要がある。</p> <p>多くが屋外施設のため、夏季、冬季に活用できる日数が減少する。特に、休日に親子で安全に遊びことができる環境を提供したい。また、市外に魅力的な子育て施設が設置されていることから、現在の施設をより魅力的なものとするイベントの開催等を企画していかなければならない。</p>					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
<p>快適な住環境の形成のため、公園の整備状況や利用範囲等を考慮しながら、新たな街区公園の設置を進める。</p> <p>目標値を上回ることができたが、一過性の事象とならないよう、Kスポ指定管理者と協調し、引き続き多くの利用者に参加してもらえる施設管理に努める。</p>					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	公園管理事業	都市計画課	12,016	<p>事業概要 市内の街区公園の維持管理</p> <p>事業実績 市内の街区公園16箇所の維持管理(植木剪定、トイレ清掃等)を実施</p>	
2	角田中央公園管理事業	生涯学習課	168,079	<p>事業概要 屋内温水プール、陸上競技場、多目的運動場等のスポーツ施設や交通公園等の維持管理</p> <p>事業実績 指定管理者制度による中央公園各施設の維持管理(テニスコート管理棟エアコン修繕、屋内温水プール残留塩素計及びウォータースライダー階段修繕等)を実施</p>	
3				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>	
4				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>	
5				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>	

# 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度				令和6年度	章	6	節	2	項	3	
第6次長期総合計画における体系	第6章	都市基盤・生活環境			施策担当部署	生活環境課 上下水道事業所					
	第2節	快適な住環境の整備				評価担当部署	上下水道事業所				
	第3項	上下水道の整備									
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水道事業は、角田市水道ビジョンに基づき、安全でおいしい水の安定供給の確保のため、施設管理の強化に取り組むとともに、健全な事業経営を目指した効率化を進めます。</li> <li>●汚水処理に係る下水道事業は、施設の適切な維持管理及び水洗化の普及促進を行い、健全な事業経営を目指した効率化を進めます。</li> <li>●生活排水による水質の汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の普及促進を行います。</li> <li>●雨水処理に係る下水道事業は、浸水被害を軽減するため、計画的に雨水整備を進めます。</li> </ul>										
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>重③ 雨水処理は、家屋の浸水被害が多発する地域を優先的に「角田市防災・減災構想」、「角田市雨水管理総合計画」に基づき、内水対策を行います。</li> <li>●水道事業は、老朽化した配水管等の施設の更新を進めるとともに、災害対策としての施設の耐震化を行います。また、経営基盤の強化のため、水の安定供給を確保した上で施設の統廃合(解体撤去)を進めるとともに、一部業務の民間委託を検討します。</li> <li>●汚水処理に係る下水道事業は、水洗化の普及促進を進めるとともに、老朽化する汚水処理施設の更新及び今後の経費削減につながる施設維持管理方法を検討します。</li> <li>●合併処理浄化槽への切り替えのための費用の補助を行います。</li> </ul>										
横断的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水道事業は、将来にわたる経営健全化のため、宮城県水道事業広域連携検討会において水道事業の広域連携について検討を行うとともに、庁内共有や広域化に向け水道管路台帳の精緻化の検討を行います。</li> <li>●汚水処理に係る下水道事業は、将来にわたる経営健全化のため、県南地域における広域化・共同化検討会において広域化・共同化について検討を行います。</li> <li>●大雨時等において、関係機関と情報を共有し、雨水排水対策を行います。</li> <li>●宮城県や関係機関と連携を図り、合併処理浄化槽の普及促進を行います。</li> </ul>										
KPI(重要業績評価指標)の達成状況											
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	水道有収率 (配水した水のうち、料金収入が得られた水量の割合)				85.8 %	84.3 %	86.8 %				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度					
	82.0 %	80.6 %	75.9 %	72.3 %	%	%					
2	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	汚水衛生処理率 (下水道及び合併処理浄化槽を使用している人口の割合)				93.9 %	78.8 %	85.5 %				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度					
	71.1 %	72.5 %	73.4 %	74.0 %	%	%					
3	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	雨水整備率(雨水排水対策に係る事業計画地に占める浸水対策の整備が完了した区域の割合)				97.4 %	15.2 %	17.6 %				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度					
	14.6 %	14.6 %	14.8 %	14.8 %	%	%					
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果											
<p>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</p> <p>1. 令和6年度中に、有収率の大幅低下の原因となる漏水箇所を特定し、対策を行ったため次年度からの改善が見込まれる。</p> <p>2. 下水道処理区域内人口16,738人に対し水洗化人口が14,591人、下水道処理区域外人口9,511人に対し合併浄化槽利用者数が4,830人となり汚水衛生処理率はR5年度の73.4%から0.6ポイント増え目標値に近づいた。</p> <p>3. 令和8年度の目標達成に向け、地質調査を実施したものの、雨水整備率は前年同様となった。</p> <p>【施策の成果】</p> <p>合併処理浄化槽へ切り替えるための費用補助を行ったことで、生活排水による水質の汚濁防止が図られた。衛星による漏水調査を行うとともに老朽配水管約1.2kmの更新及び尾袋川水管橋長寿命化工事を行った。下水道事業(雨水)では、計画的な整備を行うため裏町排水区の基本設計及び野田排水区雨水調整池の地質調査を実施し、事業進捗につなげた。</p>											

R5 施策評価	やや遅れている	R6施策評価 (内部)	やや遅れている	➡	R6施策評価 (推進委員会)
------------	---------	----------------	---------	---	-------------------

### 施策評価の理由

水道有収率については次年度以降改善が期待できるが、令和6年度実績としては、昨年に比べ減少している。また、下水道事業（雨水）については裏町排水機場の事業進捗に遅れが生じていることから「やや遅れている」と評価とした。

### 施策を推進する上での課題

合併処理浄化槽の普及を促進させるためには、広報等によるさらなる周知が必要と思われる。  
 水道事業では、漏水調査の見直しを行うとともに、老朽配水管更新を早める必要があるが、事業経営の健全性を損なわないよう、効率化による経費節減も含めた財源の確保が課題である。  
 下水道事業（汚水）では、水洗化の普及啓発を図り、ストックマネジメント計画による汚水管渠の維持管理を計画的に行う必要がある。また、下水道区域外の世帯数が減少しているため、合併処理浄化槽の新規設置数は伸び悩んでいる。  
 下水道事業（雨水）では、角田市防災・減災構想に基づく浸水対策の事業スケジュールが過密（裏町、左関、野田）しており、事業進捗に遅れが生じている。

### 今後の取組(対応)方針

公共用水域の水質汚濁防止、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、合併処理浄化槽設置費用の一部を補助する。  
 宮城県や関係機関と連携を図り、合併処理浄化槽の普及促進を行う。  
 水道事業では、重要給水施設に係る老朽配水管の更新については国補助金も活用しながら、AIによる配水管劣化診断等により管路更新の優先順位を策定し施設の更新・耐震化を加速させる。また、ブロック化した配水エリアに流量計を設置し漏水の早期発見に努める。  
 生活排水による公共用水域の水質汚濁防止、生活環境の保全、公衆衛生の向上を図るため浄化槽設置費用の一部を補助する。  
 下水道事業（雨水）では、角田市防災・減災構想に基づき、スケジュール通りに浸水対策を行う。なお、裏町排水機場の改築工事は令和10年度にポンプ場の供用開始を目指す。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	浄化槽整備事業	生活環境課	8,213	事業概要 生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、浄化槽設置費用の一部を補助する。 事業実績 浄化槽 15基 補助額 5,606千円
2	老朽配水管更新事業 (配水管布設替工事)	上下水道事業所	102,946	事業概要 老朽化した配水管の布設替工事 事業実績 旭町4号線外3カ所 L=1158.7m
3	雨水施設建設事業(裏町排水区基本設計業務委託)	上下水道事業所	7,204	事業概要 浸水被害を防止するため、雨水排水対策を行う。 事業実績 裏町排水区排水機場の基本設計業務
4	雨水施設建設事業(野田雨水調整池地質調査業務委託)	上下水道事業所	44,680	事業概要 浸水被害を防止するため、雨水排水対策を行う。 事業実績 野田排水区雨水調整池の地質調査
5				事業概要 事業実績

# 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	6	節	3	項	1
第6次長期総合計画における体系	第6章	都市基盤・生活環境			施策担当部署	総務課 生活環境課 農林振興課			
	第3節	生活環境の向上							
	第1項	脱炭素社会の形成			評価担当部署	生活環境課			
施策の方向性・目指す姿	●角田市環境基本計画に基づき、環境に配慮する行動と意識の高揚を図り、脱炭素社会※の実現を目指します。								
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市全体が環境に配慮したまちづくりを進めるため、学校や各地区などにおける環境学習会を開催します。</li> <li>●公共施設における照明器具のLED化等、省エネルギー対策を推進します。</li> <li>●広報紙やホームページを活用し、省エネ、節電、徒歩や公共交通機関の利用等、COOLCHOICE（地球温暖化対策のための賢い選択）の普及・啓発を行い、地球温暖化対策を推進します。</li> </ul>								
横断的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境に関する出前講座※や小学生を対象とした環境学習会を実施し、子ども達の環境問題への関心を高めます。</li> <li>●市民の省エネ家電の購入や次世代自動車等、環境に配慮した製品の購入を促進します。</li> <li>●農業者の耕畜連携※を通じた資源循環型農業を推進することにより、有機農業※の里づくりに努めることで、環境にやさしい農業を目指します。</li> </ul>								
KPI(重要業績評価指標)の達成状況									
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	環境に関する出前講座・学習会の参加者数				30.0 %	420 人	520 人		
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/		
	148 人	336 人	82 人	126 人	人	人			
2									
3									
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果									
<p>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</p> <p>令和6年度は「環境シンポジウム」を開催。宮城大学の教授による講演や学生らによる研究活動報告を通じて、脱炭素社会の実現に向けた市民意識の啓発が図られた。その一方で、環境学習会や出前講座については、関係機関との連携不足等により、参加者数が伸び悩んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○環境シンポジウム 103人</li> <li>○市民環境学習会 23人</li> </ul>									
<p>【施策の成果】</p> <p>庁内の取り組みとして、温室効果ガス削減のための目標として、各施設または各課ごとに日常で重点的に取り組む省エネ行動実施計画を策定し実行した。</p> <p>令和6年3月に地球温暖化対策総合計画を策定し、本市の事務・事業における温室効果ガスの適切な把握や、数値目標を達成するための取り組みを検討し、実施することとした。</p> <p>環境シンポジウムや環境学習会の開催により、脱炭素社会の実現に向けた市民意識の啓発が図られた。</p> <p>省エネ設備の導入に対する補助事業を実施したことにより、地球温暖化の防止と環境意識の高揚が図られた。</p> <p>県が実施する再エネ施設の共同購入事業を市民及び市内事業者へ周知することで、再エネ施設の導入が促進された。</p> <p>環境保全型農業直接支払交付金事業を活用し稲作における化学肥料及び化学合成農薬を5割以上低減する活動とたい肥を施用する取組みを約240ha実施し、農地土壌への炭素貯留に効果の高い営農活動の推進を図った。</p>									

R5 施策評価	やや遅れている	R6施策評価 (内部)	やや遅れている	➡	R6施策評価 (推進委員会)	
------------	---------	----------------	---------	---	-------------------	--

### 施策評価の理由

地球温暖化対策総合計画(事務事業編)に掲げた施策である、LED照明の導入や、改修事業時のZEB化、再生可能エネルギーの調達、電動車の導入など、目標の達成を目指し進めている。

農業関係については、環境保全型農業直接支払交付金事業を活用し稲作における化学肥料及び化学合成農薬を5割以上低減する活動とたい肥を施用する取組みを約240ha実施し、農地土壌への炭素貯留に効果の高い営農活動の推進を図った。

市全体が環境に配慮する行動と意識の高揚を図るためには、環境学習会や出前講座によるさらなる普及・啓発活動が必要であるため「やや遅れている」と評価した。

### 施策を推進する上での課題

地球温暖化対策総合計画の数値目標を達成するため、取組の進捗管理に従った体制構築や取り組みなどを進めていくことが必要となっている。

環境学習会や出前講座については、少子化及び市内小学校の統廃合による対象者の減少の影響は無視できないものである。これまでは小学校4年生を中心に環境学習会を開催してきたが、他の学年でも学習会が実施できるよう各学校と連携を図る。

市民向けの環境学習会については、角田市環境衛生組合連合会と連携し実施をしているが、参加者が減少している。参加したいと思っただけの企画立案が課題となる。

地球温暖化対策総合計画による推計では、市内の温室効果ガスの排出量に占める製造業の排出量が全体の約55%を占めることから、企業に対する省エネ機械や再エネ技術等の普及・啓発策が必要である。

農業者の高齢化に伴い、たい肥散布に係る労働力の確保が難しくなっていることに加え、資材価格高騰に伴いたい肥散布の労働力に見合った所得が得られないことが課題となっている。安心・安全な農産物として付加価値の高い農産物を消費者にも理解してもらったうえで販売価格に転嫁できるような仕組みが必要である。

### 今後の取組(対応)方針

庁内の取り組みに関しては、各課及び各指定管理者から推薦された温暖化推進員による省エネ行動取組みの指示や、実施状況の確認・記録・報告を行う。地球温暖化対策総合計画については、取組みの進捗管理の仕組みに従い進めていく。

引き続き環境学習会を行うとともに、市民の環境に対する関心を高めていく必要がある。脱炭素への取り組み自体が生活上のメリットにもつながることを意識していただくため、策定した「角田市地球温暖化対策総合計画」に基づき具体的な取り組みを周知する。

また、「スマートエコライフ推進事業」では令和6年度から対象施設として「LED照明器具」を追加したが、令和7年度から新たに「木質バイオマスストーブ」を追加。さらなるCO2削減を推進していく。

県が進める太陽光発電設備等共同購入事業について、市民・事業者への周知、情報発信についても積極的に行う。

農業関係については、環境保全型農業直接支払交付金事業による炭素貯留に効果の高い営農活動の推進を図るとともに、新規事業として園芸作物を対象とした資源循環型農業に取り組むこととし、農業の館等のたい肥や有機質肥料による土地づくりを実施する。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	地球温暖化対策事業	生活環境課	3,727	<p>事業概要 環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画の進捗管理により、市民・事業者とともに、二酸化炭素排出量実質ゼロの実現を目指すため、再生可能エネルギー導入を推進する。</p> <p>事業実績 スマートエコライフ推進事業 実績:太陽光21件・蓄電池25件 給湯器19件・LED49件 補助額:3,057千円</p>
2	環境保全型農業直接支払交付金	農林振興課	7,383	<p>事業概要 化学肥料・農薬を5割以上低減する取組みとカバークロープ(緑肥)や堆肥を施す取組み等を併せて行う農業者の組織する団体に対し支援するもの。</p> <p>事業実績 取組概要 堆肥散布 4団体 240ha 緑肥等 2団体 78ha</p>
3	水田農業振興事業	農林振興課	9,663	<p>事業概要 ふるさと安心米生産組合協議会が実施するたい肥の共同散布にかかる経費の一部を助成</p> <p>事業実績 散布面積 154ha</p>
4				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
5				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度					令和6年度	章	6	節	3	項	2
第6次長期総合計画における体系	第6章	都市基盤・生活環境				施策担当部署	生活環境課				
	第3節	生活環境の向上									
	第2項	循環型社会の形成				評価担当部署	生活環境課				
施策の方向性・目指す姿	<p>●ごみの減量化、再利用、再資源化を促進し、ごみを発生させない習慣を定着させるとともに、限りある資源を無駄にしないために、資源を効率的に活用し循環させながら持続して使い続ける循環型社会を目指します。</p>										
主な施策	<p>●ごみの分別・ごみの出し方等に関する出前講座※を開催します。                  ●ごみ分別アプリの普及など、ごみの出し方や分別について啓発を行い、ごみの減量化に関する市民の意識を高めます。                  ●家電4品目や小型家電の再資源化が促進され、レアメタル※等の資源が有効活用されるように普及啓発を行います。</p>										
横断的な取り組み	<p>●学校等関係機関と連携した環境学習会を開催します。                  ●角田市環境衛生組合連合会と連携し、集積所でのごみの分別指導を促進し、ごみの減量化に取り組みます。</p>										
KPI(重要業績評価指標)の達成状況											
1	指 標 名					達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
	市民一人1日当たりのごみの排出量					97.4 %	860 g	800 g			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/				
	919 g	967 g	891 g	883 g	g	g					
2	指 標 名					達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
	ごみのリサイクル率					72.2 %	18.0 %	20.0 %			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/				
	15.0 %	13.0 %	14.0 %	13.0 %	%	%					
3	指 標 名					達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/				
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果											
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b></p> <p>1. ごみの排出量については、過去5年の排出量の中で最小となった。これまで取り組んできたゴミ分別出前講座や環境学習会等の成果がでてきたものと考えられる。</p> <p>2. ごみのリサイクル率については、平成23～29年度までは18～20%で推移していたが、平成30年度以降は13～15%となっている。これは市内のスーパー等で実施している資源リサイクル事業での回収も影響していると推測される。</p> <p><b>【施策の成果】</b></p> <p>家電回収イベントの実施や市民向けのごみ処理施設見学会を実施するなど、ごみ分別の意識付けを図った。                  角田市環境衛生組合連合会と連携し、集積所に掲示する分別シールの配布を行い、より分別意識を高める活動を行った。</p>											



### 施策評価の理由

ごみの排出量の推移やリサイクル率の傾向を考慮し「概ね順調」と評価した。

### 施策を推進する上での課題

ごみの排出量削減、リサイクル率の向上のためには、家庭でのライフスタイルの見直しと実行が必要なこともあり、引き続き、市民一人ひとりの意識を高めるため広報等を活用し周知を行う。

### 今後の取組(対応)方針

出前講座等の開催や広報・HPでの周知により、ごみの減量・再利用・分別等を促進し、ごみを発生させない習慣の定着を図る。

ごみの排出量削減・リサイクル率の向上のためには「食品ロスの削減」「ごみ分別による再資源化」を図る必要があるため、広報・HPで積極的な広報活動を行い市民への周知を図るとともに、学校等関係機関と連携した環境学習会を開催する。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	ごみ収集運搬事業	生活環境課	71,753	事業概要 家庭系一般廃棄物の収集運搬を行い、生活環境を清潔にし、自然環境及び生活環境を保全する。 事業実績 一般廃棄物収集運搬業務委託 (R5~R7)
2	環境衛生一般管理費	生活環境課	12,587	事業概要 環境衛生に関する一般管理を行う。 事業実績 ・生活環境推進員謝礼 93名 ・ごみ分別指導シール作成 12,000枚
3				事業概要 事業実績
4				事業概要 事業実績
5				事業概要 事業実績

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度					令和6年度	章	6	節	3	項	3
第6次長期総合計画における体系	第6章	都市基盤・生活環境				施策担当部署	生活環境課				
	第3節	生活環境の向上									
	第3項	環境衛生の向上				評価担当部署	生活環境課				
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民、事業者、行政等が協力し、不法投棄の防止、環境美化の向上、水質の保全等、快適に暮らせる環境づくりに取り組みます。</li> <li>●環境美化に関するマナー・モラルの向上を目指します。</li> </ul>										
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看板設置や広報紙等によりごみのポイ捨てや不法投棄、ペットのふん害等に対する環境美化に関するマナーの意識啓発を推進します。</li> <li>●管理不全な空き地や空き家の所有者に対し、適正な管理を指導するとともに、関係各課との連携を図り、空き家問題に取り組みます。</li> </ul>										
横断的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●角田市環境衛生組合連合会と連携し、市内一斉クリーン作戦を行います。</li> <li>●県や関係機関との連携を図り、不法投棄パトロールを行います。</li> <li>●不法投棄の発見・通報時は、土地の所有者等や関係機関と連携し、迅速な対応処理に努めます。</li> </ul>										
KPI(重要業績評価指標)の達成状況											
1	指 標 名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値				
	不法投棄の通報を受けた件数				74.5 %	41 件	36 件				
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/				
	46 件	56 件	48 件	55 件	件	件					
2							/				
3							/				
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果											
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b>            道路や河川、空き地、空き家、農地といった場所での不法投棄は後を絶たず、令和5年度から7件増加している。タイヤの不法投棄件数が、令和5年度が7件であるのに対し、令和6年度では21件(3倍)に増加していることが大きな要因である。</p> <p><b>【施策の成果】</b>            市内一斉クリーン作戦を始め、看板やごみ分別シールの配布、広報活動を行い環境衛生の向上に努めた。管理不全の空き地や空き家の所有者への通知も行き、啓発活動を通じて環境保全に対する市民の意識を高めた。</p>											

R5 施策評価	やや遅れている	R6施策評価 (内部)	やや遅れている	R6施策評価 (推進委員会)
------------	---------	----------------	---------	-------------------

### 施策評価の理由

不法投棄されたごみの多くが集積所に出せるものであるため、環境美化に関するマナー・モラルの更なる向上が必要であることから「やや遅れている」と評価した。

### 施策を推進する上での課題

不法投棄の内容としては、家電などの粗大ごみに代わり、集積所に出せるような家庭ごみが多くなっている。道路脇や水路におけるタイヤの不法投棄も増加傾向にある。また、空き地や空き家については、市外所有者による不適正管理が目立っている。管理依頼の通知を送付するも、遠方であることや相続問題などにより、対応までに多くの時間を要する。

従来の啓発方法にとらわれない、ライフスタイルの変化に合わせた取り組み手法の検討が必要。

### 今後の取組(対応)方針

ポイ捨て、不法投棄は後を絶たず、市の回収だけでは対応できないため、環境保全意識を啓発し、市民、事業者が自主的に取り組める体制づくりや活動に対する支援を行う。

角田市環境衛生組合連合会や各地区振興協議会と連携し、ごみ減量のための研修会等を開催する。

市内一斉クリーン作戦を中心とした「市民参加型」の活動を推進し、啓発記事を広報誌・HPに掲載することで、環境保全活動に取り組む参加者を増やしていく。

不法投棄が多い場所への看板設置や監視カメラの貸出を継続して実施し、不法投棄の発見・通報時は、土地の所有者や関係機関と連携し、迅速な対応に努める。

管理不全な空き地などの所有者に対し適正な指導を継続して行う。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	環境保全対策推進事業	生活環境課	811	<p>事業概要 不法投棄対策や市内一斉クリーン作戦、環境学習会等の開催により、環境美化やリサイクルなど快適に暮らせる環境づくりの取り組みを推進する。</p> <p>事業実績 ・不法投棄タイヤ処理 14本            ・不法投棄監視カメラ購入 1台            ・家庭ごみ集積所用標示シール 500枚作成</p>
2				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
3				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
4				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
5				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	6	節	3	項	4	
第6次長期総合計画における体系	第6章	都市基盤・生活環境				施策担当部署	生活環境課			
	第3節	生活環境の向上								
	第4項	安心して暮らせる生活環境の整備				評価担当部署	生活環境課			
施策の方向性・目指す姿	<p>●高齢化やグローバル化、情報通信技術の発展など、消費者を取り巻く環境が大きく変化する中、消費者トラブルの未然防止が図られるように啓発及び相談体制の強化を図り、誰もが安心して生活を送ることができる環境づくりに取り組みます。</p>									
主な施策	<p>●被害者事例や防止策などの情報収集を行い、広報紙やホームページ等を活用して情報を提供し、被害の未然防止に努めます。                  ●消費生活相談員の専門的な知識や技能の習得のため、研修会などへの参加を推進し、相談対応機能の向上に努めます。                  ●法律相談、人権相談、行政相談など身近な生活上の悩みを気軽に相談できる環境の整備に努めます。</p>									
横断的な取り組み	<p>●市民からの相談に対し、問題を早期解決するため、関係機関との連携強化を図ります。</p>									
KPI(重要業績評価指標)の達成状況										
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
	消費者被害防止等に関する出前講座※・学習会の参加者数				0.0 %	60 人	120 人			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/			
0 人	56 人	107 人	0 人	人	人					
2							/			
3							/			
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果										
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b>                  令和6年度においては、出前講座や学習会の依頼が無く達成率0%となった。出前講座が受け身の施策であることや、関係機関との連携不足が原因と思われる。</p>										
<p><b>【施策の成果】</b>                  出前講座や学習会の依頼が無かったものの、消費生活相談件数については前年度に比べ18件増加しており、専門の相談員を配置し対応していることで、消費生活問題の早期解決につながった。                  各相談をとおして市民の悩みごとや困りごとに対する支援を行い、市民生活の安定が図られた。                  広報かくだの「くらしの情報」コーナー、HP等で時勢に沿った消費者問題等を毎月掲載。情報発信やトラブルの未然防止につながる啓発を行うことで、市民の利益擁護を図ることができた。</p> <p>参考 ○消費生活相談 83件                  ○法律相談 42件                  ○人権・行政相談 28件</p>										

R5 施策評価	概ね順調	R6施策評価 (内部)	やや遅れている	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
消費者トラブルを未然に防止するためには、被害者事例や防止策などを広く市民に周知することが必要である。そのため、出前講座等による啓発活動を毎年安定して実施する必要があることから「やや遅れている」と評価した。					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
情報提供については、広報誌やHPを利用し広く市民に行き渡よう周知活動を行っている。一方で、出前講座による啓発活動については、受け身である点や年度によりばらつきがあることなどから、自治センター及び学校等と連携し、主体的に取り組む必要がある。					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
市内のスーパーやコンビニ等にポスターを掲示し、県・市等に相談窓口があることを積極的に周知する。 市民相談員の知識向上のため、研修会への積極的な参加に努める。 市民からの相談に対し、問題を早期解決するため、関係機関との連携強化を図る。 関係機関との連携を図りながら、出前講座や学習会の場を設ける。					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	消費生活相談事業	生活環境課	2,539	事業概要	市民の消費生活における被害を防止し、その安全を確保するため消費生活相談等を行う。
				事業実績	市民相談員(会計年度任用職員) 1名配置
2				事業概要	
				事業実績	
3				事業概要	
				事業実績	
4				事業概要	
				事業実績	
5				事業概要	
				事業実績	

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度					令和6年度					章	7	節	1	項	1
第6次長期総合計画における体系	第7章	行財政経営								施策担当部署	総務課				
	第1節	市民に開かれた行政を目指して													
	第1項	広報活動による情報発信								評価担当部署	総務課				
施策の方向性・目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広報紙をはじめ、ホームページやSNS※などと連動した情報発信を行うことで、「伝わる」ことを意識した広報を進めます。</li> <li>● 市民力を発揮できる環境づくりを進めるため、広報活動等によって、行政情報を市民と共有し、市民のまちづくりに対する関心を高め、まちづくりへの参画を促進します。</li> </ul>														
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広報紙「広報かくだ」を一層見やすく、分かりやすい紙面構成にするとともに、市民が必要としている情報の把握に努め、市民に伝わる広報紙づくりを行います。</li> <li>● デジタル社会の進展に伴う市民の情報格差を縮小するため、広報紙やホームページ、SNS、新聞など多様な媒体を活用し、広報活動を充実させるとともに、効果的な発信に努めます。</li> </ul>														
横断的な取組み															
KPI(重要業績評価指標)の達成状況															
1	指 標 名					達成率		R8年度 (前期)目標値		R13年度 (後期)目標値					
	広報活動による情報発信に対する市民の満足度					122.0 %		60.0 %		70.0 %					
	初期値 (R2年度)		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度				
	56.8 %		- %		- %		73.2 %		%		%				
2															
3															
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果															
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b>          令和2年度にホームページのリニューアル、令和3年度に市公式You Tubeの開設、また、PR大使が市内外で活動したことにより満足度が上昇したと考えられる。</p> <p><b>【施策の成果】</b>          「広報かくだ」においては、特集「キラリと光るかくだ星」を企画し、「市で活躍する人や団体」を取り上げた記事を掲載することにより、本市への愛着の醸成を図った。また、市ホームページ及びフェイスブック、市公式YouTubeを活用し、本市のイベントや市政情報等を発信し、行政情報の共有、市民のまちづくりに対する関心を高め、まちづくりへの参画を促した。さらに、市PR大使がテレビや新聞などで活躍することで、県内外へ市のPR活動を推進した。</p>															

R5 施策評価	概ね順調	R6施策評価 (内部)	概ね順調	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
広報活動による情報発信に対する市民の満足度調査が令和2年度から比べて上昇したことやPR大使の今後のさらなる活用による広報活動が引き続き進めることができると考えたため。					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
市民の情報格差を縮小し、幅広い世代に情報を提供するための広報のあり方について検討が必要。また、多様な広報媒体を活用するうえで、情報発信を行う各課担当者が広報媒体ごとの特性を知った情報発信が求められる。					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
「伝わる」ことを意識した広報を進め、幅広い世代に情報を提供するために広報媒体を見直し、広報媒体の特性を理解した情報発信に務めることで、広報活動の充実を目指す。					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	広報一般管理費	総務課	1,969	事業概要 市ホームページやPR動画の作成等	事業実績 市ホームページを活用した市政情報の発信。市公式YouTubeで、魅力や活動を紹介する市のPR動画を配信した。
2	広報かくだ作成	総務課	6,451	事業概要 広報かくだの作成	事業実績 広報かくだを毎月1回発行し、全世帯に配布した。
3				事業概要	事業実績
4				事業概要	事業実績
5				事業概要	事業実績

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度					章	7	節	1	項	2
令和6年度					第7章	行財政経営				施策担当部署 総務課
第6次長期総合計画における体系					第1節	市民に開かれた行政を目指して				
					第2項	広聴活動の推進				評価担当部署
施策の方向性・目指す姿		<p>●幅広い年齢層や職業、地域からの声を聴くための広聴体制を充実させ、市民からの要望や意見の収集と整理・分析に努め、市政に反映します。</p>								
主な施策		<p>重① 市民の市政参加の重要な機会として、行政と市民との意見交換を行う「まちづくりカフェ」や「若者会議」などを実施します。                  ●市政全般にわたる意見や要望などについて、より広い市民の声を市政に反映できるよう、直通便やメールによる「市政への提言」事業を実施します。                  ●各種計画の策定や規則の制定に当たり、市民の意見や提言などを的確に把握し、事業や計画に反映させるため、インターネットなどを利用したパブリックコメントを実施します。</p>								
横断的な取組み										
KPI(重要業績評価指標)の達成状況										
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値		R13年度 (後期)目標値		
	「まちづくりカフェ」や「若者会議」などの実施回数				233.3 %	6 回		8 回		
	初期値 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	\				
	0 回	12 回	5 回	14 回	回					
2										
3										
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果										
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b>                  まちづくりカフェを2回、若者会議を2回、合同交流会を1回実施した。また、まちづくり懇談会を9地区で実施したため、目標値を上回って達成できた。</p> <p><b>【施策の成果】</b>                  市民を対象とした「まちづくりカフェ」と角田高校生を対象とした「若者会議」を開催。どちらも「まちづくり(商店街)」をテーマに、対話を重視した手法で多様な意見と参加による気づきを引き出すなど、まちづくりに参加できる環境づくりを進めた。                  また、市政全般にわたる意見や要望などについては、まちづくり懇談会、市長への直通便及びメールにより、市民からの多種多様な要望や意見を収集し、市政への反映に努めた。</p>										



**施策評価の理由**

まちづくりカフェを2回、若者会議を2回、まちづくりカフェと若者会議の合同交流会を1回、まちづくり懇談会を9地区で実施。市民が市長へ直接意見を提言する機会の場を設けた。また、「まちづくりカフェ」と「若者会議」では、対話を重視した手法で多様な意見と参加による気づきを引き出すなど、まちづくりに参画するきっかけづくりを推進した。

**施策を推進する上での課題**

広聴活動を通して、地域課題について主体的に考え取り組む行動力を育めるようにするため、まちづくりに参加しやすいテーマ、対象及び手段の選択が課題となっている。

**今後の取組(対応)方針**

令和8年度の目標値6回を目指し、市民と共に地域課題について主体的に考えることができる環境づくりを進める。

**推進事業一覧**

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	広聴関係事務	総務課	538	<p>事業概要 市長への直通便、メール、まちづくりカフェ、若者会議、まちづくり懇談会の実施</p> <p>事業実績 直通便29件、メール36件を受け付けた。まちづくりカフェ2回、若者会議2回、合同会議を1回実施。まちづくり懇談会9地区で実施した。</p>
2				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
3				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
4				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>
5				<p>事業概要</p> <p>事業実績</p>

# 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度		令和6年度		章	7	節	2	項	1
第6次長期総合計画における体系	第7章	行財政経営			施策担当部署	総務課 財政課 税務課 企画デジタル課			
	第2節	持続可能な行財政経営				評価担当部署	企画デジタル課 財政課 税務課		
	第1項	効率的な行政経営を目指して							
施策の方向性・目指す姿	●本市の厳しい財政状況を踏まえ、限られた経営資源を最大限に活用して、社会環境の変化に伴って多様化・複雑化する社会ニーズに対応するとともに、将来にわたって持続可能な行財政経営を推進します。								
主な施策	<p>重③ 廃校等の既存施設の利活用の方向性について、地域・行政・民間事業者等が連携して検討することで、地域コミュニティ活動や企業誘致・起業支援の拠点として活用できるよう、環境整備を進めます。</p> <p>●長期総合計画について、数値目標及び重要業績評価指標(KPI)を重点化して設定し、事業・予算執行担当部署が常に計画の進行管理・評価を意識することで、成果を重視した事業執行を目指すほか、市民・評価組織・議会からの評価結果等について、次年度以降の予算編成等へ活用し、適切に反映させます。</p> <p>●経常収支比率※の改善に向け、事務事業の見直し、投資的経費の抑制、公共施設等の統廃合及びPPP(官民連携)の活用等により経常的支出の削減を図るとともに、中長期的には、企業誘致の実現等を図り、経常的収入(税収等)を確保します。</p> <p>●収納対策による税収等の確保はもとより、ふるさと納税※、企業版ふるさと納税及び未利用公有資産売却等による税外収入(臨時的収入)の確保にも努め、稼ぐ市役所を推進します。</p> <p>●効率的で機動的な組織体制の構築や職員数の適正化、ICTの積極的な活用や行政手続のオンライン化等をはじめとする市役所のDX※(デジタル・トランスフォーメーション)の推進により、事務省力化や業務効率化を図り、時代に即した簡素で効率的な行政経営を目指します。</p>								
横断的な取り組み									
KPI(重要業績評価指標)の達成状況									
1	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	行政全体に対する満足度				87.1 %	49.5 %	65.0 %		
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/		
	34.0 %	-	-	43.1 %	%	%			
2	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	経常収支比率				0.0 %	97.3 %	95.8 %		
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/		
	98.8 %	99.7 %	98.7 %	出納閉鎖後 数値確定 %	%	%			
3	指標名				達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値		
	市税収納率				0.0 %	97.7 %	98.0 %		
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	/		
	94.6 %	94.8 %	95.1 %	出納閉鎖後 数値確定 %	%	%			
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果									
<p>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</p> <p>1. 市民アンケート調査の結果、市民の「行政全体に対する満足度」は43.1%となった。初期値34.0%から約9ポイント上昇したものの、R8年度の前期目標値に対し達成率は87.1%となっている。R4年度からスタートした第6次長期総合計画に掲げる各種施策の効果がまた十分に表れてきていないものと考えられる。</p> <p>2. 出納閉鎖前のため、数値未確定。</p> <p>3. 出納閉鎖前のため、数値未確定。</p> <p>【施策の成果】</p> <p>庁内の組織体制、職員数の適正化については、専門・技術職の配置が整っていないが、任期付き職員及び会計年度任用職員の配置により、一定程度補完されている。また、行政課題に対するニーズに合わせ組織改編を行った。</p> <p>廃校等の利活用では民間事業者による旧東根小の利活用をR7年1月から開始することができた。また、旧藤尾小でも利活用事業の募集を行い、審査会を経て優先交渉事業者を決定、基本協定を締結した。</p> <p>職員提案制度を活用し、業務改善の取組実績や、業務改善アイデア等を庁内全体で共有し、評価することにより積極的な事務事業の見直しを行う意識を高められた。令和7年4月からの市営住宅の管理委託に向けて、事業者と管理委託に関する協定の締結を行った。総合体育館のネーミングライツパートナー契約を締結した。令和6年度のふるさと納税は49億円超を見込んでいる。</p> <p>市税等の現年分については、納付しやすい環境を整えるなど、収納率の向上に努めた。また、滞納分については、効果的、効率的な滞納整理事務を行った。</p>									

R5 施策評価	やや遅れている	R6施策評価 (内部)	やや遅れている	➡	R6施策評価 (推進委員会)
------------	---------	----------------	---------	---	-------------------

### 施策評価の理由

行政全体に対する満足度が43.1%と、半数に満たない状況であり、満足度を上げる施策の成果が出てくるのはこれからだと考えている。廃校等の利活用については、課題も多く思うように進んでいない。  
 職員提案制度を利用して事務事業の見直しの意識を高め、経常的経費の抑制に努めた。また、ふるさと納税寄附額は過去最高額となるなど税外収入の確保に努めた。  
 市税等の納付について、令和6年度は、従来の固定資産税等に加え、市民税（普通徴収）、国民健康保険税の納付書に全国統一のQRコードを記載した電子決済等による納付方法を導入した。スマホアプリ・クレジットカード納付等納税しやすい環境を整え、収納率の向上に努めた。その結果、収納率が向上した。しかしながら、目標達成に向けてはさらなる取り組みが必要である。

### 施策を推進する上での課題

業務のマニュアル化や研修等を通じ、職員のスキルアップや、デジタル技術を活用し、業務の効率化を図る必要がある。また、近年、業務内容が複雑化しており、これまでの組織の枠を超えた連携を考えていく必要がある。  
 民間での利活用を図る旧東根小、旧藤尾小、旧枝野小については進んでいるが、公共公用での活用を模索する旧小田小と旧西根小については、財源の確保等の課題もあり具現化できていない。  
 指標としている経常収支比率は、全庁的な事業の実施状況の結果に基づく数値なので、改善のためには、事業を行う全ての部署が同じ方向性で取り組む必要がある。いかに経常的支出額を削減するか、経常的収入額を増やしていくかを常に意識した抜本的な事業見直しが必要となっている。  
 市税等の徴収については、徴収担当職員の専門知識などの蓄積やノウハウの継承に課題がある。  
 滞納件数が多い中、限られた徴収担当職員で効率的な滞納整理を進めなければならない。

### 今後の取組(対応)方針

庁内の組織体制については、行政ニーズ及び業務内容を把握しながら、組織改編を行っていく。一方、現行の定員適正化計画では、多様化する行政ニーズに対応できない部署も多く、会計年度任用職員等の配置により対応しているが、全庁的に時間外勤務が増えていることから、業務の見直しと併せて計画定員の見直しを図っていく必要がある。  
 旧小田小、旧西根小の利活用について、財源等を含め具体的に活用案を検討していく。  
 長期総合計画については、重要業績評価指標（KPI）を令和6年度決算資料「主要施策の成果」へ掲載し、議会からの評価を行う。また、計画の進行管理・評価を長期総合計画推進委員会で行い、その結果を実施計画や予算編成等へ活用し、成果を重視した事業執行につなげる。評価結果を実施計画に結び付ける方策を検討する。  
 職員提案制度について、令和7年度は審査基準等の見直しを行いながら引き続き実施していく。老朽化した公共施設の、廃止・統廃合について検討を進める。市民センターについて、公募による指定管理制度の導入の検討を継続して行う。新たな公共施設のネーミングライツパートナーの募集を行う。  
 ふるさと納税では、クラウドファンディングを行うとともに、市内業者等との協力体制のもと新たな返礼品の掘り起こしを進め、さらなる寄附受納額の確保に努める。  
 市税等の納付については、QRコードを記載した電子決済、スマホアプリ・クレジットカード納付等納税しやすい環境を整え、収納率の向上に努めていく。

### 推進事業一覧

No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績
1	職員研修事業	総務課	4,659	事業概要 市職員への各種研修 事業実績 職務ごとの管理者や中堅職員、新規採用職員対象の研修や条例や行政法といった専門研修を職員に受講させ、実務知識や能力の向上を図った。
2	企画一般管理費	企画デジタル課	581	事業概要 (廃校等の利活用) 民間事業者からの利活用事業の提案募集及び審査、公共公用での利活用に関する調整・検討を行う。 事業実績 旧東根小で民間事業者による利活用が開始。旧藤尾小では事業者からの事業提案、審査及び選定を行い、優先交渉事業者を決定した。
3	行政改革推進事業	財政課	292	事業概要 第5次行財政集中改革プランに基づく行財政改革を推進に関すること 事業実績 ・職員提案制度の実施 アイデア提案部門 提出件数：13件 改善実績提案部門 提出件数：5件 ・「ネーミングライツ」制度導入 契約締結施設：1施設 契約期間：R6.7.1～R11.6.30
4	ふるさと納税事業	財政課	4,862,302	事業概要 ふるさと納税寄附金の受納に関すること 寄附額増額へ向けた取り組み実施に関すること 事業実績 ・返礼品の調達、送付 ・新規返礼品の追加、提供事業者の追加 ・広告の実施による特産品の周知強化
5	収納消し込みに関する事務	税務課	16,824	事業概要 納付環境の整備を図る。 事業実績 ・コンビニ・共通納税取扱件数、取扱金額 R6年度：

## 第6次長期総合計画 前期基本計画 分野別施策評価シート

評価対象年度					令和6年度	章	7	節	2	項	2
第6次長期総合計画における体系	第7章	行財政経営				施策担当部署	企画デジタル課				
	第2節	持続可能な行財政経営									
	第2項	DXによる新しい行政の確立				評価担当部署	企画デジタル課				
施策の方向性・目指す姿	<p>●「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」(令和2(2020)年12月25日閣議決定)において示されたデジタル社会のビジョンの実現のために、デジタル技術やデータを活用し、市民の利便性の向上や行政事務の効率化を図り、人的資源を行政サービスのさらなる向上につなげます。</p>										
主な施策	<p>●個々の手続・サービスが一貫してオンラインで完結できるよう、マイナンバーカード※を利用した電子申請やコンビニ交付の導入を進め、市民の利便性の向上を図ります。                  ●市の業務におけるペーパーレスや電子決裁をさらに推進するとともに、AI・RPA※等のデジタル技術を活用し、行政コストの削減を図ります。</p>										
横断的な取組み	<p>●自治体DX※(デジタル・トランスフォーメーション)の推進に向け、先進企業と連携協定を締結します。                  ●交付窓口の臨時開設等によりマイナンバーカードの普及推進を図るとともに、マイナンバーカードの利活用促進のため、マイナポータル※を通じて健康保険証として利用するための初期設定を支援します。                  ●社会の様々な分野において加速するデジタル化やオンライン化に的確に対応し、市民の利便性の向上や行政事務の効率化を図るための取組みを推進します。</p>										
KPI(重要業績評価指標)の達成状況											
1	指 標 名					達成率	R8年度 (前期)目標値	R13年度 (後期)目標値			
	行政手続のオンライン手続数					284.0 %	25 手続	100 手続			
	初期値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	\				
	1 手続	36 手続	59 手続	71 手続	手続	手続					
2								\			
3								\			
KPI(重要業績評価指標)の分析及び施策の成果											
<p><b>【KPI(重要業績評価指標)の達成状況の分析】</b>                  R6年度は71手続まで増やすことができ、R8年度の目標値25手続きに対し、達成率は284%となった。若い世代からの申請が多い部署で積極的にオンライン申請に取り組むことで、手続数を伸ばすことができた。</p>											
<p><b>【施策の成果】</b>                  マイナポータルの「ぴったりサービス」による電子申請のほか、市民が容易にオンライン申請が行えるようクラウド型のオンライン申請サービスやオンライン施設予約サービスを導入し、オンライン申請ができる手続を増やし、また、キャッシュレスで申請手数料等の支払いができるなど、市民の利便性向上と行政事務の効率化を実現した。</p>											

R5 施策評価	順調	R6施策評価 (内部)	順調	➡	R6施策評価 (推進委員会)
<b>施策評価の理由</b>					
R6年度は、子育て支援課、角田児童センター、生涯学習課でオンライン手続を開始したことで、対象となる若い世代を中心に市民の利便性の向上が図られた。既にKPIの前期目標値を達成し、かつ毎年手続数を増やしていることから順調と評価している。					
<b>施策を推進する上での課題</b>					
全庁向けにGrafferスマート申請の研修を行い、19課71手続まで手続を増やすことができたが、全国の先進自治体と比較すれば多くない。各担当課にいかにしてオンラン申請の有効性を理解させられるかが課題である。また内部の電子決裁も進んでいないことから、オンラインできた申請を印刷する手間があることもオンライン申請が進まない原因の一つと考えられる。					
<b>今後の取組(対応)方針</b>					
R7年度から内部の電子決裁が始まり申請書類を電子データとして添付する必要がある。オンライン申請であれば電子データをそのまま添付できるため職員の負担軽減につながるため、根気強く職員へオンライン申請の活用を周知していく。					
<b>推進事業一覧</b>					
No	推進事業名	担当課名	決算見込額 (千円)	事業概要及び実績	
1	デジタル改革推進事業	企画デジタル課	47,375	事業概要 国のデジタル化に対する方針、さらには自治体のDX化への推進要請等の状況を踏まえ、ICTの進展や、国の制度改正等に的確に対応する	事業実績 オンライン申請や書かない窓口など、各種サービスの安定運用及び自治体情報システム標準化への対応を実施
2				事業概要	事業実績
3				事業概要	事業実績
4				事業概要	事業実績
5				事業概要	事業実績

○第6次長期総合計画前期基本計画分野別施策に掲げる「KPI」達成状況一覧表

※令和5年度の評価における達成率は、実施計画前期の最終年度(令和8年度)で定める目標値までの進捗割合を示している。

※達成率の計算式は、「実績値が高いほど好ましい指標」=実績値/目標値、「実績値が低いほど好ましい指標」=目標値/実績値、としている。

※「指標名に【累計】と記載されている指標」=(実績値-現状値)/(目標値-現状値)

No	区分		指標名	担当課	現状値		R5		R6		目標値 中間(R8)	目標値 最終(R13)	実績値の分析	
	章	節			項	測定年 (度)	実績値	達成率	実績値	達成率				
1	1	1	1	消防団員の充足率	防災安全課	98.0 %	R2年度	84.3 %	84.3 %	89.2 %	89.2 %	100.0 %	100.0 %	令和6年4月からの消防団等選団者を対象とした機能別消防団員制度の導入を行い、団員の確保(充足率)に務めた。
2	1	1	2	地区防災計画を策定した行政区の数【累計】	防災安全課	0 地区	R2年度	16 地区	35.6 %	51 地区	113.3 %	45 地区	93 地区	地区としての地区防災計画を策定して頂くよう、各地区の区長定例会に出席し説明をしたことで策定に向けた動きがでてきた。
3	1	1	3	交通安全教室の参加者数	防災安全課	954 人	R2年度	1,162 人	58.1 %	2,108 人	105.4 %	2,000 人	2,000 人	幼児・児童数は減少しているが、開催回数が増えたことにより、交通安全教室の参加者数が微増した。
4	2	1	1	健康相談、健康教育の利用者数	健康推進課	4,417 人	R2年度	5,132 人	108.0 %	7,856 人	165.4 %	4,750 人	5,000 人	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の開始及び第3期データヘルス計画の取り組みにより、新規の健康教育事業を実施したため。
5	2	1	2	胃がん検診受診率	健康推進課	22.8 %	R2年度	24.4 %	101.7 %	24.6 %	102.5 %	24.0 %	25.0 %	R6年度の胃がん検診受診率(24.6%)は、R8年度(前期)目標値(24.0%)に達成しており、順調に受診率は伸びている。
6	2	1	3	市内産科医・小児科医数【累計】	健康推進課	0 人	R2年度	0 人	0.0 %	0 人	0.0 %	1 人	1 人	今年度は、業務委託により小児科を開設した場合の収入見込・支出見込を算出し、今後の人口減少等も考慮し分析を行った。分析の結果、補助を出すことにより市内に小児科を開設しても継続しているとの結果となった。令和6年度は小児科誘致に係る分析と補助制度の創設の段階であったため、小児科医の招聘には至っていない。
7	2	2	1	この地域で子育てをしたと思う親の割合	子育て支援課	89.6 %	R2年度	91.1 %	99.7 %	88.1 %	96.4 %	91.4 %	93.3 %	『健やか親子21アンケート結果』より ①3～5か月児健診 84.9% ②1歳6か月児健診 90.2% ③3歳児健診 88.1% ①～③の平均値 88.1% 令和6年度から「保育料」「学校給食費」の完全無償化を実施しているが、全体のアンケート結果としては前年度と比べ3%の減少となっている。年齢別の回答を見ると、完全無償化の影響を受けることが少ない「3～5か月児健診」でのアンケート結果が最も低くなっている。
8	2	2	2	待機児童数	子育て支援課	2 人	R2年度	0 人	100.0 %	0 人	100.0 %	0 人	0 人	待機児童対策として、令和4年度に市内に小規模保育施設を1施設誘致したことにより、待機児童の解消に寄与している。
9	2	2	3	学童保育・子どもの遊び場の充実に対する市民の満足度	子育て支援課	46.7 %	R2年度	- %	- %	51.4 %	107.1 %	48.0 %	50.0 %	各小中学校の余り教室等を利用した放課後児童クラブの実施及び地域子育て支援拠点事業の充実が市民の満足度の向上に寄与した。
10	2	3	1	地域づくりに関する住民向け研修会の参加者数	社会福祉課	124 人	R2年度	284 人	105.2 %	308 人	114.1 %	270 人	360 人	○民生委員・児童委員各地区定例会 88人 ○支え合いによる地域づくり研修会 130人 ○高齢者権利擁護講演会 60人 ○人口減少問題に関する講演会 30人 合計 308人 対前年比で見ると参加者は24人の増となっており、達成率も約9ポイント増えている。人口減少問題に関する講演会は、他部局主催であったが、多くの民生委員が関心を寄せ参加した。
11	2	3	2	介護予防活動応援事業参加者数	介護支援課	- 人	R2年度	579 人	72.4 %	679 人	84.9 %	800 人	800 人	令和6年度に通いの場の育成事業を拡充したこともあり、参加団体及び参加者数が増加した(R6年度未登録団体:52団体(前年度比11団体増))。

No	区分		指標名	担当課	現状値		R5		R6		目標値 中間(R8)	目標値 最終(R13)	実績値の分析	
	章	節			項	測定年 (度)	実績値	達成率	実績値	達成率				
12	2	3	2	新たに要支援・要介護認定を受ける方の平均年齢	介護支援課	82.5 歳	H30年度	83.5 歳	100.4 %	82.4 歳	99.0 %	83.2 歳	83.6 歳	前年度の実績値を下回った。単純に数値だけでは評価しきれない側面(制度周知が進んだことにより要支援の段階から認定を受ける人が増加等)があることから、多角的な視点をもって分析を継続したい。
13	2	3	3	シルバー人材センター会員数	介護支援課	453 人	R2年度	501 人	100.2 %	524 人	104.8 %	500 人	500 人	シルバー人材センターにおいて既存事業(高齢者サロンひだまりや、市内4地区で行っているいきいきサロン(百歳体操教室))において会員募集の周知を積極的に行い、会員数が目標値を達成することができた。
14	2	3	4	障害福祉サービス相談支援事業の利用者数	社会福祉課	250 人	R2年度	256 人	88.3 %	268 人	92.4 %	290 人	300 人	保護者の高齢化により、家族支援が難しくなった障害者の障害福祉サービス利用(グループホームへの移行や短期入所利用)が増えている。
15	2	3	4	地域活動支援センターの利用者数	社会福祉課	- 人	R3年度	- %	- %	- %	- %	20 人	20 人	地域活動支援センターについて他自治体の視察や情報収集を行っているが、担っていただけの事業者がなかなか見つからず難航している。
16	2	3	5	特定健康診査受診率	健康推進課	38.3 %	R2年度	42.3 %	94.0 %	45.3 %	100.7 %	45.0 %	50.0 %	受診票を世帯主から各個人あてに変更し通知したところ、各自が自分の健康状態を意識しやすく、受診率が高まった。
17	2	3	5	安心を支える制度の運用に対する市民の満足度	市民課	51.6 %	R2年度	- %	- %	60.8 %	110.5 %	55.0 %	60.0 %	国民健康保険料率の改正(増額)があったものの、税率改正に対する市民の問い合わせに丁寧に対応したことや、令和6年度から新たに実施した健診結果説明会等の取組みにより、安心を支える制度の運用に対する市民の満足度が高まったと考えられる。
18	3	1	1	農業産出額	農林振興課	560 千円	R1年	498 千円	84.7 %	528 千円	89.8 %	588 千円	616 千円	農業センサ結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果によるもの。増加の要因としては、米の概算金が上昇したことによるものと推測される。
19	3	1	1	イノシシによる被害農地面積	農林振興課	10.34 ha	R2年度	1.17 ha	683.8 %	1.19 ha	672.3 %	8.00 ha	6.40 ha	イノシシによる被害農地面積は、豚熱(伝染病)の発生によるイノシシの個体数減少に伴い被害面積が減少した。また、箱わなによる捕獲及び電気柵等設置による対策を行うことにより個体数の増加及び農作物被害を抑制している。
20	3	1	2	新規就農者数【令和4年度～令和13年度累計】	農林振興課	- 人	-	3 人	30.0 %	6 人	60.0 %	10 人	26 人	新規就農者を確保するため、角田市農業振興公社を窓口として、関係機関等(普及センター・JA)と連携し、農地の確保、資金相談など一貫した支援に取り組み、3名の新規就農に繋がった。
21	3	1	2	多面的機能支払交付金の交付対象活動組織数【累計】	農林振興課	40 団体	R2年度	42 団体	100.0 %	43 団体	150.0 %	42 団体	44 団体	多面的機能支払交付金対象活動組織についても、地域への声掛けや説明会を行い1組織の増加に繋がった。
22	3	1	3	基幹水利施設整備事業の進捗率	農林振興課	17.0 %	R2年度	87.5 %	91.1 %	91.7 %	95.5 %	96.0 %	100.0 %	江尻排水機場において除塵設備製作据付工事、ポンプ設備補修、4号吸水槽耐震補強工事を実施した。また、中谷地排水機場及び沼尻排水機場整備を実施し工事の進捗が図られた。
23	3	1	3	農地整備事業(尾袋川東地区等)の進捗率	農林振興課	0.0 %	R2年度	14.1 %	27.1 %	21.9 %	42.1 %	52.0 %	92.0 %	尾袋川東地区の農地整備工事が令和6年度に9.0ha実施され進捗が図られた。
24	3	1	3	再生利用可能な農地面積(1号遊休農地面積)	農業委員会事務局	25.1 ha	R2年度	68.0 ha	32.6 %	74.1 ha	30.0 %	22.2 ha	20.2 ha	農業を担う人々の高齢化が進み、後継者が不足しているため、イノシシなどの被害が山間部だけでなく平坦な地域にも広がっている。その結果、農地の適切な管理が難しい状況が続いている。また、利便性の低い農地については、借り手を見つけることができないという問題も抱えている。
25	3	1	4	森林経営管理制度を活用した森林整備(間伐等)実施面積【累計】	農林振興課	0 ha	R2年度	15.20 ha	16.9 %	23.60 ha	26.2 %	90 ha	180 ha	森林経営管理制度に係る担当職員を配置し事業の推進を行った。森林整備(間伐等)実施面積において、市内の事業者の実施可能な面積は年間8ha程度であるため、事業量の増加が難しい状況である。今後計画見直しの検討が必要である。

No	区分		指標名	担当課	現状値		R5		R6		目標値 中間(R8)	目標値 最終(R13)	実績値の分析	
	章	節			項	測定年 (度)	実績値	達成率	実績値	達成率				
26	3	2	1	商店街の共通イベント等の実施回数	商工観光課	3 回	R2年度	5 回	125.0 %	5 回	125.0 %	4 回	5 回	・第3回牟婭夏まつり(牟婭夏まつり実行委員会) ・美酒RUN飲食事業(商工会実行委員会) ・第14回牟婭ひなまつり(牟婭ひなまつり実行委員会) ・街なか店舗案内カード設置事業(商工会) ・どんと祭裸参り事業(商工会青年部)
27	3	2	1	空き店舗の活用数【累計】	商工観光課	1 店舗	R2年度	2 店舗	100.0 %	4 店舗	300.0 %	2 店舗	3 店舗	令和6年度 1店舗 リユース事業(角田宇町)
28	3	2	2	誘致企業数【令和4年度～令和13年度累計】	商工観光課	- 社	-	1 社	50.0 %	4 社	200.0 %	2 社	4 社	企業誘致のために、令和3年度から新たな産業用地(高畑北産業用地)の造成事業に取り組み始め、令和5年度に造成工事が完了し、令和6年度に分譲を開始した。そして、積極的に企業誘致を行った結果、令和6年度中に企業1社に売却することができた。また、高校舎の利活用についても、効果的に事業を進めた結果、2社が事業所を開設することとなった。このことにより、令和6年度に企業誘致数が3社増え、令和4年度から累計で誘致企業数が4社となった。
29	3	2	2	企業立地優遇制度の適用企業数【令和4年度～令和13年度累計】	商工観光課	- 社	-	3 社	150.0 %	3 社	150.0 %	2 社	4 社	新たな企業立地優遇制度適用企業はなかったが、今後、高畑北産業用地に立地予定の企業について用地取得助成金、企業立地奨励金等の優遇制度適用が予想され、企業数増が見込まれる。
30	3	2	3	本市在住高校新卒者(就職希望者)の市内事業所への就職率	商工観光課	35.6 %	R2年度	27.6 %	76.7 %	25.0 %	69.4 %	36.0 %	37.0 %	本市在住高校新卒者の市内事業所就職率 角田市在住高校新卒就職者64人、うち市内事業所への就職者16人。
31	3	2	3	創業支援事業計画に基づいた新規起業家数【累計】	商工観光課	5 人	R2年度	6 人	33.3 %	7 人	66.7 %	8 人	10 人	令和6年度実績 1人(リユース品販売)
32	3	3	1	観光客の入込客数	商工観光課	1,039,374 人	R1年	1,193,533 人	108.5 %	1,265,533 人	115.0 %	1,100,000 人	1,200,000 人	R5年度と比較し、6%の増加となり、前期目標値を超える結果となった。道の駅や日帰り温泉施設等の入込客数が堅調なことや、R5年度に中止となったずんだまつりがR6年度は開催されたことも大きい。しかし、各イベント・観光地間で増減に差がでていることもあり、道の駅等で集客した観光客を市内各所に循環する施策が要される。
33	3	3	2	道の駅かくだ売上高	商工観光課	187,275,503 円	R2年度	253,778,831 円	104.0 %	277,055,006 円	113.5 %	244,000,000 円	250,000,000 円	道の駅かくだの観光客入込客数が堅調に増加していることもあり、R5年度と比較して約23,277千円の増加と売上高は伸びている。すでに後期目標値に達する結果となったが、物価高や米価の高騰等の影響も考えられる。
34	4	1	1	(仮)市民活動支援センターでの支援件数	まちづくり推進課	- 件	R3年度	- 件	- %	- 件	- %	100 件	150 件	令和6年度末時点で市民活動支援センターは未設置のため、実績はない。
35	4	1	2	審議会などへの女性委員の登用率	企画デジタル課	22.4 %	R3年度	21.6 %	65.5 %	21.6 %	65.5 %	33.0 %	45.0 %	審議会などへの女性委員登用の実績値は改選が少なかったため昨年同様の割合となった。
36	4	1	2	角田市役所の管理職に占める女性の割合	企画デジタル課	24.1 %	R3年度	24.2 %	80.7 %	30.3 %	101.0 %	30.0 %	35.0 %	角田市役所の管理職に占める女性の割合については、女性管理職が2名増となったことで、令和8年度目標に達した。
37	4	2	1	交流人口	まちづくり推進課	1,072,935 人	R2年度	1,680,125 人	98.8 %	1,816,499 人	106.9 %	1,700,000 人	1,800,000 人	積極的なイベントなどにより、引き続き道の駅は交流人口全体の半分を占める集客となっている。昨年度からの伸びはKスポ関連施設の利用数の増加が大きく寄与しており、令和6年度は長期総合計画後期計画目標の180万人を超えるものとなった。
38	5	1	1	小中学校図書館の一人当たり貸出冊数	教育総務課	24.8 冊	R2年度	30.8 冊	114.1 %	33.0 冊	122.2 %	27.0 冊	30.0 冊	小中学校図書館の一人当たり貸出冊数については、R6年度小中学校図書館の一人当たり貸出冊数実績値は33.0冊となり、R8年度目標値を大きく超えた。

No	区分			指標名	担当課	現状値	R5		R6		目標値 中間(R8)	目標値 最終(R13)	実績値の分析	
	章	節	項				測定年 (度)	実績値	達成率	実績値				達成率
39	5	1	1	コミュニティ・スクールの設置校数【累計】	教育総務課	0 校	R3年度	2 校	200.0 %	7 校	700.0 %	1 校	2 校	R6年度中に市内全小中学校において、コミュニティ・スクールの設置することができた。
40	5	1	1	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童の割合	教育総務課	49.5 %	R3年度	74.3 %	135.1 %	78.2 %	142.2 %	55.0 %	60.0 %	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童の割合については、アフターコロナにより、児童一人ひとりがこれまで特に意識をしておこなった日常の大切さを再認識した結果、大幅な増加になったと考えられる。
41	5	1	2	ICT機器を意見交換や調べるために週1回以上使用した中学生の割合	教育総務課	27.9 %	R3年度	80.2 %	114.6 %	91.0 %	130.0 %	70.0 %	95.0 %	令和3年度のGIGAスクール構想開始に伴い導入されたタブレット端末については、毎年継続して教職員向けの研修会を開催している。また、各学校の取り組み事例の発表や情報交換の機会も設けており、このような取り組みの影響から利活用が進み、令和8年度目標値を上回る結果となった。
42	5	1	2	小中学校の洋便器率	教育総務課	41.9 %	R2年度	46.8 %	93.6 %	52.2 %	104.4 %	50.0 %	60.0 %	令和6年度は、角田中学校のトイレの改修を集中的に行い、令和8年度目標値を上回る結果となった。
43	5	2	1	市民センター利用者数	生涯学習課	20,672 人	R2年度	73,728 人	165.7 %	63,798 人	143.4 %	44,500 人	68,500 人	R6年度は貸館需要の変動があったが、一般利用は増加している。 市民にとって身近で参加しやすい生涯学習講座、市民の自由な学びの場を創出し、市民による主体的な活動を支援する「かく大学」、地域学校協働活動の推進、家庭教育に関する学習の場の充実が図られている。
44	5	2	1	図書館における一人当たり個人貸出数	図書館	4.0 点	R2年度	4.9 点	106.5 %	5.2 点	113.0 %	4.6 点	5.0 点	図書及び視聴覚資料等の貸出点数は129,225点であり、市民(26,249人)一人当たりの貸出点数は4.9点となった。さらに、かくだ電子図書館の貸出点数6,073点を加えると、一人当たりの貸出点数は5.2点と増加した。
45	5	2	2	活動中の無形民俗文化財保存団体数【累計】	生涯学習課	8 団体	R2年度	9 団体	100.0 %	9 団体	100.0 %	9 団体	10 団体	無形民俗文化財保存団体6団体を角田市文化財として新たに指定した。文化財としての記録映像化を進め継承に努めている。
46	5	2	2	郷土資料館の入館者数	郷土資料館	2,207 人	R2年度	6,581 人	119.7 %	8,006 人	145.6 %	5,500 人	8,700 人	郷土資料館では、特色ある展示会の実施や市の催しにあわせたイベント企画などにより、入館者数は大幅に増加した。
47	5	2	3	かくだ田園ホールでの文化芸術鑑賞人数	生涯学習課	672 人	R2年度	9,108 人	151.8 %	12,967 人	216.1 %	6,000 人	12,000 人	かくだ田園ホールでの文化芸術鑑賞人数の増加については、「光の回路」や「ケロボンズファミリーコンサート」といった多くの集客を実現したイベントを開催してきたことや、寄席や自衛隊によるコンサートといった定例的なイベントについても、広報活動を活発に行うことで例年を超える集客に成功したことが要因となっている。特に、こども向けのイベントについては、子育て支援特設サイトの「かくはび」や子育て支援アプリ「ほっぺなび」を活用し、子育て世代に広く情報を届け、鑑賞人数の増加を図ることができた。
48	5	2	3	文化芸術活動の推進に対する市民の満足度	生涯学習課	62.8 %	R2年度	- %	- %	71.8 %	108.1 %	66.4 %	70.0 %	文化芸術活動の推進に対する市民の満足度については、70%を超える結果となり、こどもから大人まで幅広い年齢層の市民が楽しめるよう、多様なジャンルの文化芸術活動やイベント等を提供してきたことが要因となっている。今後も、質の高い文化芸術活動を提供し、市民の文化への関心を高め、来場者数の増加を図っていくことが重要と考える。
49	5	2	4	スポーツ実施率	生涯学習課	- %	R3年度	- %	- %	58.0 %	116.0 %	50.0 %	60.0 %	令和6年度角田市市民意識調査結果より、運動を週2回以上実施している方の割合は58.0%であった。 (2日/週 10.3%、3~4日/週 15.4%、5~6日/週 12.7%、毎日 19.6%)

No	区分		指標名	担当課	現状値		R5		R6		目標値 中間(R8)	目標値 最終(R13)	実績値の分析	
	章	節			項	測定年 (度)	実績値	達成率	実績値	達成率				
50	6	1	1	角田市防災・減災構想による路線整備の進捗率	建設課	0.0 %	R2年度	39.2 %	56.0 %	46.2 %	66.0 %	70.0 %	100.0 %	●防災・減災構想に位置付けられた道路整備事業計画に基づき、3路線（市道大沼野田前線、市道南町斗蔵線、市道駅前花鳥線）の事業を実施した。 ・市道大沼野田前線：用地買収、工事（盛土工）L=226.5m ・市道南町斗蔵線：用地買収、工事（地盤改良工）L=77.1m ・市道駅前花鳥線：工事（擁壁工）L=143.3m
51	6	1	2	阿武隈急行線市内4駅の乗降者数	まちづくり推進課	347,164 人	R2年度	530,297 人	117.8 %	531,979 人	118.2 %	450,000 人	600,000 人	市内4駅の乗降者数は、コロナ禍からの回復傾向に加え、阿武隈急行線利用促進協議会や市民団体による阿武隈急行線利用促進の活発な活動の影響により、前年度を上回ったものの0.3%の微増に留まった。福島県側の伸び(+3.6%)と比較すると、努力が必要な状況である。
52	6	1	3	阿武隈川河川敷市民ゴルフ場及びびパークゴルフ場の利用者数	都市計画課	35,726 人	R2年度	36,513 人	91.3 %	32,388 人	81.0 %	40,000 人	42,000 人	●前年同様に高温の日が多く、屋外での活動を控える傾向が続いたことや、昨年度と比較して春・秋の最適なシーズンに雨天が多かったこともあり、利用者数がさらに減少した。
53	6	2	1	市営住宅の長寿命化改善事業による整備戸数【累計】	都市計画課	0 戸	R2年度	30 戸	23.4 %	48 戸	37.5 %	128 戸	176 戸	令和5年度に積算した、関ノ内住宅84戸中18戸の整備を行った。また併せて令和7年度以降に改修工事予定の22戸の実施設計をした。
54	6	2	2	整備された公園の数【累計】	都市計画課	15 カ所	R2年度	16 カ所	50.0 %	16 カ所	94.1 %	17 カ所	18 カ所	令和6年度の公園整備の実績はないが、令和8年度に町尻5号公園、令和10年度に町尻6号公園を整備する予定としている。
55	6	2	2	角田中央公園の利用者数	生涯学習課	91,629 人	R2年度	143,847 人	84.6 %	191,472 人	112.6 %	170,000 人	185,000 人	令和6年度の角田中央公園利用者は、計画値を大きく上回った。角田市スポーツ協会の加盟協会等が主催する各種スポーツ大会並びに隣接する道の駅かくだとの連携により交通公園の利用者が大幅に増えた。
56	6	2	3	水道有収率	上下水道事業所	82.0 %	R2年度	75.9 %	90.0 %	72.3 %	85.8 %	84.3 %	86.8 %	有収率の大幅低下の原因となる漏水箇所を特定し、対策を行ったため次年度からの改善が見込まれる。
57	6	2	3	汚水衛生処理率	上下水道事業所	71.1 %	R2年度	73.4 %	93.1 %	74.0 %	93.9 %	78.8 %	85.5 %	下水道処理区域内人口16,738人に対し水洗化人口が14,591人、下水道処理区域外人口9,511人に対し合併浄化槽利用者数が4,830人となり汚水衛生処理率はR5年度の73.4%から0.6ポイント増え目標値に近づいた。
58	6	2	3	雨水整備率	上下水道事業所	14.6 %	R2年度	14.8 %	97.4 %	14.8 %	97.4 %	15.2 %	17.6 %	令和8年度の目標達成に向け、地質調査を実施したものの、雨水整備率は前年同様となった。
59	6	3	1	環境に関する出前講座・学習会の参加者数	生活環境課	148 人	R2年度	82 人	19.5 %	126 人	30.0 %	420 人	520 人	令和6年度は「環境シンポジウム」を開催。宮城大学の教授による講演や学生らによる研究活動報告を通じて、脱炭素社会の実現に向けた市民意識の啓発が図られた。その一方で、環境学習会や出前講座については、関係機関との連携不足等により、参加者数が伸び悩んだ。 ○環境シンポジウム 103人 ○市民環境学習会 23人
60	6	3	2	市民一人1日当たりのごみの排出量	生活環境課	919 g	R2年度	891 g	96.5 %	883 g	97.4 %	860 g	800 g	ごみのリサイクル率については、平成23～29年度までは18～20%で推移していたが、平成30年度以降は13～15%となっている。これは市内のスーパー等で実施している資源リサイクル事業での回収も影響していると推測される。
61	6	3	2	ごみのリサイクル率	生活環境課	15.0 %	R2年度	14.0 %	77.8 %	13.0 %	72.2 %	18.0 %	20.0 %	平成23～29年度まで18～20%で推移していたリサイクル率は、平成30年度以降は13～15%となっている。スーパー等での資源回収も少なからず影響しているものと考えられる。 ごみ分別出前講座（市民）4回開催 参加者124人

No	区分			指標名	担当課	現状値	R5		R6		目標値 中間(R8)	目標値 最終(R13)	実績値の分析	
	章	節	項				測定年 (度)	実績値	達成率	実績値				達成率
62	6	3	3	不法投棄の通報を受けた件数	生活環境課	46 件	R2年度	48 件	85.4 %	55 件	74.5 %	41 件	36 件	道路や河川、空き地、空き家、農地といった場所での不法投棄は後を絶たず、令和5年度から7件増加している。タイヤの不法投棄件数が、令和5年度が7件であるのに対し、令和6年度では21件(3倍)に増加していることが大きな要因である。
63	6	3	4	消費者被害防止等に関する出前講座・学習会の参加者数	生活環境課	0 人	R2年度	107 人	178.3 %	0 人	0.0 %	60 人	120 人	令和6年度においては、出前講座や学習会の依頼が無く達成率0%となった。出前講座が受け身の施策であることや、関係機関との連携不足が原因と思われる。
64	7	1	1	広報活動による情報発信に対する市民の満足度	総務課	56.8 %	R2年度	- %	- %	73.2 %	122.0 %	60.0 %	70.0 %	令和2年度にホームページのリニューアル、令和3年度に市公式You Tubeの開設、また、PR大使が市内外で活動したことにより満足度が上昇したと考えられる。
65	7	1	2	「まちづくりカフェ」や「若者会議」などの実施回数	総務課	0 回	R3年度	5 回	83.3 %	14 回	233.3 %	6 回	8 回	まちづくりカフェを2回、若者会議を2回、合同交流会を1回実施した。また、まちづくり懇談会を9地区で実施したため、目標値を上回って達成できた。
66	7	2	1	行政全体に対する満足度	企画デジタル課	34.0 %	R2年度	- %	- %	43.1 %	87.1 %	49.5 %	65.0 %	市民アンケート調査の結果、市民の「行政全体に対する満足度」は43.1%となった。初期値34.0%から約9ポイント上昇したものの、R8年度の前期目標値に対し達成率は87.1%となっている。R4年度からスタートした第6次長期総合計画に掲げる各種施策の効果がまた十分に表れてきていないものと考ええる。
67	7	2	1	経常収支比率	財政課	98.8 %	R2年度	99.7 %	97.6 %	%	0.0 %	97.3 %	95.8 %	※R6年度の経常収支比率は決算後に算定。
68	7	2	1	市税収納率	税務課	94.6 %	R2年度	94.8 %	97.0 %	%	0.0 %	97.7 %	98.0 %	市税収納率は、出納閉鎖日後(6月上旬)の算出。
69	7	2	2	行政手続のオンライン手続数	企画デジタル課	1 手続	R2年度	59 手続	236.0 %	71 手続	284.0 %	25 手続	100 手続	R6年度は71手続まで増やすことができ、R8年度の目標値25手続きに対し、達成率は284%となった。若い世代からの申請が多い部署で積極的にオンライン申請に取り組むことで、手続数を伸ばすことができた。